

新しい総合計画策定のための区民討議会
報告書

平成 30 年 10 月

相模原市

～ 目次 ～

I. 実施概要	1
1. 目的	1
2. 実施モデル	1
3. 実施日時	1
4. 参加者	2
5. 実施内容	2
6. 実施方法	3
7. 区民討議会スケジュール	4
II. 実施結果 討議 1 「安全・安心」	6
III. 実施結果 討議 2 「共生・健康」	34
IV. 実施結果 討議 3 「環境」	62
V. 実施結果 討議 4 「子ども・教育」	90
VI. 実施結果 討議 5 「活力・交流」	121
VII. 実施結果 討議 6 「区民みんなの想いを共有し、地域の将来を考える」	153
VIII. 全体発表	185
IX. 区民討議会まとめ	188
1. 参加者の取組み状況	188
2. 意見の全体的な傾向	188
X. 参加者アンケート	192
1. 区民討議会に関して	192
2. 総合計画について	195
参考（アンケート回答者の属性）	197
XI. 資料編	199
資料 1 当日資料（各分野説明資料）	199
資料 2 当日資料（パンフレット）	209
資料 3 アンケート用紙	212

I. 実施概要

1. 目的

新たな総合計画の策定にあたり、市政全般に対する市民の意見を頂くため、区民討議会を開催しました。

区民討議会は、市民 4,000 人（18 歳以上）を無作為により抽出し、応募のあった者で実施することにより、普段市政に参加する機会が少なかった市民の方々も含め、世代や職業を越えて集い、まちづくりについて話し合い、その声を行政に届けることを目的としました。

また、各区からバランスよく参加者を募ることにより、区それぞれの現状やニーズを把握することも目的としています。

2. 実施モデル

ドイツで行われている「プラーヌクスツェレ」という市民参加手法がモデルになっています。プラーヌクスツェレは、対象者を無作為抽出し、少人数での討議、参加報酬の支払い、グループの組替えなどを行う手法です。（今回の討議会では無報酬）

これにより、意見の代表性や中立性が担保される点や、住民自身が主体的に成果を求め姿勢が形成されるなどの効果が得られると言われていています。

相模原市としては全市的な区民討議会は初めての取組みになります。

<開催の様子の写真>



3. 実施日時

日程	平成 30 年 8 月 18 日（土）10～17 時 平成 30 年 8 月 19 日（日）10～17 時
場所	相模原市市民会館 3 階 第一大会議室

4. 参加者

住民登録のある市民から、無作為抽出した 18 歳以上の 4,000 名のうち、参加申込みのあった 96 名から各区 30 名を上限に計 84 名を選出しました。(緑区 24 名、中央区 30 名、南区 30 名)

参加申し込み後、参加キャンセルなどがあったため、当日の参加者は 72 名となりました。参加者構成は以下のとおりです。(単位：人)

	緑区		中央区		南区		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
10代	0	1	0	1	0	0	2
20代	0	1	1	1	1	0	4
30代	1	1	2	0	2	1	7
40代	3	1	5	1	2	3	15
50代	1	2	2	3	1	2	11
60代	1	2	3	3	4	3	16
70代	4	1	1	4	3	0	13
80代	1	0	0	0	2	1	4
合計	11	9	14	13	15	10	72
	20		27		25		

5. 実施内容

6つの討議テーマを設定し、それぞれの課題と解決に向けて取り組むべきことを討議しました。テーマ内容は以下のとおりです。

	内容	分野例
テーマ	安全・安心	防災・消防、安全・安心、保健衛生、景観・住環境
テーマ	共生・健康	地域福祉、貧困、障害、人権・男女共同参画、高齢、健康、医療
テーマ	環境	温暖化、水源・森林環境、資源循環、都市緑化・公園、緑地・水辺・生物多様性、廃棄物、環境保全、環境教育
テーマ	子ども・教育	子育て、教育、青少年、生涯学習、貧困、障害児
テーマ	活力・交流	雇用、商業・農林業、産業、観光、まちづくり、スポーツ・文化、道路・交通、基地
テーマ	区民みんなの想いを共有し、地域の将来を考える	安全・安心、共生・健康、環境、子ども・教育、活力・交流

6. 実施方法

6つのテーマについて以下の手順を進めました。

参加者のグループ・班分け

↓ 参加者はお住まいの区ごとに「緑区」「中央区」「南区」の3グループに分け、さらにグループ内を5～6名からなる4つもしくは5つの班に分けました。

役割分担

↓ 班の中で、「進行役」「時計係」「書記」「発表係」を決めました。討議ごとに班替えを行い、役割分担は、班替えごとに決め、色々な役割を担当していただきました。

市・区からの情報提供

(資料編P200～参照)

↓ 討議に入る前に、参加者が意見交換を活発に行えるよう、テーマごとに市及び区の担当者が現状や課題、事業内容などを説明しました。

意見出し

↓ 情報提供を聞いて、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことについて思ったことをそれぞれ付箋に書き出しました。

グループ討議・意見の集約

↓ 討議は、「役割分担」に基づき、参加者だけで自由に進行しました。書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出しながら討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

発表・投票

「緑区」「中央区」「南区」それぞれのグループ内で、模造紙や発表用ワークシートを使って、各班の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じたりした意見に投票しました。投票は、1人3票のシールを持ち、発表用ワークシートの投票欄に貼りました(3票のうち、1票は自分の班の意見に投票しても良いが、少なくとも2票は他の班に投票することとしました。)

7. 区民討議会スケジュール

【1日目：8月18日(土)】

時間	概要
10:00～10:05	開会のことば・挨拶（相模原市企画財政局長）
10:05～10:30	全体ガイダンス・アイスブレイク「相模原市クイズ」
10:30～12:10	<p>【討議1】</p> <p>「安全・安心」に係る分野について 地域の課題抽出と解決に向けて取り組むべきこと 《役割決め》《市からの情報提供》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《個人作業・意見出し》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《グループワーク》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《区内発表&投票・全体共有》</p>
12:10～13:10	休憩（席替え）・昼食
13:10～14:50	<p>【討議2】</p> <p>「共生・健康」に係る分野について 地域の課題抽出と解決に向けて取り組むべきこと 《役割決め》《市からの情報提供》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《個人作業・意見出し》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《グループワーク》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《区内発表&投票・全体共有》</p>
14:50～15:05	休憩（席替え）
15:05～16:45	<p>【討議3】</p> <p>「環境」に係る分野について 地域の課題抽出と解決に向けて取り組むべきこと 《役割決め》《市からの情報提供》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《個人作業・意見出し》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《グループワーク》</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">《区内発表&投票・全体共有》</p>
16:45～17:00	1日目のまとめ

【2日目：8月19日(日)】

時間	概要
10:00～10:05	挨拶
10:05～10:20	前日の振り返り・ガイダンス
10:20～12:00	【討議4】 「子ども・教育」に係る分野について 地域の課題抽出と解決に向けて取り組むべきこと 《役割決め》《市からの情報提供》 ↓ 《個人作業・意見出し》 ↓ 《グループワーク》 ↓ 《区内発表&投票・全体共有》
12:00～13:00	休憩(席替え)・昼食
13:00～14:40	【討議5】 「活力・交流」に係る分野について 地域の課題抽出と解決に向けて取り組むべきこと 《役割決め》《市からの情報提供》 ↓ 《個人作業・意見出し》 ↓ 《グループワーク》 ↓ 《区内発表&投票・全体共有》
14:40～14:55	休憩(席替え)
14:55～16:45	【討議6】 「区民みんなの想いを共有し、地域の将来を考える」 《役割決め》 ↓ 《個人作業・意見出し》 ↓ 《グループワーク》 ↓ 《区内発表&投票・全体共有》
16:45～17:00	2日目のまとめ・閉会の言葉(中央区長)

II. 実施結果 討議 1 「安全・安心」

1. 緑区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「安全・安心」緑区 個人意見>

班	分野	内容
緑区 1 班	交通	バスの便が悪い
		自転車事故の防止
		歩道 自転車道の整備
		自転車専用道路の整備
		狭い歩道
		自転車通路が少ない
		歩道上の点字ブロックが偏っている
		橋本駅前横断歩道に信号がない
	子ども	給食が美味しくない
		子どもの医療無償化
		教室の空調
		体育館に空調を
	高齢者	単身高齢者対策
		単身高齢者の住宅確保
		高齢者用設備のある住宅
	空き家	空き家対策の推進と取り組み
		増加する空き家の活用
		空き家の活用（ex.シェアハウス化）
	犯罪	振込詐欺対策（啓発）
		隣組で助け合い
		自転車盗難・痴漢など軽犯罪の防止
		地域の防犯啓発活動
	防災	ひばり放送を聞きやすく
		要支援者の救急対策
		ハザードマップの災害工事
		災害対策の取り組み

	その他	健やかで安らかな安全・安心のまち
		感染症予防対策の充実
		住みやすい、癒しのある景観
緑区 2 班	防災・消防	自助
		家庭での対策
		高齢者の自立
		避難訓練への参加に偏りがある？
		地域とのつながり 自治体への加入
		共助（公助）でどこまで何を
		現状の把握 誰が調査 誰が評価
		地震対策
		防災対策の取組み状況が市民にわからない
		空き家の有効利用
		地域特性
	山間部に空き家 道路沿いは新築	
	緑・山・川・ダムが多いので事前の対策が必要	
	商店街の活性化	
	景観より生活 or 生活より景観	
	情報	ハザードマップ（有無）
		防災放送が聞き取れない
		以前に比べ相模原の風水害（防犯も）の情報が安全・安心の冊子で送られてくるので持続を
		振り込め詐欺の事案があがったら情報を SNS で今のように流し注意をうながす
		地域で犯罪があったとき情報を共有できること
	防災教育	自転車の乗り方教室
		自転車の乗り方
		交通安全指導を子どもだけでなく地域でも行っていく
	整備	道路の整備
		公園・緑のある場所
		まちのバリアフリー
		停止線が薄くなっている
		空き家のリフォーム 貸し出しを声かけ、募集しやすい賃金で貸し出す
		自転車事故が発生している

		津久井地域では自転車専用道路の整備が進んでいない
		防犯灯の整備が進んでいる
	地域のつながり	近くの人とのコミュニティが薄れてきている
		地域の人との交流の場づくり（祭りなどの行事参加）
	新たな対策	自転車を利用しない
		自転車の利用率
		通過交通（車両）への配慮
		バスの利用促進
	その他	高齢者、家対策 自宅を売却して老人ホームへ
	緑区 3 班	防災
飲料水の問題		
多くの人に参加できる防災の取組み		
非常時におけるトイレ・食料の確保		
災害時の避難所対策は十分か？		
町からの放送は注意して聞く		
近所のお宅に声かけをする		
防犯・空き巣対策・他地域からのごみの持込み 防犯カメラ		
境川の河川氾濫とハザードマップ		
狭い路地（人通りのある） 路地の防犯カメラ		
有志のグループを作って高齢者の声かけを行う		
住環境		空き家の増加
		旭小・宮上小トイレの洋式化
安全・安心		オレオレ詐欺
		自転車の乗り方とスマホ
		盗難自転車と放置
	隣近所とのつながり	
緑区 4 班	防災	無線が聞こえない
		災害時のメール 防災無線の事
		メールが不便？（使い方）
		旧津久井地区の災害対策
		安心できる場所
		災害発生時 地域コミュニティの希薄化
		避難場所
	安全・安心	子どもの見守り（登下校・放課後）地域の活用
		顔見知り

	見守り	見守り
		あいさつ・声かけ
		見守りの仕方・時間
		地域のつながりづくり
		学生の自転車の乗り方
		自転車の乗り方
		スマホ・自転車
		交通渋滞（特に駅前、雨の日）
		公園の防犯対策
		公園のつくり（樹木で見えない）
		公園遊び（使い方）
	保健衛生	ペットブーム
		正しい知識（教育？）
インバウンド対策		
景観・住環境	空き家の活用	
	住みたい街	
	効果のある対策	
その他	地域での役割	

<付箋・模造紙記入例（緑区1班）>



(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「安全・安心」緑区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
緑区1班	歩行者、自転車利用者にやさしいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ひばり放送を聞き易く ・バスの便が悪い
	増加する空き家の活用(例 シェアハウス化)	
	防災情報の周知と避難設備の整備(例 体育館の空調)	
緑区2班	地域のつながりと再構築	
	地域や時代に応じた環境整備	
	一人ひとりの意識改革	
緑区3班	防犯カメラの路地から大通りの角への設置の推進をする(自治会を通して)	早戸川の水をペットボトルに保管する(1年間)各自
	広域避難所へのトイレの設置と飲料水の確保(教育委員会)(水道局)	
	災害時における高齢者の孤立化に対して有志グループの見守り	
緑区4班	顔の見えるまちをつくる	公園の防犯対策・使い方 自転車の乗り方 防災無線・メール
	市が自治会や地域活動の援助をする	
	市民ひとり一人が <u>あいさつ</u> ・声かけに取り組む	

<ワークシート記入例(緑区4班)>

発表用ワークシート

班名	緑区4班	メンバー名	植垣、荻野、山本、宝田
テーマ	安全・安心		
班でまとめた意見(重要なもの3つ)			投票欄
顔の見えるまちをつくる			●●●●●
市が自治会や地域活動の援助をする			●●●●●
市民ひとり一人が <u>あいさつ</u> ・声かけに取り組む			●●●●●
その他のアイデア、書き残しておきたいこと			
公園の防犯対策・使い方 自転車の乗り方 防災無線・メール			

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。

投票結果は以下のとおりです。

<「安全・安心」緑区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	緑区1班	歩行者、自転車利用者にやさしいまちづくり	9
1位	緑区3班	広域避難所へのトイレの設置と飲料水の確保 (教育委員会)(水道局)	9
2位	緑区4班	顔の見えるまちをつくる	7
3位	緑区2班	一人ひとりの意識改革	6
3位	緑区4班	市民一人ひとりがあいさつ・声かけに取り組む	6
	緑区3班	防犯カメラの路地から大通りの角への設置の推進をする (自治会を通して)	4
	緑区4班	市が自治会や地域活動の援助をする	4
	緑区1班	防災情報の周知と避難設備の整備 (例 体育館の空調)	3
	緑区1班	増加する空き家の活用(例 シェアハウス化)	3
	緑区2班	地域のつながりと再構築	3
	緑区3班	災害時における高齢者の孤立化に対して有志グループの見守り	2
	緑区2班	地域や時代に応じた環境整備	1

(4) 緑区まとめ(区特有の特徴など)

緑区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「安全・安心」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「道路環境の改善」

自転車や歩行者の交通安全確保のための整備や防犯を目的とした街路へのカメラ設置などの意見が出ています。

・「災害対策の強化」

防災情報の周知や広域避難所の整備といった事前防災の必要性から災害時の市民での助け合いといった緊急時の心得に関する意見が出ています。

・「自助・共助による安全・安心の確保」

自治会などを通じた地域自治力の強化や日常的なつながりの強化による防犯、防災への対応に関する意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは「歩行者、自転車利用者にやさしいまちづくり」と「広域避難所へのトイレの設置と飲料水の確保」など、ハード整備に関する意見でしたが、「一人ひとりの意識改革」や「顔の見えるまちをつくる」など、住民主体の取組みで地域の安全・安心を確保する意見も多く出ており、キーワード別で見ると「自助・共助による安全・安心の確保」の意見の得票数が最も多いと整理できます。

緑区の意見の特徴として、災害対策への具体的な取組みのイメージが明確であることや、顔の見える関係づくりによるコミュニティの強化を通じて安全・安心な暮らしを維持するべきだという意見が多く挙げられています。また、都市部と山間部で必要な防災・防犯対策が異なるといった議論も見られました。

<「安全・安心」緑区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
道路環境の改善	緑区 1 班	歩行者、自転車利用者にやさしいまちづくり	9	14
	緑区 2 班	地域や時代に応じた環境整備	1	
	緑区 3 班	防犯カメラの路地から大通りの角への設置の推進をする(自治会を通して)	4	
災害への対応力の強化	緑区 1 班	防災情報の周知と避難設備の整備(例 体育館の空調)	3	14
	緑区 3 班	災害時における高齢者の孤立化に対して有志グループの見守り	2	
	緑区 3 班	広域避難所へのトイレの設置と飲料水の確保(教育委員会)(水道局)	9	
自助・共助による安全・安心の確保	緑区 1 班	増加する空き家の活用(例 シェアハウス化)	3	29
	緑区 2 班	地域のつながりと再構築	3	
	緑区 2 班	一人ひとりの意識改革	6	
	緑区 4 班	顔の見えるまちをつくる	7	
	緑区 4 班	市が自治会や地域活動の援助をする	4	
	緑区 4 班	市民一人ひとりがあいさつ・声かけに取り組む	6	

2. 中央区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「安全・安心」中央区 個人意見>

班	分野	内容
中央区 1 班	自転車	自転車の取り締り（違反車）
		自転車道の整備（広く）
		事故防止 特に自転車
		事故発生多い、高齢者にヘルメット着用したら良いと思う。 市で配布、希望者に
		違法駐車を取り締り強化
		高齢者の免許問題
	防犯	交番の増設
		防犯対策を強化する
		詐欺の内容は？
		交通事故を利用した特殊詐欺 高齢者増とのことで事例の即時認知
		警察に通報しやすくする
		地域のコミュニティにITを使う
		高齢者の単身世帯が多い
	空き家	空き家対策
		空き家が増加している
		空き家問題で行政ができることは？
		空き家の情報を公開する
		空き家マップをつくる
		空き家を活用
		空き家の買い上げ
		子どもクラブ 17 時以降の見守りサービス
		マンションが多いので耐震化について大丈夫か
		昼間あいている車庫をシェアする
	防災	防災訓練の参加
		中央区は災害心配かな？
		町内によって違うが防災についてもっと若い方が増えるよう

		にしたらどうか
	医療	予防接種の助成
中央区 2 班	防災(システム)	警報 ひばり放送聞こえない!
		近年起こる想定外の雨対策 リストアップなど
		地震対策として地域との連携は十分か?
	防災	災害が起きた時、どこの地域にどんな危険があるのか
		独居の(特に高齢者)の方への災害時の対応?
	防災(共有(人))	地域コミュニティの育成
		防災教育(大人×子ども)
		家族間での確認
		避難場所の把握
		地域みんなで避難訓練
	保健衛生	海外から入る寄生虫、動物(クモなど)の予防対策
		感染症 パンデミック対策
		年をとったら人間ドック 市の補助もっと!
		ペット殺処分ゼロ実現!
	安全・安心	歩いて暮らせるまち
		もっと外灯を増やす
		単身高齢者の家のバリアフリー改修費補助の推進
		自転車ロードができたのは16号沿い もっと身近なところでもほしい
		防犯カメラ
		自転車賠償責任保険加入促進
ラウンドアバウトの導入		
景観・住環境	緑の活用	
	空き家の活用	
	空き家対策 貸家増加への対応も	
	植栽	
その他	老人タウンの作成	
中央区 3 班	防災 担い手	防災訓練に大勢の参加
		防災意識の向上
		防災の担い手 中学生の活用(防災教育の充実)
		自ら考え行動する
	防災情報発信	住んでいる場所の危険度を知る
		川に近いところ、崖の多いところは良い知らせ方を

		情報発信を受信	
		大雨の時、公用車（消防）で知らせる	
	空き家	空き家を地域住民活動に開放する	
		空き家の家主のメリット 固定資産税の減免	
		空き家の体験 住居 広く大きな家に住みたい	
		空き家の有効活用	
		空き家がどこにあるか 知らない	
	道路整備	道路整備（見通しなど）	
		道路に大きく自転車などに注意マーク	
	自転車	自転車のルールの明確化	
		自転車の右側にバックミラーの取り付け	
	その他	防犯（パトロール誰が行う？）	
		地域での見守り、会合	
		大人がどれだけ見本を示せるか	
		低年齢からの教育	
		夜間の外灯の明るさチェック	
		消費者教育（小学生～）	
		高齢者世帯へ留守電機能付き電話機の貸与	
	中央区 4 班	防災に対する情報共有	地域のコミュニティの希薄
			災害時の避難場所がわかっていない人もいる
空き家 治安が悪くなる原因			
空き家情報をネットに出す			
空き家の把握（近隣者の）			
防災についてはマンションが多いため連絡を密にしたい			
消防の手が回らないことでも、情報を共有することにより他の人が助けることができないか			
災害への自助意識を個人で高める			
防災放送の内容を後で確認できないか？			
防災放送が聞こえない			
わかりやすいメール周知が必要 若いだけでなく高齢者の方への対策			
治安		災害対策用品を値引き	
		事故が発生した時どのようにすればよいか スマートフォンのアプリがあれば助かる	
	相模原市の整備が偏っている		

		街灯の設置を徹底してほしい
		夜道が暗い（公共施設から離れたところ）
		相模原駅前が通りづらい
	交通ルール （自転車）	自転車専用道路を増やす
		自転車事故への取組み（高齢者・若年層）
		自転車保険、講習があるのにかかれていない
		自転車運転時のヘルメット着用
		自転車の乗り手ルール
		自転車の逆走が多い（車道を逆走）
		交通ルール（自動車）
	自動車の運転があら	
中央区 5 班	防災	ハザードマップ 市の啓発
		自治会未加入者への啓発
		風水害共済手段
		大規模災害対応
		浸水は市として個別に対策を考える
		高齢化の救急対応が増加する
		高齢者
	空き家の使用方法	
	空き家情報が少ない	
	犯罪の周知が少ない	
	空き家の需要？	
	特殊詐欺情報の共有	
	犯罪の具体的手口の広報？	
	自転車	自転車乗り方教室 子ども、学生、老人
		理解（大人向け）
		自転車の安全講習義務化
		将来は道を広くする
		車、一方通行を増やす
		一時停止でなくても見えにくいところで車がスピードを出す
		自転車 一時停止のところを止まらず通る
		スマートフォン見ながらの自転車運転危険
自転車専用路など		
自転車路駐が多い		

(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「安全・安心」中央区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
中央区 1班	空き家の有効活用 デイサービス、子どもセンター、防災倉庫 民生委員、自治会から情報を得る	-
	自転車道の整備 バリアフリー(車いす、ベビーカーなど)へ	
	ヘルメット、反射板を希望者に配布	
中央区 2班	防災 防災システムの強化 × 防災意識の強化 (ひばり放送 etc.)(地域で共通認識を持つ)	-
	安全&安心 ~安心して歩いて暮らせるまち~ 外灯や防犯システム(カメラ etc.)などの設備を充実させる!	
	景観 空き家や緑の有効活用(景観を整える)	
中央区 3班	防災の担い手 「中学生の活用」(防災教育の充実) 自ら考え行動する教育	-
	空き家の開放(子ども食堂、高齢者サロンなど)「空き家の地域住民活動への開放」 空き家の整備は行政責任で実施	
	自転車のルール 「幼稚園、小中学校、高校などへのルールの徹底」 年代に応じたルールの徹底 企業の参画(地域貢献)	
中央区 4班	防災 災害時の対策への周知がされていない 地域のコミュニケーション 近所に住んでいる人に関心を持つ、ご近所つきあい、自治会加入推進	-
	治安 街灯がほしい 防犯ブザー、災害マップの周知	
	交通ルール 講習があるにもかかわらずルールが守られていない原因の調査	
中央区 5班	自転車を中心とした安全講習の区民全員義務化(特に大人) 将来的には自転車歩行者安全通行のため道を整備	-
	風水害などの既にあるハザードマップの啓発に努め、個人の意識を高め、対策を考え、自治会だけに頼らない対応ができる組織づくり	
	高齢者、空き家対策や犯罪から守る方策 使用方法など、特殊サギの情報の共有、具体的手口の広報	

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「安全・安心」中央区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	中央区2班	外灯や防犯システム(カメラ etc.)などの設備を充実させる!	20
2位	中央区3班	空き家の地域住民活動への開放	10
3位	中央区5班	自転車を中心とした安全講習の区民全員義務化 将来的には自転車歩行者安全通行のため道を整備	8
	中央区4班	災害時の対策への周知がされていない 地域のコミュニケーション	8
	中央区2班	空き家や緑の有効活用(景観を整える)	7
	中央区1班	ヘルメット、反射板を希望者に配布	7
	中央区5班	ハザードマップの啓発、個人の意識醸成、自治会に頼らない組織づくり	6
	中央区1班	自転車道の整備	5
	中央区2班	防災システムの強化 × 防災意識の強化	4
	中央区3班	防災教育の充実	4
	中央区3班	自転車のルール 幼稚園、小中学校、高校などへのルールの徹底	4
	中央区1班	空き家の有効活用	2
	中央区4班	治安 街灯がほしい 防犯ブザー、災害マップの周知	2
	中央区4班	交通ルール 講習があるにもかかわらずルールが守られていない原因の調査	1
	中央区5班	高齢者、空き家対策や犯罪から守る方策、具体的手口の広報	0

(4) 中央区まとめ(区特有の特徴など)

中央区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「安全・安心」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「空き家の活用」

地域で増加する空き家を安全・安心の側面や景観保護の観点から有効活用する方法が検討されています。

・「自転車マナー・交通安全の徹底」

自転車道の整備やヘルメットの配布などから、交通安全やルールの徹底といった市民の自転車へのマナー意識向上に関する意見が出ています。

・「防犯機能の強化」

街灯の整備が多く求められている他、安全・安心に関する周知を進める意見が出ています。

・「災害への対応力の強化」

災害時の対応に向けた防災教育や防災システム、地域自治の強化など、事前防災に関する意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは中央区2班の「外灯や防犯システム(カメラ etc.)などの設備を充実させる!」でしたが、キーワード別で見ると「自転車マナー・交通安全の徹底」についての意見の得票数が最も多くなっており、なかでも自転車マナーの周知の必要性に係る意見が多く出ています。

また、中央区の意見の特徴として、講習や教育などによって積極的にルールや知識を取得する姿勢が必要であることが指摘されています。また、防災については、ハード整備による対応とソフト強化による対応の両方に分けた議論が行われていました。

<「安全・安心」中央区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
空き家の活用	中央区 1 班	空き家の有効活用	2	19
	中央区 2 班	空き家や緑の有効活用(景観を整える)	7	
	中央区 3 班	空き家の地域住民活動への開放	10	
自転車マナー・交通安全の徹底	中央区 1 班	自転車道の整備	5	25
	中央区 1 班	ヘルメット、反射板を希望者に配布	7	
	中央区 3 班	自転車のルール 幼稚園、小中学校、高校などへのルールの徹底	4	
	中央区 4 班	交通ルール 講習があるにもかかわらずルールが守られていない原因の調査	1	
	中央区 5 班	自転車を中心とした安全講習の区民全員義務化 将来的には自転車歩行者安全通行のため道を整備	8	
防犯機能の強化	中央区 2 班	外灯や防犯システム(カメラ etc.)などの設備を充実させる!	20	22
	中央区 4 班	治安 街灯がほしい 防犯ブザー、災害マップの周知	2	
	中央区 5 班	高齢者、空き家対策や犯罪から守る方策、具体的手口の広報	0	
災害への対応力の強化	中央区 2 班	防災システムの強化 × 防災意識の強化	4	22
	中央区 3 班	防災教育の充実	4	
	中央区 4 班	災害時の対策への周知がされていない地域のコミュニケーション	8	
	中央区 5 班	ハザードマップの啓発、個人の意識醸成、自治会に頼らない組織づくり	6	

3. 南区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「安全・安心」南区 個人意見>

班	分野	内容
南区1班	防災	消防団の認知拡大
		ゲリラ豪雨の予報の一般化
		空き家の状況をわかるように
		自治会との防災活動の促進
	防災（意識）	ペットとの同時避難
		自助・共助・公助意識
		己のこととして防災を捉える
		防災時のネットワークをつくる（草の根の）
		自主防災 役員選出の仕方
		自主防災組織について
	自転車	自転車の免許制度に近いものの導入
		自転車 教育・スピード
		自転車と歩行者は分けてほしい
		自転車の保険を早めに指導（義務化）
	高齢者	高齢化に向かいどのように支援するか
		単身高齢者へのサポート
		高齢者が増加
その他	風しん予防の全額助成	
	交番の増設	
南区2班	”自助”の強化	非常時の事故対応強化
		防災体験の強化
		個人の防災対策できていない
		災害対策
		高齢者対策 自立すること
	教育	自己責任の教育
	道路の整備	自転車専用道路設置
		自転車はどこを走ればよいか
		主要道路の交通量緩和

		台風・大雨・大雪で道路がやばい
	利用者のマナーの向上	自動車のマナー悪い
		自転車利用者多い
	地域コミュニティの強化	自治会への加入が希少すぎます
		小・中学校などの学校と住民との関係性がない(交流なし)
		人に伝えるのは紙でなくスマホ・パソコンの活用、ただし高齢者は無理
		コミュニケーションの密化
		高齢者との関係性を持つ
		すべての世代の統合コミュニティの設立 ・世代別の小コミュニティなど ・コミュニティ毎に活動するが、非常時に連携できる体制
	停電時に派生する対応力	停電時対策 ・自転車発電・振り子発電・ソーラー発電
その他	物品の大切使用	
	詐欺グループのマニュアルに負けない 特殊詐欺必勝マニュアル	
南区3班	自転車	自転車指導
		交通指導
		交通安全
		自転車はルールがあいまい
		教育は足りている 実践
		大人への教育
		自転車購入時教育
		自転車免許
		指導員の見守り
		事故データの内容毎の対策
		軽い事故の情報は埋もれる
		自転車事故の分析 高齢者、主婦(子ども同乗)、子ども
		一時的に止められる駐輪場を増やす
		児童・学生の保有する自転車の管理
		自転車用道路

	コミュニティづくり	自転車用の税金・保険
		自治会未入会者への災害対応
		時間が自由な自治会
		小さなコミュニティ（隣近所）のつながり
		個人情報のカベ 自治会 自治会から個のつながり？
		自治会が何をやっているか不明
		自治会の PR
		おひとり様用仲良しアパート
		空き家を市で管理できる条件づくり
		空き家対策
		固定資産税と空き家情報の結びつけ
		何らかのつながりはほしい
		不審者対策 小学生用情報
		その他
	感染症受入対策	
	防災と消防 過去データの公開方法	
	食品の安全性 学校教育 保護者へ	
	防災と消防 自己責任 具体的に認識させる	
	消費者教育の強化 具体例で	
	南区 4 班	自転車
自転車保険加入促進		
鍵徹底		
道路整備		
防犯カメラの設置		
空き家		空き家の把握、空地と管理 運用
		免税政策
		空き家であることの認知
		空き家の管理 樹木・雑草の管理必要
防災		災害時の避難方法が大事 高齢者
		訓練の頻度を上げる
		近所とのネットワーク
		近所のコミュニティ
		声かけ
		正確・迅速な情報

南区 5 班	挨拶・コミュニケーションの活発化	挨拶と笑顔による連帯感
		一方的に与えるのではなく伝わる伝え方、確認
		積極的なコミュニケーション
		様々な立場で社会に参加し続ける
		一人にしない、ならない
		見知らない人には注意
		近所の人を知っておこう
		目上（高齢者）からしっかり挨拶
		地域で知り合いになる仕組みづくり
	地域の仲間づくり	自治会の活性化
		地域のつながりが薄い
		地域のコミュニティのことを知らない
		自治会の組織率と役割分担
		各組織の組織率向上
		各組織の横断的な情報共有
		コミュニティのオープン化規則
		社協、自治会、老人会、児童会、保護者会など知ろう
	安全・安心な地域の実現	災害を自分のこととして捉えていない
		地震発生時の子どもの安全
		高齢者の避難支援
		単身世帯の増加
		交通網の整備（緊急）
		安心して自転車を利用できる環境
		自転車のマナー向上
		軽犯罪の抑止
		地域から市へ要望のとりまとめ
	その他	個人情報の取り扱いと共有（高齢者・障害者）

(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「安全・安心」南区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
南区 1班	防災の意識を高めるために自治会加入を促進。各自治会・市と連携して「防災」＝「自治会」つながりアピール	-
	自転車への安全ルール徹底。市の教習所設置。(2年に1回)	
	防災への市の関わり(ゲリラ豪雨、竜巻)の情報を詳細化	
南区 2班	地域コミュニティの強化 それぞれの世代のコミュニティと関係をつくる子ども、大人、高齢者 みんなが手を取り合い"安全・安心"をつくる	停電時の対応力
	自助の強化 自分たちで災害対策を行い、自分の身は自分で守る。もしもの時は、、コミュニティで助け合う	
	交通安全対策 道路の整備 マナーの向上 自転車専用道路の設置 自動車 交通量の緩和 自転車	
南区 3班	自転車の安全・啓蒙活動	-
	小さなつながりの推進	
	高齢者の医療対策	
南区 4班	防災で大切なのは、近所のネットワーク、コミュニティ 日頃から意識を持って声がけ(勇気)	-
	防犯対策、自転車盗難対策として 防犯カメラの設置	
	費用の問題もあるが、個人申請 補助金制度なども 空き家問題について 行政が空き家、空地の把握、管理、運用し、情報を地域住民に提供する	
南区 5班	挨拶と笑顔による連帯感	個人情報の取扱い コミュニティのオープン化
	地域の仲間づくり	
	個人と組織をつなぐ	

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「安全・安心」南区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	南区4班	防犯対策、自転車盗難対策として防犯カメラの設置	13
2位	南区1班	自転車への安全ルール徹底。市の教習所設置(2年に1回)	11
3位	南区2班	それぞれの世代のコミュニティと関係をつくる	9
	南区5班	挨拶と笑顔による連帯感	7
	南区4班	行政が空き家、空地の把握、管理、運用し、情報を地域住民に提供	6
	南区3班	自転車の安全・啓蒙活動	4
	南区4班	防災で大切なのは、近所のネットワーク、コミュニティ。日頃から意識を持って声がけ(勇気)	4
	南区1班	防災への市の関わり(ゲリラ豪雨、竜巻)の情報を詳細化	4
	南区2班	自分たちで災害対策を行い、自分の身は自分で守る。もしもの時はコミュニティで助け合う	4
	南区1班	防災の意識を高めるために自治会加入を促進	3
	南区3班	高齢者の医療対策	3
	南区2班	交通安全対策 道路の整備 マナーの向上	2
	南区3班	小さなつながりの推進	1
	南区5班	地域の仲間づくり	1
	南区5班	個人と組織をつなぐ	1

(4) 南区まとめ(区特有の特徴など)

南区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「安全・安心」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「**自転車マナー・交通安全の徹底**」

安全ルールの徹底のための活動や教習機会を設けるなどの意見が出ています。

・「**自助・共助による安全・安心の確保**」

地域内のコミュニティ形成による安全の強化について多世代での取組みや日常的な声掛け、挨拶の必要性に関する意見が出ています。

・「**防犯・防災機能、情報提供の強化**」

防災情報や空き家情報について市に情報提供を求める意見や、自ら災害対策を行い、自助能力を高めることに関する意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは南区4班の「防犯対策、自転車盗難対策として防犯カメラの設置」でした。キーワード別で見ても「防犯・防災機能、情報提供の強化」についての意見の得票数が最も多くなっており、自らの自助努力によって対策を実施すべきという意見と防犯カメラや情報提供などの行政の協力を求める意見の両輪で防犯・防災の強化の検討がされているところが南区の特徴となっています。

また、防犯カメラの設置にかかる費用面での課題や、自転車マナー向上のための地域免許証の発行の検討など、具体的でオリジナルな議論が行われていました。

<「安全・安心」南区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
自転車マナー・交通安全の徹底	南区 1 班	自転車への安全ルール徹底。市の教習所設置。(2年に1回)	11	17
	南区 2 班	交通安全対策 道路の整備 マナーの向上	2	
	南区 3 班	自転車の安全・啓蒙活動	4	
自助・共助による安全・安心の確保	南区 2 班	それぞれの世代のコミュニティと関係をつくる	9	26
	南区 3 班	小さなつながりの推進	1	
	南区 3 班	高齢者の医療対策	3	
	南区 4 班	防災で大切なのは、近所のネットワーク、コミュニティ。日頃から意識を持って声かけ(勇気)	4	
	南区 5 班	挨拶と笑顔による連帯感	7	
	南区 5 班	地域の仲間づくり	1	
	南区 5 班	個人と組織をつなぐ	1	
防犯・防災機能、情報提供の強化	南区 1 班	防災への市の関わり(ゲリラ豪雨、竜巻)の情報を詳細化	4	30
	南区 1 班	防災の意識を高めるために自治会加入を促進	3	
	南区 2 班	自分たちで災害対策を行い、自分の身は自分で守る。もしもの時はコミュニティで助け合う	4	
	南区 4 班	防犯対策、自転車盗難対策として防犯カメラの設置	13	
	南区 4 班	行政が空き家、空地の把握、管理、運用し、情報を地域住民に提供	6	

4. 「安全・安心」全体総括

全体の意見をまとめると、以下の5つの意見に分けられます。その中で最も得票数が多かったのは、「防犯・防災設備による機能の強化」で、特に防犯カメラの設置に関する意見は緑区、中央区、南区のいずれの区でも出ています。

自転車マナー・交通安全の徹底

「自転車マナー・交通安全の徹底」については、都市部が多くを占める中央区、南区で多く意見が出ています。特に、自転車利用者のマナー向上につなげるための意見が多く、免許や講習の義務化といった取組みが検討されています。

空き家の活用

空き家の増加が地域の安全・安心を脅かすという視点で、空き家を積極的に活用すべきであるという意見が多く出ています。特に中央区では3つの班から意見が出ており、中心部での空き家問題が区民から見ても顕著になっていることが伺えます。

防犯・防災設備による機能の強化

防犯カメラや街灯の整備といった日常的な街路空間の安全・安心確保に向けた整備に関する意見が多く出ている一方で、緑区では防災情報の周知や避難所などの災害時に求められる施設設備に関する意見も見られています。

日頃のコミュニティ形成による安全・安心の確保

日常的なコミュニティの強化が安全・安心全般において大事だという意見は緑区と南区で多く出ています。特に顔が見える関係づくりや小さなコミュニティで地縁を形成していくことの必要性が問われています。

自助・共助による防犯・防災能力の強化

実際に災害が起きた時、もしくは起きる前の事前準備としてコミュニティの強化や自身の意識向上、知識習得に関する意見が多く出ています。

<「安全・安心」全体意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
自転車マナー・交通安全の徹底	緑区 1 班	歩行者、自転車利用者にやさしいまちづくり	9	51
	中央区 1 班	自転車道の整備	5	
	中央区 1 班	ヘルメット、反射板を希望者に配布	7	
	中央区 3 班	自転車のルール 幼稚園、小中学校、高校などへのルールの徹底	4	
	中央区 4 班	交通ルール 講習があるにもかかわらずルールが守られていない原因の調査	1	
	中央区 5 班	自転車を中心とした安全講習の区民全員義務化 将来的には自転車歩行者安全通行のため道を整備	8	
	南区 1 班	自転車への安全ルール徹底。市の教習所設置	11	
	南区 2 班	交通安全対策 道路の整備 マナーの向上	2	
	南区 3 班	自転車の安全・啓蒙活動	4	
空き家の活用	緑区 1 班	増加する空き家の活用（シェアハウスなど）	3	28
	中央区 1 班	空き家の有効活用	2	
	中央区 2 班	空き家や緑の有効活用（景観を整える）	7	
	中央区 3 班	空き家の地域住民活動への開放	10	
	南区 4 班	行政が空き家、空き地の把握、管理、運用をし、情報を地域住民に提供	6	
防犯・防災設備による機能の強化	緑区 1 班	防災情報の周知と避難設備の整備	3	56
	緑区 2 班	地域や時代に応じた環境整備	1	
	緑区 3 班	防犯カメラの路地から大通りの角への設置の推進	4	
	緑区 3 班	広域避難所へのトイレの設置と飲料水の確保	9	
	中央区 2 班	外灯や防犯システム（カメラ etc.）などの設備を充実させる！	20	
	中央区 4 班	街灯がほしい 防犯ブザー、災害マップの周知	2	
	中央区 5 班	高齢者、空き家対策や犯罪から守る方策、具体的手口の広報	0	
	南区 1 班	防災への市の関わり（ゲリラ豪雨、竜巻）の情報を詳細化	4	
	南区 4 班	防犯対策、自転車盗難対策として防犯カメラの設置	13	

日頃のコミュニティ形成による安全・安心の確保	緑区 2 班	地域のつながりと再構築	3	48
	緑区 2 班	一人ひとりの意識改革	6	
	緑区 4 班	顔の見えるまちをつくる	7	
	緑区 4 班	市が自治会や地域活動の援助をする	4	
	緑区 4 班	市民一人ひとりがあいさつ・声かけに取り組む	6	
	南区 2 班	それぞれの世代のコミュニティと関係をつくる	9	
	南区 3 班	小さなつながりの推進	1	
	南区 3 班	高齢者の医療対策	3	
	南区 5 班	挨拶と笑顔による連帯感	7	
	南区 5 班	地域の仲間づくり	1	
	南区 5 班	個人と組織をつなぐ	1	
自助・共助による防犯・防災能力の強化	緑区 3 班	災害時における高齢者の孤立化に対して有志グループの見守り	2	35
	中央区 2 班	防災システムの強化 × 防災意識の強化	4	
	中央区 3 班	防災教育の充実	4	
	中央区 4 班	災害時の対策への周知がされていない地域のコミュニケーション	8	
	中央区 5 班	ハザードマップの啓発、個人の意識醸成、自治会に頼らない組織づくり	6	
	南区 1 班	防災の意識を高めるために自治会加入を促進	3	
	南区 2 班	自分たちで災害対策を行い、自分の身は自分で守る。もしもの時はコミュニティで助け合う。	4	
	南区 4 班	防災で大切なのは、近所のネットワーク、コミュニティ。日頃から意識を持って声かけ（勇気）	4	

Ⅲ. 実施結果 討議 2 「共生・健康」

1. 緑区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「共生・健康」緑区 個人意見>

班	分野	内容
緑区 1 班	高齢者	高齢者の社会参加の促進
		高齢者による料理教室を開く
		誰もが生き生きと暮らせるまち
		要支援者（独居、介護を受けている人など）への支援
	健康	生活習慣病予防
		健康診断の受診
		ラジオ体操 100 歳体操
	障害者	車いす
		見守り
		障害者向け表示が少ない（点字ブロック）
		障害者につく福祉者の支援
	貧困	子どもの貧困支援
		ひとり親の子どもになるような子どもの居場所をつくる
	その他	相手の気持ちを考える
思いやりの心をもって支えあう		
緑区 2 班	貧困	生活困窮者の負の連鎖
		就労の幅を広げ、地域でも就労の場づくり
		非正規就労者の増加の防止対策
	医療	福祉人材に対する給与アップ
		国民健康保険料の負担率が年々アップしている（特に高齢者）
		医療機関や従事者を増やす
		生活習慣病の予防
	地域福祉	困っている人にやさしい町づくり
		バリアフリーをすすめる
		相談できる場所

		相談できる人
		地域の集まり、会合に住民、学校、会社などが参加しみんなで地域づくり
		地域ごとのコミュニティの場づくり（老若男女が集まれるイベント）
		体育館・公民館などの利用料、参加料が年々高くなっている
	高齢者	介護予防事業の充実
		人材、施設の確保
		高齢者の活動の場をつくる
		市、行政が生き生きと活躍できる場づくり
		単身高齢者の増加に対する見守り
		高齢者のひとり暮らし
		認知症の方の支え合い
		地域で高齢者世帯を把握する
		自治会への加入をすすめる
		障害
緑区 3 班	地域福祉	介護人材の不足
		民生委員・児童委員のなり手の不足が大問題
		助けあい
		福祉も充実させるのか、費用、時間（スケジュール）
		高齢者の引きこもり
		多世代交流
		地域のつながりが形骸化
	医療・健康	交流拠点の整備、充実
		メニューづくり、提案
		津久井・城山ハイキング利用
		医療拠点づくり
		工場地帯 交流拠点化
		子どもの遊び場
		地域の老人クラブへの加入者数の減少が顕著
高齢者の 100 歳いきいき体操やラジオ体操のグループの結束		
地域資源の活用（健康維持）		
相模原協同病院の移転に伴い、地域医療対策の充実強化		
橋本に人が集まれる「場所」をつくる		

	貧困	生活保護の定義 単にお金、仕事、体（健康）に分けて考える
	人権・男女共同参画	女性の活躍 男性は今まで通り、それ以上！
		女性活躍 = 男・女のバランスづくり
	その他	市の財政 収益を上げる
		若者の流出
緑区 4 班	健康	障害者の方のリハビリ・トレーニングへの補助
		市営プールの割引
		介護予防サービスなどの周知
		健康診断後の健康指導内容の見直し
		検診受診への働きかけが必要
	自治会	地域の障害者との交流づくり
		世代間の交流の場が必要
		おとなりさんの顔がわからない
		自治会の役割の再確認
		自治会活動の具体化、公表
	貧困	隠れ貧困層
		独居老人の増加
		生活保護を受けている人だけが貧困??
		子ども食堂の継続支援
	活躍	拠点づくり - 地域と連動
		生活保護者の介護、病棟の手伝い
		就労支援 短時間
		ボランティアの訓練場所の確保
		高齢者用の施設づくり 廃校を利用したもの
		地域の人材を活かした子どもの学習支援
		高齢者の活躍の場 小学生の登下校の見守りなど

(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「共生・健康」緑区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
緑区1班	ヘルプマークの活用	高齢者による教育・教養 (今日行く・今日用)
	"高齢者の活躍 (社会参加、仲間づくり、料理教室、歌、100才体操)"	
	子どもの貧困支援 (子ども食堂、公民館で高齢者見守り)	
緑区2班	高齢者の見守り体制充実 (例 自治会加入促進)	・芋掘り、習字、そろばんの高齢者による指導 ・国民健康保険料の負担が年々増加
	地域コミュニティの場づくり (例 老若男女が集まれるイベント開催)	
	医療従事者の不足対策 (例 生活習慣病予防活動による患者減少)	
緑区3班	高齢者の自立及び社会参画の実現	・市の収益を上げる ・企業内のいじめなくす ・女性活躍(男女バランス良く) ・民生委員・若者の流出をふせぐ
	介護職がなりたい職業になる	
	工場地帯から多世代拠点整備	
緑区4班	地域に密着したボランティアの拠点づくり (地区主導したもの)	市営プールが高い。公営施設は低価格で利用したい。
	自治会の活動の細分割 (祭などの役割を分割する)	
	短時間の就労支援 (自分ができる時間を作るもの)	

<ワークシート記入例(緑区1班)>

発表用ワークシート	
班名	緑区1班
メンバー名	中嶋、飯野、丸田、渡辺、大野
テーマ	共生・健康
班でまとめた意見 (重要なもの3つ)	投票欄
ヘルプマークの活用	●●●●●
高齢者の活躍 (社会参加、仲間づくり、料理教室、歌、100才体操)	●●●●●
子供の貧困支援 (子ども食堂、公民館で高齢者見守り)	●●●●●
その他のアイデア、書き残しておきたいこと	
高齢者による教育・教養 (今日行く・今日用)	

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。

投票結果は以下のとおりです。

<「共生・健康」緑区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	緑区2班	地域コミュニティの場づくり	11
2位	緑区1班	高齢者の活躍	10
3位	緑区4班	短時間の就労支援	7
	緑区1班	ヘルプマークの活用	6
	緑区3班	介護職がなりたい職業になる	5
	緑区1班	子どもの貧困支援	5
	緑区3班	高齢者の自立及び社会参画の実現	3
	緑区3班	工場地帯の多世代拠点整備	3
	緑区4班	地域に密着したボランティアの拠点づくり	3
	緑区4班	自治会の活動の細分割	2
	緑区2班	高齢者の見守り体制充実	1
	緑区2班	医療従事者の不足対策	1

(4) 緑区まとめ(区特有の特徴など)

緑区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「共生・健康」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

- ・「**高齢者福祉・活躍・社会参画**」

地域での高齢者自身の活躍や自立、社会参画に関する意見や、若者世代による高齢者の見守りに関する意見が出ています。

- ・「**保健・医療の担い手対策**」

医療従事者不足の問題や介護職の担い手をつくる必要性が討議されています。また、ヘルプマークを通じた日常的な支援に関する意見も出ています。

- ・「**交流拠点・地域活動の整備**」

多世代が交流できる拠点を軸に地域コミュニティの強化を実現していく意見が出ています。

- ・「**子どもの貧困対策**」

子どもの貧困を支援することについて意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは「地域コミュニティの場づくり」でしたが、高齢化といった社会事情を加味し、高齢者がいかに地域内で活躍するか、高齢者をどのように支援していくべきかという点がどの班でも議論されたことで、キーワード別に見ると「高齢者福祉・活躍・社会参画」についての意見の得票数が最も多くなりました。

緑区の意見の特徴として、医療従事者や介護職の人材不足について言及されています。また、自治会や芋掘り、習字、そろばん、市営プール、工業地帯など、地域の活動内容と活動場所のイメージが具体的に検討されていることが特徴としてあげられます。

<「共生・健康」緑区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
高齢者福祉・活躍・社会参画	緑区 1 班	高齢者の活躍	10	21
	緑区 2 班	高齢者の見守り体制充実	1	
	緑区 3 班	高齢者の自立及び社会参画の実現	3	
	緑区 4 班	短時間の就労支援	7	
保健・医療の担い手対策	緑区 1 班	ヘルプマークの活用	6	12
	緑区 2 班	医療従事者の不足対策	1	
	緑区 3 班	介護職がなりたい職業になる	5	
交流拠点・地域活動の整備	緑区 2 班	地域コミュニティの場づくり	11	19
	緑区 3 班	工場地帯の多世代拠点整備	3	
	緑区 4 班	地域に密着したボランティアの拠点づくり	3	
	緑区 4 班	自治会の活動の細分割	2	
子どもの貧困対策	緑区 1 班	子どもの貧困支援	5	5

2. 中央区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「共生・健康」中央区 個人意見>

班	分野	内容
中央区 1 班	高齢者	地域福祉 孤立死を防ぐ
		増える高齢者への生活支援をどう支えるか？
		高齢者世帯へ地域としてもっと一般家庭が関わる 介護システムにどう市が関わるか？
		医療 今のシステム 検診などをもっと進めて
		地域を支える人たちの高齢化 どのようにしたら次世代にバトンタッチできるか
		介護訪問や生活支援サービスの充実
	墓問題	共同墓地対応 地方からの移動
		葬式への対応
		墓じまいに対する行政の対策
	貧困	生活保護世帯の自立への支援 - 負のサイクルにならないなど
		貧困家庭への支援 子どもの養育や教育に高齢・シニア世代が関わるシステム
		生活保護の支援
		生活保護費を現物支給にする
		生保家庭の支援方法（就学、自立支援）
	障害	障害者の自立まではいかなくても就労などへの援助
		地域生活の支援（自治会などの活用）
	外国籍	外国籍増加 地域への取り込み方
中央区 2 班	健康	がん検診の情報周知
		健康寿命を延ばす！生活習慣改善支援
		緑を取り入れひらけているところをつくる
		外に出やすい環境を整える
		医療機関（病院）を増やす 大学病院を誘致！
		自殺 メンタルクリニック 容易なアクセス
		市役所の跡地に大学病院

		自転車で遠出する企画
	福祉	市からの助成金による介護士の給与改善
		高齢者へのデイケア・ケアマネージャーの充実
		生活保護者に仕事の喜びを体験してもらう
		生活保護前の自立支援を明解に
		民生委員の活動が見えにくい
		特養ホームの増強（要介護者の支援）
		障害者という言葉に不安
	コミュニティ	いろいろな世代の学校があってより知識をサービス・収入に
		サークル活動を活発にする 心の健康・コミュニケーション
		高齢者の活動の場、仕事の場拡大
		人権の共有 お互いに体験 交流
		外国人居住者へのサービス（言語バリアフリー！）
		障害者に対する幼少期から教育
		コミュニティの形成
		エリアを分ける（外国、高齢、学生）
		地域コミュニティをインターネットでつなぎ孤独化防止
		コミュニティの企画周知
		空き家を使ったコミュニティの場
		高齢者と子どもたちとの接点
高齢者のコミュニティ拡大		
孤独死対策		
中央区3班	貧困	生活保護前の就労支援 民間との協業
		企業対策 税金や新しく誘致
		人に必要とされれば自立できるはず
	障害	障害者への相談、就労支援 民間との協業
		障害に対する区分け 物事に対しては障害が問題とならない仕事もあるはず（社会参加ができる）
	健康	健康診断の無料化
		スポーツの継続
		予防と運動のきっかけづくり 自治会との連携
	地域福祉	子ども、若者の居場所づくり
		子どもの面倒（学習など）（放課後）見てくれるボランティア募集をする（学生など）
		若者とお年寄りの交流の場をつくる

		お年寄りの方が1人では大変なことを手伝うボランティア募集(学生など)
		福祉、高齢、医療、介護人材のための学校をつくる
		安価な介護施設をつくる
		高齢者も社会に参加できる土台づくりが必要
		地域コミュニティ活性化のためにイベントを増やす
		外国人との対話 コミュニケーションの場を積極的につくる 盆踊り、お祭り
		長寿会参加の呼びかけ 楽しい集いの案内 具体的活動の紹介
	その他	ソーシャルワーカーの質の向上
中央区4班	地域福祉	近所に手助けがいる人がどこにいるかわからない
		地域住民が地域の課題を考える場づくり
		「少しだけ手伝える」人材バンク化
		高齢者が安心して住め、声掛けできる地域ができたらいいかな
		自治会に入る目的・意義を理解
		自治会のならわしを通さず新しい若者の意見を聞いてほしい
	貧困	生活保護者の認定をしっかりと審査する
		自立支援の強化、サポート大事!(特に若年層)
	障害	障害への理解、コミュニケーション
		高校生に福祉の魅力を発信し、福祉系大学などへの進学を促進する
		障害者が受け手から担い手へ その人の持っている力を活用する
		福祉人材の不足 福祉の仕事の魅力発信
		障害者の支援、サポート、家族にも手厚く!
		中・高生のボランティア単位制
	人権・男女共同参画	女性の働き方支援のサポートを充実してほしい
	医療	在宅医療を増加できると良い
		利用しやすい病気相談窓口
		在宅医療を利用しやすい情報提供
	高齢者	介護予防事業としていきいき100歳体操 実際やっています

		すがとっても年齢的にぴったりです
		高齢者へのサポート、支援
		介護者の増員、働きがいのある環境
		老々介護を何とかしたい
		認知症講座は小・中学生、ペットを飼っている人
		障害者の望む自治会でのコミュニケーションが必要である
		老人会の「高齢化」60代が入会したくなる会をめざす
		認知症サポーター養成講座を実施
中央区5班	コミュニティ	近所付き合いを深める
		コミュニティの場所提供（空き家）
		地域コミュニティの復活 自治会の見直し
		老人を中心とする新コミュニティの設立
		自治会費の補助
		高齢者を見守る活動
		高齢者と若者とのコミュニケーションをもっととる
		町にベンチを設置し閉じこもりの防止 介護予防
		相模原市は横浜市に次いで外国人が多い、補給廠の跡地に国際（異文化）交流の場を！
		生活保護・年金制度の再評価・再構築
	生活保護制度利用者による福祉活動	
	生活保護世帯との境界ラインの方の補助(あるいは生活の方の短時間労働促進)	
	生活保護 > 年金	
	生活保護、介護認定などに足る財源確保	
	先が見えないから不安、健康、未来に対する不安が大きい(自殺につながる)	
	正社員にして社会保障を 結婚	
	適材適所	障害者 特殊能力やある分野にたけている傾向を活かした支援が必要なのでは
		障害者への理解
	LGBT	男女での差別ではなく区別をするべき 適材適所
		性別でなく能力で評価
	医療	高齢者に対する手当は大きいと思う、若い人へも支援を
	その他	担い手の呼び込み 住みやすい市に
		義務教育への平等な支援

	教育が受けられるような仕組み
	若者が住める町にしてい

<付箋・模造紙記入例（中央区1班）>



(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「共生・健康」中央区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
中央区1班	地域福祉 高齢者 介護する方を増やすために 地域で高齢者パワーの活用 ・職場環境改善・賃金アップ	-
	貧困 生活保護世帯への支援方法について 若年層世帯の働ける環境づくり 負のサイクルを断ち切り 自立支援 子どもを預ける施設、子どもの教育支援	
	障害 社会との共生 互いに関連 自立支援の援助 障害者のやりがいづくり	
中央区2班	健康 大学病院の誘致 健康寿命を延ばす努力(食生活・運動)	-
	コミュニティ 交流の場をつくる。老人と子ども、外国人、ハンディのある人 民間の運営ノウハウを生かす。イベント	
	福祉 介護福祉関係者の処遇の改善 ロボット AI化により効率化	
中央区3班	地域福祉 子ども~高齢者まで、外国人 ボランティア&民間企業とのコラボによるコミュニケーションづくり 同じ'人'に必要とされて自立する	-
	コミュニティ 手法:運動会、盆踊り、お祭りの増加 魅力をどう伝えるか。文化発信の為のツアー	
	貧困 企業誘致の為、法人税の緩和 起業を目指す子どもたちの育成	
中央区4班	地域福祉 「地域の課題を考える場づくり」 自治会単位で検討 人材バンクの設置	-
	障害 「障害への理解促進」 障害・福祉への魅力を発信 中高生へのボランティア単位制の導入	
	高齢 「高齢者が生き生きと暮らせる地域」 老人会の高齢化(80代が主) 100才体操の普及	
中央	地域のコミュニティ力を高める 参加費用をなくす。コミュニティの場をつくる(空き家	-

区 5 班	など、ベンチの設置、外国人も参加しやすくする。	
	生活保護制度の再評価・再構築 生活保護制度利用者による福祉活動への参加など	
	人を呼び込む町づくり 市が保険の補助、在宅勤務の強化（企業と協力）	
	若者が住める町にしていく。（医療、学費など） 真の共生社会 適材適所	

<ワークシート記入例（中央区2班）>

発表用ワークシート	
班名	2班(中央区)
メンバー名	武井,大塚,フナカ,いわた,高橋,有泉
テーマ	共生・健康
班でまとめた意見（重要なもの3つ）	
健康	大学病院の誘致 健康寿命を延ばす努力(食生活・運動)
コミュニティ	交流の場をつくる。老人福祉・外国人福祉 民間の運営ノウハウを生かす。イベント
福祉	介護福祉関係者の処遇の改善 ロボットAI化により省力化
その他のアイデア、書き残しておきたいこと	

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「共生・健康」中央区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	中央区4班	「障害への理解促進」 障害・福祉への魅力を発信 中高生へのボランティア単位制の導入	16
2位	中央区1班	生活保護世帯への支援方法について・若年層世帯の働ける 環境づくり	15
3位	中央区2班	交流の場をつくる。民間の運営ノウハウを生かす	10
	中央区5班	生活保護制度の再評価・再構築	9
	中央区1班	介護する方を増やすために職場環境改善・賃金アップ	6
	中央区3班	企業誘致の為、法人税の緩和	6
	中央区5班	若者が住める町にしてい	6
	中央区2班	介護福祉関係者の処遇の改善	4
	中央区3班	運動会、盆踊り、お祭りの増加	4
	中央区2班	大学病院の誘致・健康寿命を延ばす努力	3
	中央区4班	高齢者が生き生きと暮らせる地域	2
	中央区1班	自立支援の援助 障害者のやりがいづくり	0
	中央区3班	ボランティア&民間企業とのコラボによるコミュニケー ションづくり	0
	中央区4班	地域の課題を考える場づくり	0
	中央区5班	地域のコミュニティ力を高める	0
	中央区5班	人を呼び込む街づくり 保険の補助、在宅勤務の強化	0

(4) 中央区まとめ(区特有の特徴など)

中央区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「共生・健康」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「**高齢者福祉・活躍・社会参画**」

高齢者が生き生きと暮らすことや介護者の待遇改善、健康寿命の延伸などに関する意見が出ています。

・「**障害者福祉・自立支援**」

障害・福祉への理解の促進による学生ボランティアの導入や、自立支援、やりがいづくりについての意見が出ています。

・「**交流拠点・地域活動の整備**」

日常的な交流機会の創出のための民間活力の導入や、運動会や盆踊りといった行事の増加の必要性などに関する意見が出ています。

・「**貧困対策**」

若年層や生活保護世帯が住みやすい街にしていくための支援や制度構築に関する意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは中央区4班の「**障害への理解促進**」 障害・福祉への魅力を発信 中高生へのボランティア単位制の導入」で、不足しがちな支援を中高生のボランティアによって確保するという点で共感を得ています。一方で、生活保護世帯や若年層が住みやすい街にしていくという意見も次点で多くなっており、キーワード別で見ると「**貧困対策**」についての意見の得票数が最も多くなっています。

また、介護職の待遇を改善し、職につけない若年層が介護職として働くことで、負の連鎖を正のサイクルに変えていく仕組みが必要であるという一連の流れについて議論されていたことが特徴的でした。また、外国人が多いという中央区の特性を踏まえ、多様な主体による交流機会の創出の必要性が議論されていました。

<「共生・健康」中央区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
高齢者福祉・活躍・社会参画	中央区 1 班	介護する方を増やすために職場環境改善・賃金アップ	6	15
	中央区 4 班	高齢者が生き生きと暮らせる地域	2	
	中央区 2 班	介護福祉関係者の処遇の改善	4	
	中央区 2 班	大学病院の誘致・健康寿命を延ばす努力	3	
障害者福祉・自立支援	中央区 4 班	「障害への理解促進」 障害・福祉への魅力を発信 中高生へのボランティア単位制の導入	16	16
	中央区 1 班	自立支援の援助 障害者のやりがいづくり	0	
交流拠点・地域活動の整備	中央区 2 班	交流の場をつくる。民間の運営ノウハウを生かす	10	20
	中央区 3 班	企業誘致の為、法人税の緩和	6	
	中央区 3 班	運動会、盆踊り、お祭りの増加	4	
	中央区 3 班	ボランティア&民間企業とのコラボによるコミュニケーションづくり	0	
	中央区 4 班	地域の課題を考える場づくり	0	
	中央区 5 班	地域のコミュニティ力を高める	0	
貧困対策	中央区 5 班	若者が住める町にしていく	6	30
	中央区 1 班	生活保護世帯への支援方法について・若年層世帯の働ける環境づくり	15	
	中央区 5 班	生活保護制度の再評価・再構築	9	
	中央区 5 班	人を呼び込む街づくり 保険の補助、在宅勤務の強化	0	

3. 南区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「共生・健康」南区 個人意見>

班	分野	内容	
南区 1 班	高齢者	高齢者・障害者の働きがい・場所の確保	
		高齢者の雇用拡大	
		高齢者の社会とのつながりを増やす	
		寝たきりの高齢者の減少	
		エレベーターのない建物の移動手段設置	
		高齢者が語り部となる近代相模原	
		あじさい大学の開講場所の充実	
		介護事業へ市から補助金拠出	
		高齢障害者の空き家利用	
	福祉	福祉にかかわる情報の伝え方	
		地域ボランティアの増員	
		地域で行っている福祉サービスの更なる PR をする	
		福祉・医療人材の確保（財政支援）	
	障害者	障害者がコミュニティに望むことを提供してもらう	
		パラリンピックスポーツから障害者への理解を深める	
	貧困	貧困家庭の子どもの学費支援	
		生活保護は本当に必要な人のみに行き届いているか？	
		民生委員という枠組みの見直し	
	医療	訪問診療医師・看護師の増加	
		病気・けがの予防	
		成人検診受診率 未受診者へのペナルティ	
		年 1 回の健康チェックの徹底	
	南区 2 班	交流 - コミュニティづくり	自治会 59.3%も入っていることにびっくり！
			高齢者がいかに自立するか、頼る勇気
地域との関わりがない			
高齢者の定義を共有していく（個人の自由が前提）			
1 人 1 人増やす、友達づくり			
高齢 = 老後のスタイル（毎日求めるもの）、健康 = 医療に			

		よる診断 精神的なもの！
		コミュニティの為 低額クーポン
		コミュニティソーシャルワーカー、民生委員、児童委員？ ...知らない、知ろうとしていない
	インフラ整備	医療 正しい最新の情報提供（個人の自由が前提）
		一極集中しない
		町がつくる道の駅的モール街
		委員って誰？...基本的に知りにはいかないと知らない
		高齢者向けの低額シェアハウス
		健康 定期的に最新、正しい情報の提供（個人の自由が前提）
		貧困 問題が多岐にわたりすぎている まずは生活習慣の整備
		地産地消を図る
		医療 高齢者に偏重していないか？
		町の美観 昭和の町並み
	共同参画	実際の仕事場で女性活躍を求められたことは一度もない
		共同参画は「できているエリア」を学ぶ
南区 3 班	現状の知識 + 身近な人のアドバイス	QOL 向上の施設の増加
		被介護者家族の QOL
		福祉サービスの不足
		要介護施設の増加
		要介護者数の増加
		福祉人材の不足
		車いすの人にはまだまだ改良が必要
	真の地域福祉	自治会 = 負担 魅力ある取組みへ
		高齢者が活躍できる場所
		一人一役
		得意なことで活躍続けられる
		障害者雇用の増加
		生活のために働かなければならない× 生きがいとなる働きへ
		高齢者 = 弱い× 多くのことの経験者として
	参加者の理解 協力	
	健康に関する	地域差がある健康

	個人の知識向上のために	医療・医学知識の教育
		健康まつり（病院主催）
		無関心の人が多い
		市とコラボ 講演会
		健康管理 主治医を決める
		服用している薬について説明してくれる機会（自治会）
		健康予防を自分で考える
		誰に相談していいのかわからない
	その他	生活保護増になってしまう 何が昔と違うのか
		市で行っている放送のよびかけは良い
南区 4 班	人権教育	障害者と地域との交流会 まつり、地域のイベント
		市内企業の女性管理職を増やす（比率を出す）
		男女共同参画人権感覚を持つ
		「自分と違う人」を排除しない意識
	高齢者	高齢者宅を必ず訪問するきっかけをつくる
		高齢者のひとり暮らし 地域とのコミュニケーション不足
		高齢者の健康のための運動の推進（クラブ、同好会とか）
		ひとり暮らし高齢者の把握
	地域コミュニティの活性化	ソーシャルワーカーの存在が地域に知られていない、問題の掘りおこしか？
		健康上の相談窓口を増やす 情報公開を頻繁に
		契約更新型のコミュニティの設置
		地域コミュニティの活発化のためのイベントの実行
		自治会の班単位の協議
南区 5 班	高齢者	高齢者による行動を見守る
		高齢化に情報交換不足が心配、健康診断を行う（年1回）
		シニアの就労環境整備
		支援を受けずできること、何ができるか
		就労支援の強化
		仕組みをつくる＆仕組みの周知
		意識のある方々の肩を押す仕組みづくり
		人生経験の登録の仕組み
		マッチングサービスとトラブル
		「仕事」というほどでもない小さいしごとでもいい

		コミュニティのオープン化、組織化 参加への支援
		生きがい場所づくり
		何かできることがある、やる気 と思える
		登録データベース やってほしいことの登録
		保障制度
		シルバー人材センターに仕事を
		シニア伝言板制度（取次は自治体？）
		障害者の自立
		元気である期間をどうやって長くするか
	障害者	医療と支援との連携
	健康・医療	救急の受け入れ環境の整備
		個人の健康意識を高めるための啓蒙
		健康診断受診の機会・促進・意識
		月1回のセミナーのような食生活の指導
		皆で一緒に健康診断
		健康ポイント
		5人まとまらないと健診の予約できない制
		救急車利用ガイド
	その他	障害者による行動について
		貧困 身近に例がない
		障害 どうしたらいいか何も浮かばない
		人口は増えない 増員という手段はない
		要介護になった人をどう少人数で支えるか
		子ども食堂

(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「共生・健康」南区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
南区 1班	動ける高齢者の増加拡大 ボランティアの受け皿を増やす(知恵の教室)	-
	健康診断受診率のアップ 受診場所、時間の拡大	
	貧困家庭を減らす ボランティアを活用した教育	
	高齢 / コミュニティづくり、場所、住居(環境づくり)	
南区 2班	就労世代のコミュニティづくり	-
	共同参画 ~ 女性の活躍!!	
	健康に関する個人知識の向上 市・自治会・病院が行う”講演会””健康イベント”	
南区 3班	介護福祉の現状を知る 福祉施設・人材・サービスの不足 要介護者数の増加 被介護者家族のQOL低下	-
	地域福祉の活性化 高齢者が活躍できる場所・機会の提供 地域の活動の理解を深める	
	高齢者対策 一人暮らし高齢者のリストアップ、地域が声かけできる仕組み ・健康体操 ・運動同好会 ・サロンの勧誘 ・安心グッズの配布 など	
南区 4班	人権教育 障害者に絞る 障害者(弱者)と交流を図るためのイベント実施	-
	コミュニティの活性化 地元のソーシャルワーカー、民生委員、相談窓口を地域情報誌や自治会報などで周知させる。	
	ヤル気高齢者の肩を押す 自立支援 ヤル気スキルの登録、派遣、情報の公開(トラブル時の保障制度)	
南区 5班	個人の健康意識の向上 皆で一緒に健康診断	救急利用ガイドの広報 緊急通報システム(座間、小田原) 見守り
	医療、障害者など 医療と支援との連携	

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「共生・健康」南区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	南区3班	健康に関する個人知識の向上	11
2位	南区2班	就労世代のコミュニティづくり	10
3位	南区1班	動ける高齢者の増加拡大	9
	南区5班	ヤル気高齢者の肩を押す 自立支援	8
	南区5班	個人の健康意識の向上 皆で一緒に健康診断	8
	南区4班	一人暮らし高齢者のリストアップ、地域が声かけできる仕組み	7
	南区3班	地域福祉の活性化 高齢者が活躍できる場所・機会の提供	4
	南区1班	健康診断受診率のアップ	2
	南区4班	人権教育 障害者に絞る	2
	南区5班	医療と支援との連携	2
	南区1班	貧困家庭を減らす ボランティアを活用した教育	1
	南区2班	高齢 / コミュニティづくり、場所、住居	1
	南区2班	共同参画 ~ 女性の活躍!!	1
	南区3班	介護福祉の現状を知る	1
	南区4班	コミュニティの活性化	0

(4) 南区まとめ(区特有の特徴など)

南区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「共生・健康」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「**高齢者福祉・活躍・社会参画**」

高齢者の活躍機会の創出、自立支援によって高齢者自身の活動機会を増やすことや、介護福祉や地域での声掛けなどの支援者側に関する意見が出ています。

・「**障害者福祉・自立支援**」

障害者に関する人権教育についての意見が出ています。

・「**健康福祉・医療対策**」

高齢者に限らず全世代を対象とした健康に対する意識啓発の必要性や健康診断受診率の向上、医療制度などに関する意見が出ています。

・「**交流拠点・地域活動の整備**」

就労世代や女性など、対象を明確にした地域参加への意見が出ています。

・「**貧困対策**」

貧困家庭に関する意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは南区3班の「健康に関する個人知識の向上」で、個人で健康に関して興味を持って生活するべきであるという議論がされています。一方で、高齢者の活躍機会の創出や高齢者への支援といった意見がどの班からも出ており、キーワード別で見ると、「高齢者福祉・活躍・社会参画」についての意見の得票数が最も多くなっています。

また、南区の意見の特徴として、高齢者と就労世代のコミュニティを形成することで、高齢者の居場所づくりや支援につなぎ、高齢者でも働ける場の形成や、やる気を創出するという一貫した流れが議論されています。

<「共生・健康」南区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
高齢者福祉・活躍・社会参画	南区 1 班	動ける高齢者の増加拡大	9	30
	南区 5 班	ヤル気高齢者の肩を押す 自立支援	8	
	南区 4 班	一人暮らし高齢者のリストアップ、地域が声かけできる仕組み	7	
	南区 3 班	地域福祉の活性化 高齢者が活躍できる場所・機会の提供	4	
	南区 2 班	高齢 / コミュニティづくり、場所、住居（環境づくり）	1	
	南区 3 班	介護福祉の現状を知る	1	
障害者福祉・自立支援	南区 4 班	人権教育 障害者に絞る	2	2
健康福祉・医療対策	南区 3 班	健康に関する個人知識の向上	11	23
	南区 5 班	個人の健康意識の向上 皆と一緒に健康診断	8	
	南区 1 班	健康診断受診率のアップ	2	
	南区 5 班	医療と支援との連携	2	
交流拠点・地域活動の整備	南区 2 班	就労世代のコミュニティづくり	10	11
	南区 2 班	共同参画 ~ 女性の活躍！！	1	
	南区 4 班	コミュニティの活性化	0	
貧困対策	南区 1 班	貧困家庭を減らす ボランティアを活用した教育	1	30

4. 「共生・健康」全体統括

全体の意見をまとめると、以下の8つの意見に分けられます。その中で最も得票数が多かったのは、「高齢者の社会参加機会の拡大」で、高齢者の活躍に関する意見がどの区からも出ています。

高齢者の社会参加機会の拡大

元気な高齢者（アクティブ・シニア）の増加に伴い、退職後の高齢者の知識や力を地域のために活かす、地域で活躍できる場をつくるという意見が南区と緑区で多く出ています。また、短時間での就労などの具体的な対応策についても意見が出ています。

高齢者の地域での見守り・支援

独居の高齢者や地域の高齢者を地域コミュニティで助けていくべきだという意見が多く出ています。特に南区で積極的に、見守りや居場所づくりといった意見が多く出ています。

介護・福祉従事者の環境改善

介護・福祉従事者の担い手が不足している現状に対して、職場環境や処遇に問題があり、改善するべきだと考える意見が多く出ています。職場環境や処遇、現状を理解することで、地域で介護職が増加していくことが望まれています。

障害者福祉・自立支援

障害者福祉について、障害への理解促進、人権教育など、障害への理解の必要性に関する意見が出ています。

健康福祉・医療対策

健康への興味促進、関心拡大が、個人の健康の向上につながるという意見が南区で多く出ています。また、健康診断の受診率の低さを課題に感じている意見も見られます。

自治会活動・コミュニティの活性化

共生というテーマに対して自治会活動の活性化やコミュニティの強化に関する意見が多く出ています。特に、就労世代や女性など、特定の対象も巻き込んだコミュニティのあり方や、運動会や盆踊りといった地域行事によってコミュニティを強化することが検討されています。

ボランティアや共生の場づくり

コミュニティの活性化や地域での共生のためには場づくりが必要であるという意見

が多く出ています。地域密着の拠点や工業地帯の交流拠点などのハード的な整備と、民間の運営ノウハウの活用やコラボレーションといったソフト的な整備の両面に渡った議論が行われています。

貧困対策

子どもの貧困や生活保護などの社会的な課題に対して、必要な支援を実施し、貧困家庭を減らしていくことが多く議論されています。また、若年層世帯が働ける環境やボランティアなどによる教育機会の確保など、貧困の負のスパイラルを止めるための方策について多く意見が出ています。

<「共生・健康」全体意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
高齢者の社会参加機会の拡大	南区 1 班	動ける高齢者の増加拡大	9	39
	南区 5 班	ヤル気高齢者の肩を押す 自立支援	8	
	緑区 1 班	高齢者の活躍	10	
	緑区 3 班	高齢者の自立及び社会参画の実現	3	
	緑区 4 班	短時間の就労支援	7	
	中央区 4 班	高齢者が生き生きと暮らせる地域	2	
高齢者の地域での見守り・支援	南区 4 班	一人暮らし高齢者のリストアップ、地域が声かけできる仕組み	7	13
	南区 3 班	地域福祉の活性化 高齢者が活躍できる場所・機会の提供	4	
	南区 2 班	高齢 / コミュニティづくり、場所、住居（環境づくり）	1	
	緑区 2 班	高齢者の見守り体制充実	1	
介護・福祉従事者の環境改善	南区 3 班	介護福祉の現状を知る	1	19
	中央区 1 班	介護する方を増やすために職場環境改善・賃金アップ	6	
	中央区 2 班	介護福祉関係者の処遇の改善	4	
	中央区 2 班	大学病院の誘致・健康寿命を延ばす努力	3	
	緑区 3 班	介護職がなりたい職業になる	5	
障害者福祉・自立支援	南区 4 班	人権教育 障害者に絞る	2	18
	中央区 4 班	「障害への理解促進」 障害・福祉への魅力を発信 中高生へのボランティア単位制の導入	16	
	中央区 1 班	自立支援の援助 障害者のやりがいづくり	0	

健康福祉・医療 対策	南区 3 班	健康に関する個人知識の向上	11	30
	南区 5 班	個人の健康意識の向上 皆で一緒に健康診断	8	
	南区 1 班	健康診断受診率のアップ	2	
	南区 5 班	医療と支援との連携	2	
	緑区 1 班	ヘルプマークの活用	6	
	緑区 2 班	医療従事者の不足対策	1	
自治会活動・コ ミュニティの 活性化	南区 2 班	就労世代のコミュニティづくり	10	17
	南区 4 班	コミュニティの活性化	0	
	緑区 4 班	自治会の活動の細分割	2	
	中央区 3 班	運動会、盆踊り、お祭りの増加	4	
	中央区 5 班	地域のコミュニティ力を高める	0	
	南区 2 班	共同参画 ~ 女性の活躍!!	1	
ボランティア や共生の場づ くり	緑区 2 班	地域コミュニティの場づくり	11	33
	緑区 3 班	工場地帯の多世代拠点整備	3	
	緑区 4 班	地域に密着したボランティアの拠点づくり	3	
	中央区 2 班	交流の場をつくる。民間の運営ノウハウを生かす。	10	
	中央区 3 班	企業誘致の為、法人税の緩和	6	
	中央区 3 班	ボランティア & 民間企業とのコラボによるコミュニケーションづくり	0	
	中央区 4 班	地域の課題を考える場づくり	0	
貧困対策	南区 1 班	貧困家庭を減らす ボランティアを活用した教育	1	36
	緑区 1 班	子どもの貧困支援	5	
	中央区 5 班	若者が住める町にしていく	6	
	中央区 1 班	生活保護世帯への支援方法について・若年層世帯の働ける環境づくり	15	
	中央区 5 班	生活保護制度の再評価・再構築	9	
	中央区 5 班	人を呼び込む街づくり 保険の補助、在宅勤務の強化	0	

IV. 実施結果 討議3 「環境」

1. 緑区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「環境」緑区 個人意見>

班	分野	内容
緑区1班	資源	資源分別の徹底
		友達同士の不用品交換
	環境	里山、ほたるの保全
		柔軟剤の不使用
	ごみ	各地域から転入した人が混合で生ごみを出している
		ごみ分別の徹底
		ごみ分別が徹底されないので収集の曜日の確認をする(冊子を渡す)
		生ごみの水切り
		国道のポイ捨てごみの処理方法
	緑地	緑の多いまち 公園をつくる
		公園における清掃活動
	エネルギー	LEDに切り替わる時の補助
		再生可能エネルギーはどの程度進んでいるのか
電球とLEDの切り替え		
緑区2班	緑地・水辺・ 生物多様性	多様な人が親しめる里山づくり
		地元産材活用の情報提供
		津久井地域の里山保全、キャンプと組み合わせ、緑区環境ボランティア
		地域を超えた環境(自然)資源の共有
		学校の花壇ボランティア 高齢者、障害者
		境川の流域の生物・植物の保全再生と道路の緑化
	環境教育	小・中学校への出前授業の実施
	温暖化	太陽光パネル設置
	ごみ・資源循環	ごみポイ捨て防止の啓発活用

	環	タバコの吸いgaraが多い	
		廃棄物、他市からの不法投入対策 防犯カメラのごみ捨て場への設置	
		ごみポイ捨てはボランティアだのみ	
		リサイクルの推進	
		ごみ回収時間にばらつきがある	
	都市緑化・公園	公園を増やす	
		天候に左右されない広場を作ってほしい	
		公園の遊具の工夫（年齢別の遊具・場所を分ける）	
		ボールを使える広い公園が少ない	
		公園内に休めるベンチ少ない	
		花火ができる場所が少ない	
		サッカー・野球ができる広大な公園 ベンチを作って高齢者も活用	
		自然豊かな津久井地域でも公園が少ない	
		相原高校跡地の緑化公園化と第2 公民館・子どもセンターの設立：老人向け施設の設立	
	緑区3班	里山・緑地	イベントの開催 行政・民間
			都市部 里山 共同作業チーム
			「緑区の宝」里山の保全（穴川：ホタルの里、炭焼）
			営農センターあたりの活用
野菜の産直販売			
農地の活用			
公園		公園内の防犯カメラ	
		公園内の灯	
		公園などの子どもへの取組み	
		公共花壇？の整備	
		自然観察会 ウォーキング バードウォッチング	
		相模川の活動	
		市営公園の整備（特に旧津久井四町）	
資源		ごみを少なくする方法	
		ごみの分別遵守	
		下水道処理施設のメンテナンス においはしない様、地域の理解が重要	
		放置物からの汚染物流出、チェック、指導、改善	

		食品廃棄物減少
	温暖化	太陽光の推進
		お金をかけても温暖化対策
		温暖化に関する知識
		津久井湖などのアオコ対策
緑区 4 班	資源循環	ごみの多種・多様化への対応（アプリの活用）
		相模原はごみの回収がとても住民にやさしく良い
		廃棄物 資源循環（本市は恵まれている）
	都市緑化・公園	公園が少ない！
		近くの公園が少ない
		公園でできることが少ない？
		緑区は地域の活動の場が多く良い、中央・南区少ない
	温暖化	温暖化対策、公共機関、学校に必要、パネルで電気を生み出すとか
		再生可能エネルギーの活用
		起業の誘致（市・区）
	環境保全	悪臭が多くなっている？（なぜ）
	環境教育	相模原市として何を学ばせるべきか？
	水源・森林環境	獣害対策の促進
		県水源環境保全税による森林整備の促進
		イノシシ、サル、シカなどによる鳥獣被害の増加
		水源森林保護への支援活動
		農家の人手不足
		水は豊かである、水流の保全は必要だが浄水場が人口の割には少ない気がする
		未整備による森林の荒廃
		自然を活かした設備の造営
		津久井地区の休耕地、荒廃農地の増加
		今後の対策
	自然と人との共生を図る	
	津久井産材の利用促進	
	自然と触れ合う機会をつくる（相模原プレジャーフォレスト？）	

(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「環境」緑区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
緑区1班	1. ゴミ分別が徹底されていないので、地域コミュニティを利用して集積場に冊子を置く。	-
	2. 再生可能エネルギーLEDの取替補助	
	3. 緑地帯に”ほたる見守り隊”をつくる。	
緑区2班	老若男女利用できる多目的な公園 子ども/老人センター、公民館 屋内型/ボール/年齢に応じた/休める場 相原高校跡地、津久井の空き地	-
	ポイ捨て禁止の看板づくり タバコ、不法投棄	
	世代を超えた里山保全活動 キャンプ、バーベキュー、アスレチック 環境教育 保全活動を対価として求める(ゴミ拾い、植樹、花植え・・・)	
緑区3班	里山、遊休農地の活用 (駐車場、トイレなど)	・コンポスト(生ごみを畑に)活用 ・食品廃棄物減少 ・津久井湖などのアオコ対策 ・太陽光の推進
	分かりやすいゴミ分別 一覧表の配布	
	市営公園の整備と活用(防犯カメラ、街灯など)	
緑区4班	資源循環 資源の理解 活用 保全 振り返り	鳥獣被害対策
	農地の地目変更の推進 自然と ・ふれあいの機会 ・住居の提供	
	公共機関や学校などにソーラーパネルで電気を送り送る	

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「環境」緑区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	緑区2班	老若男女利用できる多目的な公園	11
2位	緑区4班	農地の地目変更の推進	8
3位	緑区4班	公共機関や学校などにソーラーパネルで電気をつくり送る	7
3位	緑区3班	里山、遊休農地の活用	7
	緑区1班	再生可能エネルギーLEDの取替補助	5
	緑区3班	分かりやすいごみ分別 一覧表の配布	4
	緑区3班	市営公園の整備と活用(防犯カメラ、街灯など)	3
	緑区4班	資源循環 資源の理解 活用 保全 振り返り	3
	緑区2班	世代を超えた里山保全活動	3
	緑区1班	緑地帯に”ほたる見守り隊”をつくる。	3
	緑区2班	ポイ捨て禁止の看板づくり	2
	緑区1班	ごみ分別が徹底されていないので、地域コミュニティを利用して集積場に冊子を置く。	1

(4) 緑区まとめ(区特有の特徴など)

緑区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「環境」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

- ・「**里山・自然環境の保全**」

里山の保全や活用に関する意見や、緑地での活動の必要性についての意見が出ています。

- ・「**ごみの分別**」

日常的なごみの分別方法の周知から、資源循環に関する知識の習得についての意見が出ています。

- ・「**農地や公園の利活用**」

誰もが利用できる多目的な公園の必要性や、農地の地目変更の課題などについての意見が出ています。

- ・「**再生可能エネルギー活用の推進**」

ソーラーパネルやLEDといった再生可能エネルギーの活用について意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは緑区2班の「老若男女利用できる多目的な公園」で、誰もが公園を利用できるという点で票が集まっています。また、耕作放棄地の問題について、農地の地目変更の難しさを課題として挙げており、キーワード別にみると、「農地や公園の利活用」についての意見の得票数が最も多くなっています。

緑区の意見の特徴として、緑区西部の里山や農地、豊かな自然環境に関する意見が多く出ており、中央区や南区よりも里山や自然が身近な存在として感じられています。

<「環境」緑区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
里山・自然環境の保全	緑区 3 班	里山、遊休農地の活用（駐車場、トイレなど）	7	13
	緑区 2 班	世代を超えた里山保全活動	3	
	緑区 1 班	緑地帯に”ほたる見守り隊”をつくる。	3	
ごみの分別	緑区 3 班	分かりやすいごみ分別 一覧表の配布	4	10
	緑区 4 班	資源循環 資源の理解 活用 保全 振り返り	3	
	緑区 2 班	ポイ捨て禁止の看板づくり	2	
	緑区 1 班	ごみ分別が徹底されていないので、地域コミュニティを利用して集積場に冊子を置く	1	
農地や公園の利活用	緑区 2 班	老若男女利用できる多目的な公園	11	22
	緑区 4 班	農地の地目変更の推進	8	
	緑区 3 班	市営公園の整備と活用（防犯カメラ、街灯など）	3	
再生可能エネルギー活用の推進	緑区 4 班	公共機関や学校などにソーラーパネルで電気をつくり送る	7	12
	緑区 1 班	再生可能エネルギーLEDの取替補助	5	

2. 中央区

(1) 各班の個人意見(付箋に記載した内容)

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「環境」中央区 個人意見>

班	分野	内容
中央区1班	廃棄物・資源	ごみ排出量の削減のため有料化検討
		他市町村からのごみ受け入れ
		市によるリサイクルネットの活用
		ごみ回収の拡大
		廃棄することを考えた商品づくり
	水源	水源のPR 津久井の水・相模原の水はあるがPR不足
		豊かな水源・保全の取組み(水源地を守る)
	温暖化	地球温暖化による自然災害への取組み
		太陽光システムなどの拡大
		道路などを気温を低減させるものにする
		エネルギー対策と環境対策(熱中症-電力-エネルギーを使う)
	環境教育	活動を知る
		講座の周知
		環境教育の徹底(小・中・高)
		子どもたちからのリサイクル習慣をつける教育(ごみを出さない・少なくする意識)
		イベント・授業で緑化事業についての教育 担い手の育成
		イベント・教育で新技術だけでなく、環境の維持・改善のためにすぐできる簡単な知識の提供
		環境教育参加 景品を出す
		小・中学生への環境教育の継続・環境教育
		成人への分別ごみ再教育
公園	地域の人たちの力を借りて公園・緑化活動の向上	
中央区2班	緑化・公園	空き家を公園に
		公園管理を高齢の方に
		JR 横浜線の北側に公園をつくる

		色々な場所に公園
		公園でのイベントなどもっと広報する方法は？
		街路樹の保全（中央区は減少していると感じる）
		河川の改良、土手を彼岸花・コスモスなどで楽しめる川にする
	教育	環境教育の強化 環境情報センターの活動拡大、学校教育へ独自カリキュラム
		緑地・生物見学ツアー 意識改善
		特徴のある生物のアピール
		環境情報センターの周知
		PM2.5 のお知らせ 広範囲で
		温暖化に対する個人の取り組みへの啓発
		温暖化に小・中学生・高齢者も共に勉強
		家庭での台所洗剤を天然のものにする
		リサイクル
	廃棄物分別の学習の場をもっと身近につくる	
	リサイクル品の活用方法	
	リサイクル品の展示・販売場所を増やす	
	ペットボトルとプラ容器の売るための包装を見直し、なくす方向	
	リサイクル品の常設展示をしてほしい	
	大型ごみが出しやすくなった、市焼却施設が広くなったため、特に駐車場	
	家庭のごみ減量化に協力する	
アルミのボトル		
分別を図解でわかりやすく		
温暖化	温暖化により、熱中症患者や自然災害の増加が心配	
	クリーンエネルギー導入を市として推進強化	
中央区 3 班	教育	リサイクルの周知徹底 教育現場から
		リサイクル教育
		店舗での袋配布減
		過剰包装が必要ない
		家庭ごみの分別方法
		ごみ収集場（地域の）にたまに関係ないごみ（資源ごみとか）が置いてあるから注意喚起をもっとする

		エコバッグ	
		ごみ袋の有料化	
		資源循環教育を促進する、過剰包装をなくす	
	緑化	植林、植栽を通じて意識を高める、屋上緑化を増やす	
		地域緑化への若者ボランティア	
		車中心社会の相模原 クリーンエネルギー自動車へ補助案	
		補給廠の今後の活用	
		都市の緑化 マンションなど高層建築などの屋上を活用	
	太陽光	数値表示している小・中学校	
		太陽光パネルを公共施設に取り入れ、モニター表示して意識を高める	
		ソーラーエネルギー更なる活用（補助金） 学校などにも導入	
		太陽光での街灯を増やす（センサーライト）	
		学校などに太陽光パネルを取り付ける	
	温暖化	暑さ対策（時間差通勤など）	
		小・中学校での教育	
		どういった行動が温暖化対策につながるのかの共通認識を持つ	
	中央区 4 班	環境教育	小学生だけでなく中高生など職業を意識する世代へメリットの周知
			子どもたちが森林見学で大切さを学ぶ
			環境教育の取組みの不足 子どもたちが学習しやすいボランティアの方をお願いしたい
			子どもたちが農地での学習機会を得る
温暖化		地下水を撤き温度を下げる	
廃棄物		ペットボトル、ビン、紙の再利用の効果を示してほしい	
		ごみ収集業務の完全民間委託	
		企業が（スーパーなど）プラスチック、ビニールを減らす努力を	
公園・緑化		神奈川県民の水源地を積極的に発信 黒部ダムのように観光資源化も	
		緑化・公園が多いと思っていたが他の政令指定都市と比	

		べ少ないので、その周知と大切さを子どもに伝える
		補給廠返還地の公園は緑で埋めつくす！
中央区 5 班	ハード面(システム)工夫	家庭の屋根の上にソーラーパネル設置
		断熱性のコンクリート アスファルトへ変更
		地域冷暖房の導入
		屋上スペースを有効活用 市役所から
	ソフト面工夫	買い物袋を配布(ビニール袋の削減)
		ごみの出にくい買い物のあっせん
	回収	スーパーマーケットによる資源ごみ回収
		使わなくなったものの回収を自治会や市で行う
		リサイクル用品のフリーマーケット etc
	場所	屋上スペースの活用(太陽光パネル、屋上庭園)
		空き家のスペースを緑化
		相模ダム周辺施設が貧弱
		鹿沼公園一部売却の話はどうなったの？
	森林環境	環境・汚染物質対策
		酸性ガスなどの対策
		蓄熱システム
	緑・植林を増やす	歩道と車道の間に緑を増やす
		緑のカーテンの導入(市役所、小・中・高)
		植林を行うことを重視すべきである
		温度が下がり冷房が少なく
		緑に関わる経験の不足 農業体験
周知	住みやすいまちのアピールをもう少ししたら？水源・森林	
	環境学習の不足 目的・数値化・グラフなどわかりやすい取組み	
	ごみ排出量の減量目標数値の周知	
	イベントの開催(リサイクル活動など)	
担い手	FC ボランティアの活動周知	
	地域緑化の担い手不足 老人会(現行)+ひきこもりの人の活用	
その他	数値の見える化	
	みんなが見える場所に数値を出す	
	鹿沼公園は桜をもっとアピールすべき	

(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「環境」中央区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
中央区 1班	環境教育 世代毎に合わせて継続的に行う 幼児から成人まで 教育内容の管理は行政	水源のPR強化 飲料水の販売拡大 水源地への観光
	温暖化 ・クリーンエネルギー(太陽光など)の公共施設からの導入、拡大 ・ヒートアイランド対策 道路 屋上の緑化	
	廃棄物、資源 ・ごみの有料化 ・粗大ごみの活用(市のインターネットによる売買) ・他自治体からのごみの受け入れ(有料で)	
中央区 2班	緑化・公園 ・街路樹の保全(減少している為) 適した樹木を選ぶ ・各地域に小公園をつくり、閉じこもりを防止(介護予防)	ペットボトルをアルミにかえる 太陽光発電など、市としてクリーンエネルギーを導入。補助を。
	資源循環 ・分別の冊子を図解でわかりやすく書いてほしい ・リサイクル品を常設していつでも見られる様にしてほしい オモチャも/いつでも誰でも	
	環境教育 環境情報センターの周知と活動拡大 ・生物緑地ツアー、イベントをやる ・温暖化 ・ごみ減量 ・家庭廃棄物などの意識教育	
中央区 3班	太陽光 太陽光パネルを小中学校に取り入れることで、発電と共に子どもたちの意識も同時に高める!	・マンションなど高層建築を設立する際に、屋上などの利用による緑化促進(ルールをつくる)
	緑化 植林などを通じて、子ども~高齢者までが参加し、異年齢交流と環境に対する意識を高める!	
	リサイクル教育 資源循環教育の促進 ごみの減量化(お店の過剰包装、エコバック使用、ごみ袋有料化 etc.)	
中央区 4班	環境教育 将来を担う子どもたちへ 森林農地の体験学習 環境ボランティアの実施 森林、農業、木工体験	地下水の利用 撒き水で温度の低下を!!
	公園 緑化 潤水都市(水源) 相模総合補給廠 公園化(緑でいっぱい!!!) 相模川をきれいに!!(おいしい鮎が食べたい) 宮ヶ瀬ダムを第2の黒部ダムに(上手い宣伝を!!!)	
	廃棄物 リサイクルしたもの パーセンテージ化でなく、資源化PR(子どもでも理解できるように) 企業側の努力(プラスチック、ビニールを更に減らす)	

	ごみ収集の完全民営化	
中央 区 5 班	「緑被率対策」 空き面積の有効化 (中央区が低い) 市役所屋上緑化 屋上にソーラーパネル設置 (学校、マンションなど)	-
	「見える化」 成果の数値化(具体化) 比較化 (前年比) ・温度 ・見た目 ・費用	
	「環境教育」 興味を持たせる (小中学生など) 子どもから大人への発信で広がりを持たせる	

<ワークシート記入例(中央区2班)>

発表用ワークシート

班名	2班(中央区)	メンバー名	杉崎金子, 遠藤岩田, 高橋平野
テーマ	環境		
班でまとめた意見(重要なもの3つ)			投票欄
緑化・公園	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の保全(木が倒れる) ・各地域に小公園を作り、緑を増やす ・適した樹木を植える 	<ul style="list-style-type: none"> ● ● 	2
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ・分別を分かりやすくする ・リサイクル品を分かりやすく見られるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ● ● ● ● ● 	6
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・環境情報センターの活動拡大 ・環境フェア、イベントを開催 ・環境化・ゴミ減・家庭廃棄物の意識教育 	<ul style="list-style-type: none"> ● 	1
その他のアイデア、書き残しておきたいこと			
ペットボトルを、アルミにかえる。 太陽発電など、市として、クリーンエネルギーを導入。補助金			

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「環境」中央区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	中央区 4 班	将来を担う子どもたちへ 森林農地の体験学習 環境ボランティアの実施 森林、農業、木工体験	12
2位	中央区 3 班	植林などを通じて、子ども～高齢者までが参加し、異年齢交流と環境に対する意識を高める！	11
3位	中央区 1 班	環境教育を世代毎に合わせて継続的に行う	8
3位	中央区 1 班	ごみの有料化・粗大ごみの活用・他自治体からのごみの受け入れ	8
3位	中央区 3 班	太陽光パネルを小中学校に取り入れることで、発電と共に子どもたちの意識も同時に高める！	8
3位	中央区 4 班	相模総合補給廠の公園化 相模川をきれいに！！ 宮ヶ瀬ダムを第2の黒部ダムに	8
3位	中央区 5 班	「緑被率対策」 空き面積の有効化	8
	中央区 2 班	・分別の冊子を図解でわかりやすく書いてほしい ・リサイクル品を常設していつでも見られる様にしてほしい	6
	中央区 5 班	温度や費用の見える化、成果の数値化、比較化	5
	中央区 5 班	環境教育の子どもから大人への発信で広がりを持たせる	3
	中央区 2 班	・街路樹の保全（減少している為） 適した樹木を選ぶ ・各地域に小公園を作り、閉じこもりを防止	2
	中央区 1 班	・クリーンエネルギー（太陽光など）の公共施設からの導入、拡大 ・ヒートアイランド対策 道路 屋上の緑化	1
	中央区 2 班	環境情報センターの周知と活動拡大	1
	中央区 3 班	資源循環教育の促進 ごみの減量化	0
	中央区 4 班	リサイクルしたもの PR 企業側の努力 パーセンテージ化でなく、資源化 ごみ収集の完全民営化	0

(4) 中央区まとめ(区特有の特徴など)

中央区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「環境」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「環境教育の推進」

子どもへの環境教育だけでなく、大人や高齢者までもっと環境に対して意識を向け、体験学習やボランティア、情報発信などに積極的に取組むことについて意見が出ています。

・「ごみの分別」

日常のごみの分別方法の周知や、資源循環に関する知識の習得、他自治体からのごみの受入れなどについての意見が出ています。

・「農地や公園の利活用」

緑被率の確保のための公園の整備や街路樹の整備といった意見が多く出ています。

・「再生可能エネルギー活用の推進」

ソーラーパネルなどの再生可能エネルギーの活用や温度や費用の見える化について意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは中央区4班の「将来を担う子どもたちへ 森林農地の体験学習 環境ボランティアの実施 森林、農業、木工体験」であり、他の班からも環境教育を通じた農地や林地の活用について多く意見が出ていたことから、キーワード別で見ても「環境教育の推進」についての意見の得票数が最も多くなっています。3番目に得票数が多かった意見が5つあり、それぞれ環境教育、ごみの分別、農地や公園の利活用、再生可能エネルギー活用の推進にわかれています。

中央区の意見の特徴としては、都市部が多いために緑被率が低いということを課題に感じ、公園の整備や街路樹の保全、相模川や宮ヶ瀬ダムといった環境資源を活用しようといった意見が多く出ていることが言えます。また、環境教育の推進について、子どもたちだけでなく全ての世代で考えるべきことだという意見が多いことも特徴的です。

<「環境」中央区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
環境教育の推進	中央区 4 班	将来を担う子どもたちへ 森林農地の体験学習 環境ボランティアの実施 森林、農業、木工体験	12	35
	中央区 3 班	植林などを通じて、子ども～高齢者までが参加し、異年齢交流と環境に対する意識を高める！	11	
	中央区 1 班	環境教育を世代毎に合わせて継続的に行う	8	
	中央区 5 班	環境教育の子どもから大人への発信で広がりを持たせる	3	
	中央区 2 班	環境情報センターの周知と活動拡大	1	
ごみの分別	中央区 1 班	・ごみの有料化・粗大ごみの活用・他自治体からのごみの受け入れ	8	14
	中央区 2 班	・分別の冊子を図解でわかりやすく書いてほしい ・リサイクル品を常設していつでも見られる様にしてほしい	6	
	中央区 3 班	資源循環教育の促進 ごみの減量化	0	
	中央区 4 班	リサイクルしたもの パーセンテージ化でなく、資源化 P R 企業側の努力 ごみ収集の完全民営化	0	
農地や公園の利活用	中央区 4 班	相模総合補給廠の公園化 相模川をきれいに！！ 宮ヶ瀬ダムを第 2 の黒部ダムに	8	18
	中央区 5 班	「緑被率対策」 空き面積の有効化	8	
	中央区 2 班	・街路樹の保全（減少している為） 適した樹木を選ぶ ・各地域に小公園を作り、閉じこもりを防止	2	
再生可能エネルギー活用の推進	中央区 3 班	太陽光パネルを小中学校に取り入れることで、発電と共に子どもたちの意識も同時に高める！	8	14
	中央区 5 班	温度や費用の見える化、成果の数値化、比較化	5	
	中央区 1 班	・クリーンエネルギー（太陽光など）の公共施設からの導入、拡大 ・ヒートアイランド対策 道路 屋上の緑化	1	

3. 南区

(1) 各班の個人意見(付箋に記載した内容)

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「環境」南区 個人意見>

班	分野	内容
南区1班	公園	公園の拡大
		公園を利用することがない
		森林・公園のレクリエーションの充実
		こういう公園がほしい コンサート、噴水、水に入れる、大型遊具、ドッグラン
	ごみ	分別回収があまり厳しくないのできちんとできていない
		ごみ排出量が多い
		ポイ捨て多い
		外国人向けのごみ出しルールの説明が必要
		ごみ袋の有料化
		家庭ごみの細分化
		マイレジ袋でポイントたまる、安くなる
		大型ごみのリサイクルの推進 まだ使えるものを有効に
		食品ロス縮減の徹底
		賞味・消費期限がきれそうなものを回収
	エネルギー	温室効果ガスの排出量増加
		風力発電
		新たなエネルギー 振り子発電、ぜんまい発電(自転車)
		太陽光発電などの普及促進
	自動車代替案	自転車の環境整備
		公共交通機関の充実
		ほしいと思うハイブリッド車がない
		自転車専用道路
	その他	木材の新たな利用
		間伐の実施による森林保全
		上下水道の現状の情報(何年たっている?あとどのくらいもつ?)
		外来動物対策 例. アメリカザリガニなんでも食べてし

		まう
		木もれびの森の整備 毛虫多い
南区 2 班	温暖化	温暖化の数字を駅や公共施設のパネルなどで定期的にアップして削減目標を意識化する
	廃棄物・資源・生物	ごみ収集を戸別収集にする 不法投棄の削減
		カラスがごみをあさる
		リサイクルフェア 売上は公園の維持費へ
		リサイクル(衣類・家具・電化)の活発化 個人でも提供しやすい場の確保
		食品のリサイクルの活発化、具体化 食品ロスをなくす
	緑化	空地・空き家を買取り公園に
		相模原麻溝公園の活用
		木もれびの森の毛虫対策
		市民による施設の清掃活動とスポーツ
		ボール遊びができる公園
	その他	自治会に入らない若い人(学生)
		入らなくても PR できないか
		地域で子どもを育てる方法
	南区 3 班	資源有効活用とリサイクル
民間委託 適正価格?		
地区毎のごみの調査		
廃棄物の有料化(市民、市内事業所)		
家庭ごみ 抜本的に店舗での販売方法変更		
わかりやすく守るための周知		
廃棄物の再利用		
不用品の再利用		
容器の統一規制		
リサイクルに対する意識と取組みやすさ		
市主催のバザー 月一回開催		
環境インフラ整備		公共交通機関の充実 安値で!!
		県道 507 号相武台相模原線拡張、渋滞緩和
		高層ビルの配置計画
		近い自治体との道路整備
		自然・農地面積確保
		空き家の取り扱い整備

	エコ有料環境へ	環境教育 & 施設
		実際に利用する者の無関心
		キャンピングカー用の公園
		環境情報センターの駅前活動
		公園整備の負担
		生物の多様性
		外来生物の保護
南区 4 班	ごみ	家庭ごみの軽減
		ごみ袋有料化？
		ごみ少量化
		ごみの分別処理の徹底
		リサイクル受付の窓口を増やす
		リサイクル受け入れ場所
	教育	資源の無駄遣いをなくす（もったいない）
		リサイクルに関する知識を教育（何が何にリサイクルできるのか）
		環境については教育 特に一般者へ
		ごみ処理場の見学ツアー
		市内の小・中学生による緑地公園整備（総合の授業として）
	整備	市街地での公園増設
		森林の整備（木もれびの森）歩道の区分をはっきり
		木もれびの森の整備
		上下水道の更新整備
	その他	地産地消（一次産業の活性化）
		蓄電池の活用（夜間電力）
	南区 5 班	環境問題と日常生活との接点（可視化）
温室効果ガスの目標があることすら知らず 協力のしようがない		
再生可能エネルギーを個人レベルでどうやって取り入れればいいのかの情報を広める		
個人の行動が環境にどう影響するのかイメージを持たせるイベントなど		
日常生活で節電を心がける 消灯、コンセント外し		
温暖化と一言で言えない このくらいで温室効果がある		

		などの表があるといいかも
	ブロック	ブロックが多い
	カラス	生物（カラス）の被害をなくす、カラス減少
緑化公園を増やす		公園の数少なすぎ
		公園はあるが街路など身近な自然も増やす
		公園ボランティア 街かどごみ拾いボランティア
		緑化・公園を増やすのはいいが草がたくさんで困る、地域の方々の力を借りる、きれいにする
		つくるのはいいけど後始末を考えましょう
ごみ		ごみ、リサイクル、廃棄物の正しい知識習得
		ごみの減量化、不要な食品を買わない、買いすぎない
		ごみ分別のPRをする
		ごみ分別の徹底
		リサイクル施設を身近な場所に
		スーパーポリバッグの減少
		過剰包装のごみがたくさん メーカーにも考えてほしい
不法投棄		マンションなどのごみ捨て場に勝手な不法投棄が目立つ
		ごみの不法投棄の時間の対策（夜間が多い）

<付箋・模造紙記入例（南区5班）>



(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「環境」南区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
南区 1班	自転車利用環境の整備 ・専用道路の整備 ・フリーレンタサイクル	木もれびの森の整備(毛虫が多い)
	食品ロスの削減 賞味期限、消費期限が近いものを回収してくれる施設	
	こんな公園がほしい! ・コンサートができる ・ドッグラン ・噴水や水場がある ・森林浴 ・大型遊具がある ・スポーツ広場	
南区 2班	緑化 相模原麻溝公園の有効活用・・・イベント催し物を開催する。市民清掃活動と一緒に ボール遊びができる公園を増やす・・・空き家を買取り 緑地公園化	木もれびの森の毛虫対策
	資源 資源循環 リサイクルの促進 リサイクルフェアを公園で開催(衣類、電化家具) 売上金は公園の維持費に活用! 食品ロスは大きな課題 2班では解決できない	
	温暖化 温暖化の数字を駅や公共施設などでパネルなどに定期的にアップして、削減目標を意識化する	
南区 3班	資源有効活用とリサイクル ・ごみ排出ルールの周知・理解 ・科学技術進歩による廃棄物の再利用	-
	環境インフラ整備 公共交通の充実(補助 安価で)、自然・農地面積確保、空き家の取り扱い整備、道路の整備(相武台-相模原線など渋滞解消)	
	エコ・優良環境へ 無関心から環境企画者へ	
南区 4班	モットイナイ精神の教育 知識の獲得 意識・向上 ・ごみ処理場見学ツアー(自治会ぐるみ)	-
	家庭ごみの削減 ・ごみ袋有料化・生ごみを肥料化(処理器)	
	緑豊かな町づくり ・高齢者ボランティアによる公園など整備	
南区 5班	都市緑化・公園(我々の周りに公園が少ないので) 公園・街路樹を増やす(管理・メンテナンスの徹底) 草ぼうぼう	私道などのブロック塀留意
	環境問題を日常の問題として捉えられるよう視覚化する 目安表をつくる(例:お風呂の水を3cm減らすとペットボトル 分減量)	

不法投棄をなくすために 黄色ごみ袋の有料化（意識改革のため、ごみの減量、カラス防止）	
---	--

<ワークシート記入例（南区5班）>

発表用ワークシート

班名	南区 5班	メンバー名	加藤 菊地 緑川 川又 田小野 塚
テーマ	環境		
班でまとめた意見（重要なもの3つ）			投票欄
都市緑化・公園（我々の側に公園が少ないので） 公園・街路樹の数を増やす（管理・メンテナンスの徹底） 草刈り機			●
環境問題を日常の問題としてとらえなおす視覚化 目安表を作る（例：風呂の水を3cm減らすとペットボトル減量）			●●●●●●●●
不法投棄をなくすために、 黄色ごみ袋の有料化（意識改革のため、ごみの減量、カラス防止）			●
その他のアイデア、書き残しておきたいこと 前道等のブロック壁 留意 私			

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「環境」南区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	南区1班	食品ロスの削減 賞味期限、消費期限が近いものを回収してくれる施設	12
2位	南区5班	環境問題を日常の問題として捉えられるよう視覚化する	11
3位	南区2班	資源循環 リサイクルの促進 リサイクルフェアを公園で開催(衣類、電化家具)	8
	南区4班	家庭ごみの削減 ・ごみ袋有料化・生ごみを肥料化(処理器)	7
	南区2班	相模原麻溝公園の有効活用・・・イベント催し物の開催。市民清掃活動と一緒にボール遊びができる公園を増やす	5
	南区3班	エコ・優良環境へ 無関心から環境企画者へ	5
	南区4班	モットイナイ精神の教育	5
	南区1班	こんな公園がほしい! ・コンサートができる・ドッグラン・噴水や水場がある ・森林浴・大型遊具がある・スポーツ広場	4
	南区3班	公共交通の充実(補助 安価で) 自然・農地面積確保、空き家の取り扱い整備、道路の整備	4
	南区4班	緑豊かな町づくり ・高齢者ボランティアによる公園など整備	3
	南区3班	資源有効活用とリサイクル ・ごみ排出ルールの周知と理解。科学技術進歩による廃棄物の再利用	2
	南区5班	都市緑化・公園 公園・街路樹を増やす	1
	南区5班	不法投棄をなくすために黄色ごみ袋の有料化	1
	南区1班	自転車利用環境の整備・専用道路の整備・フリーレンタサイクル	0
	南区1班	温暖化の数字を駅や公共施設などでパネルなどに定期的にアップして、削減目標を意識化する	0

(4) 南区まとめ(区特有の特徴など)

南区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「環境」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「環境教育の推進・意識改革」

まずは日常的な無関心の状態から環境問題について意識を向けようという意識改革に関する意見が出ています。

・「ごみの分別・リサイクル」

家庭ごみの分別ルールやリサイクルに加え、食品ロスの削減や生ごみの肥料化などの積極的な環境問題への取組みについて意見が出ています。

・「農地や公園の利活用」

身の回りにある公園や街路樹などの緑地を確保することについて意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは南区1班の「食品ロスの削減 賞味期限、消費期限が近いものを回収してくれる施設」で、キーワード別に見ても同様に、「ごみの分別・リサイクル」についての意見の得票数が最も多くなっています。

南区の意見の特徴としては、身近な取組みを一人ひとり着実に実施していくことが重要であるという意見が多く、ゴミ袋の有料化やボランティアによる公園の整備、自らが環境問題について知る機会の創出、モットイナイ精神の教育、リサイクルなどの具体的な取組みが出ていることが言えます。また、南区では、工場や中小企業が多く、自家用車の利用が多いという現状を踏まえ、自転車利用の推進や、通学・通勤における公共交通利用者への補助なども必要だという意見が出ています。

<「環境」南区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
環境教育の推進・意識改革	南区 5 班	環境問題を日常の問題として捉えられるよう視覚化する	11	26
	南区 2 班	相模原麻溝公園の有効活用・・・イベント催し物の開催。市民清掃活動と一緒にボール遊びができる公園を増やす	5	
	南区 3 班	エコ・優良環境へ無関心から環境企画者へ	5	
	南区 4 班	モットイナイ精神の教育	5	
	南区 1 班	温暖化の数字を駅や公共施設などでパネルなどに定期的にアップして、削減目標を意識化する	0	
ごみの分別・リサイクル	南区 1 班	食品ロスの削減 賞味期限、消費期限が近いものを回収してくれる施設	12	30
	南区 2 班	資源循環 リサイクルの促進 リサイクルフェアを公園で開催	8	
	南区 4 班	家庭ごみの削減 ・ごみ袋有料化・生ごみを肥料化（処理器）	7	
	南区 3 班	資源有効活用とリサイクル ・ごみ排出ルール周知と理解。科学技術進歩による廃棄物の再利用	2	
	南区 5 班	不法投棄をなくすために黄色ごみ袋の有料化	1	
農地や公園の利活用	南区 1 班	こんな公園がほしい！ ・コンサートができる・ドッグラン・噴水や水場がある ・森林浴・大型遊具がある・スポーツ広場	4	12
	南区 3 班	公共交通の充実（補助 安価で）、自然・農地面積確保、空き家の取り扱い整備、道路の整備	4	
	南区 4 班	緑豊かな町づくり ・高齢者ボランティアによる公園など整備	3	
	南区 5 班	都市緑化・公園 公園・街路樹を増やす	1	
	南区 1 班	自転車利用環境の整備・専用道路の整備・フリーレンタサイクル	0	

4. 「環境」全体統括

全体の意見をまとめると、以下の5つの意見に分けられます。その中で最も得票数が多かったのは、「環境教育・周知の推進」で、中央区と南区の多くの班から意見が出ています。

里山・自然環境の保全

津久井地域の里山や宮ヶ瀬ダム、相模川や自生するホタルなどの豊かな自然環境を保全し、遊休農地なども積極的に活用していくべきだという意見が緑区から出ています。中央区、南区からは意見が出ていませんが、農地や公園といった身近な緑地については「農地や公園の利活用」の観点で意見が出ています。

ごみの分別・リサイクル

どの区においてもほぼ全ての班から意見が出ており、意見数は最も多くなっています。最も身近な課題として、ごみの分別の煩雑さについて多く意見が出ており、適切なごみ処理に留まらず、極力リサイクルをしたり、ごみ袋を有料化したりしてごみを減らしていく工夫をするべきだという意見が多く出ています。

環境教育・周知の推進

中央区と南区で意見が多く出ており、得票数も最も多くなっています。身近に豊かな環境資源が少ないからこそ、子どもから大人まで、環境問題を自分事として捉えなおす機会を必要としていることが伺えます。

農地や公園の利活用

身の回りの公園や街路樹を保全すべきという意見が多く出ています。特に、緑被率が低いことを課題として感じ、限られた緑地資源をどのように保全するか、増やすかを検討しています。

再生可能エネルギー活用の推進

太陽光パネルへの興味関心が強く、多くの班で意見が出ています。特に学校などの大規模な公共施設に設置することでエネルギー効率が良くなり、かつ環境教育にも繋がるといった利点が検討されています。

<「環境」全体意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
里山・自然環境の保全	緑区 3 班	里山、遊休農地の活用	7	13
	緑区 2 班	世代を超えた里山保全活動	3	
	緑区 1 班	緑地帯に ” ほたる見守り隊 ” をつくる。	3	
ごみの分別・リサイクル	緑区 3 班	分かりやすいごみ分別 一覧表の配布	4	54
	緑区 4 班	資源循環 資源の理解 活用 保全 振り返り	3	
	緑区 2 班	ポイ捨て禁止の看板づくり	2	
	緑区 1 班	ごみ分別が徹底されていないので、地域コミュニティを利用して集積場に冊子を置く	1	
	中央区 1 班	・ごみの有料化・粗大ごみの活用・他自治体からのごみの受け入れ	8	
	中央区 2 班	・分別の冊子を図解でわかりやすく書いてほしい・リサイクル品を常設していつでも見られる様にしてほしい	6	
	中央区 3 班	資源循環教育の促進 ごみの減量化	0	
	中央区 4 班	リサイクルしたもの パーセンテージ化でなく、資源化 P R 企業側の努力 ごみ収集の完全民営化	0	
	南区 1 班	食品ロスの削減、賞味期限、消費期限が近いものを回収してくれる施設	12	
	南区 2 班	資源循環 リサイクルの促進 リサイクルフェアを公園で開催	8	
	南区 4 班	家庭ごみの削減 ・ごみ袋有料化・生ごみを肥料化（処理器）	7	
	南区 3 班	資源有効活用とリサイクル・ごみ排出ルールの周知と理解。科学技術進歩による廃棄物の再利用	2	
	南区 5 班	不法投棄をなくすために黄色ごみ袋の有料化	1	
環境教育・周知の推進	中央区 4 班	将来を担う子どもたちへ 森林農地の体験学習 環境ボランティアの実施 森林、農業、木工体験	12	61
	中央区 3 班	植林などを通じて、子ども～高齢者までが参加し、異年齢交流と環境に対する意識を高める！	11	
	中央区 1 班	環境教育を世代毎に合わせて継続的に行う	8	
	中央区 5 班	環境教育の子どもから大人への発信で広がりを持たせる	3	
	中央区 2 班	環境情報センターの周知と活動拡大	1	
	南区 5 班	環境問題を日常の問題として捉えられるよう視覚化する	11	

	南区 2 班	相模原麻溝公園の有効活用・・・イベント催し物の開催。市民清掃活動と一緒にボール遊びができる公園を増やす	5	
	南区 3 班	エコ・優良環境へ無関心から環境企画者へ	5	
	南区 4 班	モットイナイ精神の教育	5	
	南区 1 班	温暖化の数字を駅や公共施設などでパネルなどに定期的にアップして、削減目標を意識化する。	0	
農地や公園の 利活用	緑区 2 班	老若男女利用できる多目的な公園	11	52
	緑区 4 班	農地の地目変更の推進	8	
	緑区 3 班	市営公園の整備と活用(防犯カメラ、街灯など)	3	
	中央区 4 班	相模総合補給廠の公園化 相模川をきれいに！！ 宮ヶ瀬ダムを第 2 の黒部ダムに。	8	
	中央区 5 班	「緑被率対策」 空き面積の有効化	8	
	中央区 2 班	・街路樹の保全(減少している為) 適した樹木を選ぶ ・各地域に小公園をつくり、閉じこもりを防止	2	
	南区 1 班	こんな公園がほしい！・コンサートができる・ドッグラン・噴水や水場がある・森林浴・大型遊具がある・スポーツ広場	4	
	南区 3 班	公共交通の充実(補助 安価で) 自然・農地面積確保、空き家の取り扱い整備、道路の整備	4	
	南区 4 班	緑豊かな町づくり ・高齢者ボランティアによる公園など整備	3	
	南区 5 班	都市緑化・公園 公園・街路樹を増やす	1	
	南区 1 班	自転車利用環境の整備・専用道路の整備・フリーレンタサイクル	0	
再生可能エネルギー活用の 推進	緑区 4 班	公共機関や学校などにソーラーパネルで電気をつくり送る	7	26
	緑区 1 班	再生可能エネルギー L E D の取替補助	5	
	中央区 3 班	太陽光パネルを小中学校に取り入れることで、発電と共に子どもたちの意識も同時に高める！	8	
	中央区 5 班	温度や費用の見える化、成果の数値化、比較化	5	
	中央区 1 班	・クリーンエネルギー(太陽光など)の公共施設からの導入、拡大 ・ヒートアイランド対策 道路 屋上の緑化	1	

V. 実施結果 討議4 「子ども・教育」

1. 緑区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「子ども・教育」緑区 個人意見>

班	分野	内容
緑区1班	子育て	”今”と”これから”
		安心して子どもが産める環境づくり
		保育費無料（2人目から）
		子育てのサポートができる地域体制
		共働き世帯の保育支援を駅周辺にする
		児童クラブへの助成アップによる普及
		妊娠・出産・育児の相談 保健所と自治会、民生委員へのつなぎをする
	保育	保育士の育成
		保育士の収入改善
	教育（学校外）	学びの場（学習塾など）が限られている
		交通の便が悪く学習塾を利用できない
		中・高校生もバス運賃を値下げ
		高卒までの一貫教育をしたらどうか
		教育関係の情報過多 正しい情報を Pick up
	教育（学校内）	学校間交流の充実
		奨学金の充実
	生涯学習	生涯学習の講座の多様性
	貧困	貧困対策 県・市民税率
		離婚時に相談窓口や無料塾・子ども食堂をお知らせ
	障害児	”障害児”とレッテルをはりすぎるのも...？
緑区2班	教育	小規模学校相互の交流促進 適性人数の経験のため
		小学校・中学校の児童、生徒の学力の向上への取り組み
		今は20代の教員が半数を占める中、ベテランの教育
		青少年のSNSの利用方法と犯罪に巻き込まれない指導

		核家族世帯の増加
		教員の研修の充実 教育センター設置
		現場の人の確保
		学力低下 教員の数を増やす
		地域で小・中学生の学習支援の場所
		地域の子どもの見守り、声かけ
		不登校対策 教員の数を増やす
		生涯学習の無料化
		小規模の学校 近隣の学校との合併
		学校支援ボランティアの養成
		子育て
	育児不安 親子サロンの充実(回数を増やす、年齢別の開催をする)	
	地域コミュニティによる子育てイベント	
	お迎えを行ってくれる宅配みたいな仕事を安く	
	子どもセンターを増やす 児童クラブを使用すると未就学の子どもの遊び場がない	
	保護者の方々が学校の行事に多く参加できる働き方改革	
	保育所を増やす	
	保育施設の拡充	
	医療費助成の拡大	
	市内全域に子育て支援施設の設置と充実	
	子育て支援の具体的な取組み	
	子どもが遊べる場所がない	
	児童クラブを小6までに	
	若者育成支援事業?	
	保育所・児童クラブの一時預かり	
	貧困	子どもの貧困 負の連鎖への対策
		家庭の教育力
		子どもの貧困対策など?
		子どもの貧困への支援の充実
		一律で義務教育までできればその先も一定の金額の支給
	障害児	将来の進学・就労に向けた窓口の広さ
		障害者の社会参加への支援施設・職員の充実
	生涯学習	地域力の UP、住民参加型になるよう、場づくり

		公民館事業の活性化と生涯学習の推進に積極的に取り組む
	青少年	抽出とかでなく教育委員会などが困っている児童へ大きな施設を借りて学習援助
緑区 3 班	生涯学習	高齢化 図書館の図書の実
		生涯学習の多様化
	貧困	子育て世帯の公共料金値下げ
		教育費補助
	子育て	地域ぐるみの子ども見守り
		スマホ・SNS と子どもの対応
	障害児	障害児の地域参加
	教育	小学校舎の空調機器の導入
		発達障害児の増加が顕著 その対策
		小・中学校でのボランティア活動
		小・中学校での基本教育
		青空授業
		学校教育と塾とのバランス
		部活動外部指導者
校則の見直し		
労働など社会に関する教育を小・中学のうちから充実		
小中学校夏期講習の充実		
緑区 4 班	教育（学内）	学力向上の見える化
		時間割、指導内容の見直し、向上
		勉強方法の見直し（読み、書き）
		テキストによる授業だけでなく”自分で考える”場をつくる レクリエーションなど
	教育（家庭）	スマホ、タブレットづけ！！
		学力-ケイタイ
		学童クラブ内での教育支援
		教育
		宿題をするスペース・会場 東日本震災地を参考に
		子どもの居場所づくり 集会所、自治会館の利用、高齢者の協力
	子育て	辛くなったら行ける場所づくり
		野外観察の仕方を知らない
		自治会館などの有効活用

		土日に公園などで区の特徴ある活動を 野外観察など、ボランティアを
生涯学習		障害児への生涯支援
		相模原市独自の学習メニュー
		発達障害に関する相談をより気軽に、身近に
		勉強会の時の役所近くの駐車場無料
		移動手段への支援が必要

<付箋・模造紙記入例（緑区1班）>



(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「子ども・教育」緑区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
緑区1班	安心して子どもを産み育てられる環境づくり 保育費無料、保育士収入改善、児童クラブの助成アップ、 地域サポート	-
	学校施設を利用した放課後学習 高齢者の活躍の場づくりにもつながる	
	温泉施設を利用した生涯学習の充実 あじさい大学との提携&充実 いやしの湯(青根) やまなみ温泉(藤野)	
緑区2班	学力の地域差をなくす 教員の人員、質の向上(研修)+地域教育力の向上 地域で子どもを育てる 子育てイベント、子どもセンターを増やす! お迎えサービス、児童クラブ6年生まで	子どもの貧困支援どうする 生涯学習の推進
	障害者の社会参加支援	
緑区3班	小・中学校の夏期講習の充実 空調機器の導入、教師の待遇改善	中学校校則の見直し <カバン>が重い!! <スマホ>の使用時間が長い!!
	地域での児童生徒の見守り 高齢者などを含めて生涯学習の充実強化 公民館の学習テーマの充実と受入人員の増強	
緑区4班	子どもの居場所づくり 勉強も遊びも安心していられる所 自治会館などの利用	教育の場で暗記をしてはいけない 言葉が出ない
	緑区ならではの野外観察会など 地域多世代の企画運営 (移動手段への支援) 学校のスマホ頼りの解消	

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。
参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。

投票結果は以下のとおりです。

<「子ども・教育」緑区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	緑区2班	学力の地域差をなくす 教員の人員、質の向上(研修)+地域教育力の向上	9
1位	緑区3班	小・中学校の夏期講習の充実 空調機器の導入、教師の待遇改善	9
1位	緑区4班	緑区ならではの野外観察会など 地域多世代の企画運営	9
2位	緑区1班	安心して子どもを産み育てられる環境づくり	7
3位	緑区1班	学校施設を利用した放課後学習	6
	緑区1班	温泉施設を利用した生涯学習の充実	5
	緑区2班	地域で子どもを育てる	5
	緑区4班	子どもの居場所づくり・勉強も遊びも安心していられる所	4
	緑区3班	高齢者などを含めて生涯学習の充実強化 公民館の学習テーマの充実と受入人員の増強	3
	緑区2班	障害者の社会参加支援	0
	緑区3班	地域での児童生徒の見守り	0
	緑区4班	学校のスマホ頼りの解消	0

(4) 緑区まとめ(区特有の特徴など)

緑区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「子ども・教育」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「学校教育の充実」

教員の人員や質、空調不足など、学校教育に関わる意見から、地域教育や、スマホ頼りの解消など、学校制度にとらわれない地域独自の工夫や考え方について意見が出ています。

・「地域の子育て環境・居場所づくり」

子育てや居場所づくりなど、子どもを地域全体で育てていく努力をしていこうという意見が出ています。

・「生涯学習や多世代交流による教育」

学校に留まらない、温泉施設や公民館などの地域の施設や資源などを有効に活用し、子どもから高齢者まで一緒になって学習していくことに関する意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは緑区2班の「学力の地域差をなくす 教員の人員、質の向上(研修)+地域教育力の向上」と、緑区3班の「小・中学校の夏期講習の充実 空調機器の導入、教師の待遇改善」と、緑区4班の「緑区ならではの野外観察会など 地域多世代の企画運営」で、意見が大きく分かれています。地域差をなくす取り組みや地域独自の学習機会など、地域ぐるみでの教育という点で共通しています。キーワード別で見ると「生涯学習や多世代交流による教育」に関する意見が最も多く得票していることから、子どもだけでなく、大人や高齢者も同様に学習機会を得たいと考える方が多いことが伺えます。

また、野外観察会や、温泉施設、公民館など、具体的な活動のイメージや活用したい施設についてなど、緑区ならではの特徴を生かした「生涯学習や多世代交流による教育」の意見がまとめられています。

<「子ども・教育」緑区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
学校教育の充実	緑区 2 班	学力の地域差をなくす 教員の人員、質の向上（研修）+ 地域 教育力の向上	9	18
	緑区 3 班	小・中学校の夏期講習の充実 空調機器の導入、教師の待遇改善	9	
	緑区 1 班	学校のスマホ頼りの解消	0	
地域の子育て環 境・居場所づくり	緑区 1 班	安心して子どもを産み育てられる環境 づくり	7	16
	緑区 2 班	地域で子どもを育てる	5	
	緑区 4 班	子どもの居場所づくり・勉強も遊びも 安心していられる所	4	
	緑区 2 班	地域での児童生徒の見守り	0	
生涯学習や多世代 交流による教育	緑区 4 班	緑区ならではの野外観察会など 地域 多世代の企画運営	9	23
	緑区 1 班	学校施設を利用した放課後学習	6	
	緑区 1 班	温泉施設を利用した生涯学習の充実	5	
	緑区 3 班	高齢者などを含めて生涯学習の充実強 化 公民館の学習テーマの充実と受入人員 の増強	3	
	緑区 1 班	障害者の社会参加支援	0	

2. 中央区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「子ども・教育」中央区 個人意見>

班	分野	内容
中央区 1 班	貧困	生活保護多すぎ 形式的な審査ではダメではないか
		生活保護になったとしても抜け出せるプログラムを！
		全国の就労特殊技能の紹介
		経済活性化 給与アップ 貧困対策 教育向上
		親による親への教育（特に貧困家庭への教育）
		児童対策 相模原の（DV）現状把握
		里親制度の活用
	教育支援	ボランティアの教育者の募集
		JAXA 以外の企業見学会
		リタイアした方がボランティアで子どもの学習を見る
		核家族への支援 地域のリタイアした人を活用するマッチング
		無料の塾 学童などでの実施
		教育者を育てるのが大事 シニア世代の活用
		学校の先生たちへの支援
	その他	障害を持つ親を援助できるシステムづくり
		子どものいる世帯が臨機応変に休みを取れる体制を
		英語教育の米軍基地の協力
		外国の方とのコミュニケーション
	中央区 2 班	子育て
出産にかかる費用の全額補助		
幼稚園・保育園費用の全額補助		
義務教育の学費はすべて無料（給食費も！）		
本当に待機児童はいるのか？		
待機児童は幼児だけではなく学童でもある 全員を受け入れる		
学童の待機の問題はないのか		
教育（設備）		すぐ特別級へ入れる今の教育

		学校におけるエアコンの設置	
		小・中学校施設の有効利用（公民館、幼稚園、生涯学習）	
		学校開放はどこまで可能	
		ナナメコミュニティ	
	教育（ソフト）	貧困世帯が連鎖するのを断つため教育資金援助増	
		外国語の教師が現在小学校に何人くらい	
		JAXA などの資源活用 体験学習	
		中学校におけるテストの変更（全校同一のもの）	
		高校入試制度の変更 学校ごとの志望はなくす	
		生徒による先生への評価 教師のクオリティー向上	
	生涯学習	子どもたちの学習 親の協力が大事	
		近所に学校へ行かない小学生がいますが、母親の意見などを聞きたいと思います（原因）	
		子の教育と共に親の教育が必要	
		生涯学習を前向きに捉えている大人は・・・ その他が問題	
		生涯学習とは？ ニーズ、マッチング	
	障害児	障害者という言葉は嫌いです	
		障害児との交流 コミュニティ（地域）、シニア	
	中央区 3 班	教育（学校）	学校への空調設備を！！
			学区の整備（現在児童の偏りある）
			順位表をつくる
マンション増加 待機児童増加 保育所増？			
学習要領が多く生徒の技力にばらつきあり 補講など長期休みにしてほしい			
教育（地域）		大人参加型の地域交流	
		外国人との交流機会を増やす 米軍基地の利用	
		保育園増 地域の助け合い	
		地域と一緒に子どもを育む 共働き家庭の子どもの居場所づくり 空き家利用、ボランティア	
		子どもがお茶や菓子を食べながら本を読めるスペースがあればよい	
		学校からのボランティア推進	
		共働きをしているので地域の助けを借りたい	
		郊外への学習機会を設ける（外国人交流、体験など）	

		障害者理解
	教育（家庭）	年収により習い事の差あり 学習スキルに関係あると思う 習い事クーポン
		学童を一時利用できるようにしてほしい
		低所得家庭、生活の乱れ 学力低下につながる
		小・中学生の学力向上、生活習慣改善へ各家庭への支援 強化
		地域の助けを借りたいとき無償ボランティアより有償ボ ランティアの方が気兼ねなく利用できる
		学校の地域参加を進める 学校設備の認識 UP（空調な ど）、教室環境
		鹿沼台図書館の民営化 大和・海老名をモデルにしてほ しい
		生涯学習
	図書館・公民館の利用者数減、魅力ある講座開設へ市民 アンケート	
	障害、国際化	発達障害などについての知識を得る手段 交流、理解
		外国人居住者の子どもたちへの支援（ことば etc）
中央区 4 班	貧困対策	貧困世帯に対する教育拡充（公教育以外で）
		低所得者家庭の児童へのボランティア塾の実施拡大（地 域単位で）
		行政がボランティア塾 生徒を教えたい人の紹介を！
		リサイクル品の常設（無料の） 空き家利用
		生保の方が働くとき減収になる制度の見直しを
		貧困層の子どもは家庭で勉強できる環境ではない
		空き家を自習室として開放すべき 高齢者が手助け
		貧困が原因で勉強ができない子どもたちへの学生やお年 寄りなどによる学習ボランティア
		学校で無料塾などを開けばいいと思う
		先生は大変だから、学生とかお年寄りが学習の面倒を見 る
	子育て	地域の人たちとの交流
		対策よりも根本から親が子を育てる 動物を見習う
		子どもへの医療費免除あるいは収入別での助成
		産むのにお金がかかる 若い人はお金がない

		保育所が駅前や駅地下にほしい
		子どもは一律に補助、した方がよい どんな若い家庭でも住みやすく、税金は別のところで取った方がよい
		児童クラブや保育所の待機児童が人手不足によるものなら、手伝い程度に大学生などバイトを雇えばいいと思う
	障害児	障害児に対する知識の周知を
		障害児は時間がかかるだけでゆっくりやればできる 対応を変えるべき
	教育	学習の場を与えるより個人の考え、行動を
		公教育の教育時間拡大
		授業時間を増加することによって学力が上がるわけではない
		親は自身の子どもの時の模倣をして子育てしているのでギャップが生まれる
		長寿者の子どもとの遊び・ふれあい
		教師に教育を投げすぎ、高齢者も参加して
	生涯学習	多様化 知識不足 親や大人への知識提供が必要
		貧困を考えるよりお金がなくても育つ生き方を見つける
		学びたいと思う教科の提供 高齢者が紹介
		職業教育 高齢者の方の体験談
	中央区 5 班	子育て
育児への不安を抱える保護者に声かけをしてあげる		
ようこそ赤ちゃん事業 民生委員・児童委員がグッズ(記念品)を持って訪問する		
妊婦さんの仲間づくりサロン 交流・相談・情報		
3 か月検診時を活用した情報提供		
なるべく多くの情報を、子を持つ親から収集する		
育児者に対する休暇制度の確立		
待機児童 0 の維持		
より預けやすい保育所づくり		
教育		
	外国語教育 英語に偏らないで地域の外国籍の方の活用	
	外国語教育の充実するには担任の先生が大変なので、外国の先生にしたら良いと思います	

		奨学金制度の創設 企業の拠出による
		無料学習塾の設置
		放課後の学校の空き教室の開設
		無料学習塾
		地域教育に元気な高齢者の活用
	青少年	貧困者に対しても働く場を提供し、不足分を補うことを考える
	貧困	企業を呼ぶ
	障害児	障害児の現状理解
		あたたかく見守ってあげる

<付箋・模造紙記入例（中央区2班）>



(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。




<「子ども・教育」中央区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
中央区 1班	教育支援 児童クラブを駅付近に設置 ボランティア(有償も可、シルバーセンターなど、 教師のOB、社会福祉協議会) 先端教育の強化(IT、ロボット、ドローンなど)	
	貧困 生活保護の支援プログラム ・特殊技能を紹介 ・仕事に対する生きがいを持って もらう ・親に対する教育	
	児童対策 ・DVの現状把握 特に潜在的なもの ・里親制度の活用	
中央区 2班	子育て 出産 ~ 義務教育は無料化する 若者世帯 の流入(人口増) 不妊治療 給食費、遠足など	生涯学習 シニアだけでなく、 親世代も学ぶ ナナメのコミュニティ (子育てについて)
	教育 設備 学校(小、中)の設備を利用する 塾(リタイアされた元教師を活用) (公民館、幼稚園、生涯学習センター もっと柔ら かい勉強)	
	教育 ソフト 中学校における不公平感をなくす。(成績、高校進学 制度など) 生徒による先生への評価(先生の給与などに影響)	
中央区 3班	~地域と一緒に子どもを育む~ ・共働き家庭の子どもの居場所づくり 空き家利用 学校の空きスペースの活用、ボラ ンティア、見守り、保育、学習塾 習い事クーポン	教育内容 「やるきスイッチを入れる」 順位表の作成、補講強化(長 期休みに行く)
	~学校の地域参加を進める~ ・校外への学習機会をもうける 外国人交流 米軍基地の利用 職場体験 老人ホームなど 障害者理解	
	~学校のインフラ整備~ ・学区の見直し(人口バランスなど) 教室数に 応じたもの、学校にエアコン完備	
中央区 4班	子育て 教育 市が場の提供をし、子育て世代と経験者の交流 制度・支援 出産、子育て(医療、保育園)の費用 を無料化	障害児への理解の機会
	教育 公教育 給食費を無償化 学びたいことを学べる 制度 家庭教育 親に対して、これからの世代を生きる子	

	どもをとりまく環境の講座 貧困 無料塾の実施 空き家、学校の放課後を利用 学生、退職者などがボランティアで使わなくなった本の提供（寄付）	
中央区5班	子育て 住民同士による支えあい 「子育て110番の家」 相談・情報 専門職につなぐ	より預けやすい保育所づくり
	教育 「無料学習塾の設置」 場（学校、公民館） 人（元気な高齢者など） 大学生、教員OBなど）	
	教育（言葉と文化・習慣） 共存 「外国語教育の充実」 地域の外国人に活躍してもらう 小学校のカリキュラム化	

<ワークシート記入例（中央区5班）>

発表用ワークシート

班名	中央区5班	メンバー名	のぞみ 平野 スキヅキ リマ 田中
テーマ	子ども・教育		
班でまとめた意見（重要なもの3つ）			投票欄
子育て → 住民同士による支えあい 「子育て110番の家」 → 相談 情報 → 専門職につなぐ			 11
教育 「無料学習塾の設置」 → 場（学校・公民館） 人（元気な高齢者など） 大学生、教員OBなど）			 3
教育 「外国語教育の充実」 → 言葉と文化・習慣 → 共存 地域の外国人に活躍してもらう 小学校のカリキュラム化			 3
その他のアイデア、書き残しておきたいこと ○ 預けやすい保育所作り			

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「子ども・教育」中央区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	中央区4班	市が教育の場の提供をし、子育て世代と経験者が交流する 出産、子育ての費用を無料化	12
2位	中央区3班	～学校の地域参加を進める～・校外への学習機会をもうける	11
3位	中央区1班	児童クラブを駅付近に設置 ボランティアと先端教育の強化	8
3位	中央区1班	DVの現状把握・里親制度の活用	8
3位	中央区3班	～地域と一緒に子どもを育む～ 共働き家庭の子どもの居場所づくり 空き家の活用	8
3位	中央区4班	公教育では給食費を無償化・学びたいことを学べる制度 家庭教育では親に対して、これからの世代を生きる子ども をとりまく環境の講座	8
3位	中央区5班	住民同士による子育て、支えあい・子育て110番の家の 活用	8
	中央区2班	小中学校の設備を利用した塾	6
	中央区5班	無料学習塾の設置	5
	中央区5班	「外国語教育の充実」 地域の外国人に活躍してもらう 小学校のカリキュラム化	3
	中央区2班	出産～義務教育は無料化にする 若者世帯の流入・不妊治療	2
	中央区1班	生活保護の支援プログラム ・特殊技能を紹介・仕事に対する生きがいづくり・親に対 する教育	1
	中央区2班	中学校における不公平感をなくす 生徒による先生への評価	1
	中央区3班	～学校のインフラ整備～ ・学区の見直し、エアコン完備	0
	中央区4班	無料塾の実施 空き家、学校の放課後を利用 学生、退職者などがボランティアで使わなくなった本の提供	0

(4) 中央区まとめ(区特有の特徴など)

中央区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「子ども・教育」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「学校教育の充実」

教育機会の平等性や空調の整備に関する意見に加え、学区の見直しや地域参加機会の創出など、広域的な取組みに関する意見が出ています。

・「地域の子育て環境・居場所づくり」

居場所づくりや子育て環境について、駅付近での児童クラブ設置や、共働き家庭を対象とした取組みなどの意見が出ています。

・「子どもの貧困対策」

子育て、教育、給食費や塾の無償化といった財政的な支援に関する意見に留まらず、DVや生活保護など、家庭環境の改善に関する意見が出ています。

・「生涯学習や多世代交流による教育」

教育の場において子育て世代と子育て経験者が交流する機会をつくることについて意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

中央区4班の「市が教育の場の提供をし、子育て世代と経験者が交流する・出産、子育ての費用を無料化」という、関係する人と場所、それらを取りまく制度が一体となった意見に得票が集まっています。また、「子どもの貧困対策」に関連する意見が多く、多くの班から出ており、現代的な社会問題への関心の高さが伺えます。そうした中で、キーワード別で見ると、「地域の子育て環境・居場所づくり」に関する意見が最も多く得票を集めており、地域ぐるみの教育が求められています。

中央区の意見の特徴として、公民館や小学校、空き家などの既存の施設を含めた学習拠点の創出について提案する班が数多くみられています。また、ITやロボットなどの先端教育や外国語教育などの多様な教育プログラムの充実についても意見が出ていました。

<「子ども・教育」中央区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
学校教育の充実	中央区 2 班	中学校における不公平感をなくす。 生徒による先生への評価	1	15
	中央区 3 班	～学校のインフラ整備～ ・学区の見直し、エアコン完備	0	
	中央区 3 班	～学校の地域参加を進める～・校外への学習機会をもうける	11	
	中央区 5 班	外国語教育の充実 地域の外国人に活躍してもらおう 小学校のカリキュラム化	3	
地域の子育て環境・居場所づくり	中央区 1 班	児童クラブを駅付近に設置 ボランティアと先端教育の強化	8	28
	中央区 3 班	～地域と一緒に子どもを育む～ 共働き家庭の子どもの居場所づくり 空き家の活用	8	
	中央区 5 班	住民同士による子育て、支えあい・子育て 110 番の家の活用	8	
	中央区 2 班	小中学校の設備を利用した塾	6	
子どもの貧困対策	中央区 1 班	DVの現状把握・里親制度の活用	8	23
	中央区 5 班	無料学習塾の設置	5	
	中央区 2 班	出産～義務教育は無料化にする 若者世帯の流入・不妊治療	2	
	中央区 1 班	生活保護の支援プログラム ・特殊技能を紹介・仕事に対する生きがいづくり・親に対する教育	1	
	中央区 4 班	公教育では給食費を無償化・学びたいことを学べる制度 家庭教育では親に対して、これからの世代を生きる子どもをとりまく環境の講座	8	
	中央区 4 班	無料塾の実施 空き家、学校の放課後を利用 学生、退職者などがボランティアで使わなくなった本の提供	0	
生涯学習や多世代交流による教育	中央区 4 班	市が教育の場の提供をし、子育て世代と経験者が交流する 出産、子育ての費用を無料化	12	12

3. 南区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「子ども・教育」南区 個人意見>

班	分野	内容
南区1班	遊び場	学校の体育館やグラウンドの開放をわかりやすくする
		遊び場の不足解消 校庭・体育館の開放
	子育てに対する不安の解消	子どもを育てやすい環境なのになぜ出生率が低い
		保育士を優遇する制度（給与面など）
		子育てにかかる費用と市の助成制度を数字で見せる
		子どもの増加促進 産婦人科医の充実促進（不安解消の窓口を設ける）
	公民館の活用	青少年が少ないように感じる
		公民館活動への参加を増やす
		地域参加が少ない
		公民館の有効利用による利用料金の検討
		公民館と図書室のバランス
	地域コミュニティ	介護施設との連携
		小中学校のクラブ活動の地域サポート登録する？（学校支援ボランティア）
		市民の保有するスキルを登録し市民へ共有
		地区のスポーツチームなどへの補助金制度導入
	南区2班	居場所づくり
教室 老化、活動		
ダメ広場 ヤレ広場		
ボランティアによる復習教室		
高齢者への学習場所（企画）		
ボールの使える公園を増設		
学力低下は核家族化と地域コミュニティ不足が原因		
使い勝手の良い会場		
放課後の学校開放 お金のかからない子どもの居場所づくり		

	内容	小学校の空き教室の利用
		ロボットに使われない、使いこなす 人間性重視
		グローバル化に対してアイデンティティのある
		発想力を育てる
		基礎学力 漢字 そろばん
		停電時でも強く生活ができる知恵
		日本武道、華道 他
		公教育のレベルアップ（親の年収に左右されない）
		生涯学習講座の拡充
		生涯学習講座からその後のサークル化・ボランティア活動家への橋渡し
		実習合宿生活
		子ども見守り隊の隊長免許講習（責任者講習）
		月に1度とか定期的に公民館などで昔の遊びを伝えていく
		市民活動への子どもの積極参加
	共働きで家庭・地域に大人がいない	
	周知	貧困対策 中学・高校生の家庭内でのアルバイト・内職
		最近外人さんも増えているようなので、外人さんとの交流の場をつくる
		南区（専用）行事など子ども情報紙を発行
		地域の児童館などを使用してシニアの方々に協力してもらい、遊び、宿題など見てもらう
		子育て世代へのアピール もっと知らなくては！
お知らせメール メニューいろいろ		
その他	安心して出産・子育て 相談できるグループと友達、子どもを見守ってくれる人（おばあちゃん）	
	障害者の見守り隊	
南区3班	教育	英語が自然に流れるまち 相模原
		子どもの興味を伸ばす地域の教育の場
		在住外国人の方へ向けた英語ラジオ放送
		元教師の半ボランティアによる寺子屋（空き家利用）
		高齢者と児童・生徒のコミュニティづくり（空き家利用）

		SNS のルール教育 子どもも大人も一緒に学ぶ
		” わからない ” がわからない
		スマホ・SNS は高校からに制限（自転車と同様）
		学力 UP 誰がどのように力を入れるか？
		教育の環境を整える
		空き家・空地进行行政が買い取り 子どもの広場に確保
	子育て	楽しく子育てをしているなあと感じる
		挨拶の活動
		注意をしてもいいのだがついためらってしまう自分
		小学生 挨拶のしつけ（家庭？）
		子育てママはもっと支援センターを活用
		区内企業でも保育園設置
		小学校のグラウンドに芝がないのか？
		ママがもっと頼れる方がいたら？
		予防接種の無償化
	貧困	生活保護世帯の子どもへの無利子奨学金制度
		高齢者支援（スキルを活かし）貧困原因の技術習得
		年収に応じた児童手当
	その他	蔵書数中心でなく書籍利用率評価での購入
	南区 4 班	子育て・保育
園庭をもつ保育所の設置		
夜間保育の充実		
保育士人材の確保・地位向上（給料）		
保育園に土地を提供した人にメリットを		
保育士の地位向上		
テレワーク（在宅）の推進		
子育て支援の拡充		
子育て支援専門家資格をつくる		
共働き増の原因は何か？		
働いてほしい企業側に保育園を		
子育ては本当に大事 専念できる環境づくりが必要		
女性は本当に働きたいのか 経済的な理由の割合		
地域の子どもセンター活用の情報発信		
地域で子育て 挨拶や声かけでコミュニケーション		

		サービス・外の手助けも良いが、親としての責任感も
	児童福祉	児童福祉施設 質の向上・増加
		”障害児”と呼ばれる児童は本当に増えているのか？
		基準の変化
		療育施設の質の向上
		小・中学校と児童福祉の協力コラボ
		発達障害などへの理解を深める啓発活動
	貧困と教育	なぜ貧困家庭は学力が低いのか
		原因は貧困 = 学校以外の教育を受けられない状況
		学力のはかり方 = 学校で教わることを以外を求めるから？ Or 学力を外でつける者が増え、基準がおかしい？
		貧困と学力低下の連鎖の解消
		学習塾に通えるクーポンの配布
		スマホ教育 親と子に
		小・中・高生の地域イベント参加
		教師の労働時間削減、働き方改革を
		経験者、技術者の参加
		生涯学習
		年配を含んだ子育て（近くのコミュニティ）
		地域のあり方
		生涯学習に多彩なプログラムを
		市民大学の TV 配信 地元で受講できる
南区 5 班	親の教育支援	貧困家庭の子どもの教育ではなく親の教育をすべきだと思う
		貧困家庭の親の支援窓口（高齢者担当）
	教育支援の組織化	教育経験者（先生）に、時間外の学習指導を、児童クラブなどで
		地域で待機児童のお世話ができる人の登録と依頼者の登録、トラブル保障制度
		親、子、高齢者の連携性を高める
		地域で面倒を見る場合は複数の人で見守り
		各教育系業務の方々の相談窓口子どもセンター
	子育てでの問題	保育園厳しい 兄弟別々なら OK って！！、学童 /

	点	児童クラブ 親いなければ成立しない
	親の就労環境改善	親の育てる時間の確保
		交通の便の良いところに保育園(両親の負担軽減)
	相談窓口の増強	子育て110番を公民館や出張所に設置する
		助成金って...
	障害児	障害児ではなくて障害者も問題なのでは?
		学校と障害児施設の交流を図る機会を設ける 障害児の偏見を解消
		障害児に対する理解がない
	その他	親と子の関係性での教育
		遊ぶ場所をつくっても外で遊ぶ子どもが増えるとは思えない
		遊び場の不足 児童館-学校-児相-警察の連携
		産院の増強 混んで負担大
		生涯学習の講座で興味を持てるものがない

<付箋・模造紙記入例(南区1班)>



(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

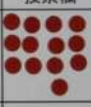

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

＜「子ども・教育」南区 ワークシートの意見＞

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
南区1班	子育てハンドブックの作成 出産～義務教育終了までにかかる費用と公共の支援制度を見える化する 地域コミュニティの活性化 市民の保有するスキルを共有し小中学校の課外活動のサポートに活用する 遊び場の確保 ・校庭、体育館の開放をわかりやすくする ・公民館を子どもでも利用できるようにする	学童保育のような場所で勉強のサポートもしてほしい。 (スキルを持った市民との契約など)
南区2班	楽しい子どもの居場所拡大 ・小学校の空き教室利用 ・空き家の活用 ・おもしろ遊び場 世代交流 ・ボランティア講座 ・見守り隊の講習 周知メールを充実させる ・イベント情報 ・学べるメール	-
南区3班	教育 高齢者・児童・生徒の”寺子屋” 半ボランティア 空き家を利用 子育て 子どもから大人まで 人間育て スマイル0円 笑顔であいさつ 貧困 ”子ども食堂”を展開	蔵書数ではなく、書籍利用率で評価すべき
南区4班	子育ては本当に大事 ・保育園の拡充(雇用者やマンション新築) ・子育て支援の専門家の資格をつくる ・保育士の地位向上(待遇改善) 障害児を助ける ・児童福祉施設、療育施設の質向上 ・障害への理解促進 生涯学習で自己啓発 ・高齢者の方が生涯学習を通じて地域のモデルとなる	学力の格差を経済格差を理由とすべきか
南区5班	子育ての問題点 ・保育園 兄弟で別の園 ・ジジ・ババいなけりゃ成立しない 親の就労環境改善 親の教育支援及び組織化 障害児に対する理解 産院が混んで負担大 産院の増強 ネットによる混雑分散 ・交通便の良い所に保育園・子どもセンターなど 親の負担軽減 親子の関わり ・遊び場の確保及び関係者の連携強化 子どもの見守	育てやすい環境の創出(生涯学習)

	り環境整備	
--	-------	--

<ワークシート記入例（南区3班）>

発表用ワークシート		
班名	南区3班	メンバー名 松井 綾川 田尻 永江 堀
テーマ	子ども 教育	
班でまとめた意見（重要なもの3つ）		投票欄
教育	高齢者・児童・生徒の“寺子屋” 半ボランティア 空屋を利用	 ① 13
子育て	子供から大人まで 人間育て  笑顔であいさつ スマイル0円	●
貧困	“子ども食堂”を展開	
<small>その他のアイデア、書き残しておきたいこと</small> 蔵書数ではなく、書籍利用率で評価するべき。 ●		

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「子ども・教育」南区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	南区3班	教育 高齢者・児童・生徒の”寺子屋” 半ボランティアで空き家を利用	13
2位	南区1班	遊び場の確保 ・校庭、体育館の開放をわかりやすくする ・公民館を子どもでも利用できるようにする	11
3位	南区2班	楽しい子どもの居場所拡大・小学校の空き教室・空き家利用	9
	南区2班	学習イベントなどの周知メールを充実させる	6
	南区4班	・保育園の拡充・子育て支援の専門家の資格をつくる ・保育士の地位向上	6
	南区5班	親の就労環境改善、親の教育支援及び組織化 障害児に対する理解	5
	南区1班	子育てハンドブックの作成 出産～義務教育終了までにかかる費用と公共の支援制度 見える化	5
	南区1班	地域コミュニティの活性化 市民の保有するスキルを共有し小中学校の課外活動のサポートに活用する	3
	南区2班	ボランティア講座や見守り隊の講習による世代間交流	3
	南区4班	生涯学習で自己啓発 ・高齢者の方が生涯学習を通じて地域のモデルとなる	3
	南区4班	障害児を助ける ・児童福祉施設、療育施設の質向上・障害への理解促進	2
	南区5班	産院の増強、ネットによる混雑分散	2
	南区5班	交通便の良い所に保育園・子どもセンター 遊び場の確保及び関係者の連携強化	2
	南区3班	子どもから大人まで人間育て スマイル0円 笑顔であいさつ	1
	南区3班	”子ども食堂”を展開	0

(4) 南区まとめ(区特有の特徴など)

南区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「子ども・教育」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「**地域の子育て環境・居場所づくり**」

子どもの遊び場や居場所の確保、保育園の拡充などの子育ての支援などに関する意見が出ています。

・「**生涯学習や多世代交流による教育**」

学習イベントの周知、ボランティア講座、自己啓発、寺子屋の実施など、具体的な活動に関する意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは南区3班の「教育 高齢者・児童・生徒の”寺子屋”半ボランティアで空き家を利用」で、特に子どもに限らず誰もが学習する寺子屋というキーワードに注目が集まっていました。一方で、キーワード別に見ると「地域の子育て環境・居場所づくり」に関連する意見がどの班からも多く出ており、得票数も多くなっています。

南区の意見の特徴として、「地域の子育て環境・居場所づくり」については、非常に多様な方向からの意見が出ており、学習に限らず、遊び場や産院、就労環境、保育園、学校の空き教室など、地域における様々な場所や活動が地域の子育て環境を形成する要素になっていることが伺えます。

<「子ども・教育」南区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
地域の子育て環境・居場所づくり	南区 1 班	遊び場の確保 ・校庭、体育館の開放 ・公民館を子どもでも利用できるようにする	11	42
	南区 2 班	楽しい子どもの居場所拡大・小学校の空き教室・空き家利用	9	
	南区 4 班	・保育園の拡充・子育て支援の専門家の資格をつくる・保育士の地位向上	6	
	南区 5 班	親の就労環境改善、親の教育支援及び組織化、障害児に対する理解	5	
	南区 1 班	子育てハンドブックの作成 出産～義務教育終了までにかかる費用と公共の支援制度を見える化	5	
	南区 5 班	交通便の良い所に保育園・子どもセンター 遊び場の確保及び関係者の連携強化	2	
	南区 5 班	産院の増強、ネットによる混雑分散	2	
	南区 4 班	障害児を助ける ・児童福祉施設、療育施設の質向上・障害への理解促進	2	
	南区 3 班	”子ども食堂”を展開	0	
生涯学習や多世代交流による教育	南区 2 班	学習イベントなどの周知メールを充実させる	6	29
	南区 1 班	地域コミュニティの活性化 市民の保有するスキルを共有し小中学校の課外活動のサポートに活用する	3	
	南区 2 班	ボランティア講座や見守り隊の講習による世代間交流	3	
	南区 4 班	生涯学習で自己啓発 ・高齢者の方が生涯学習を通じて地域のモデルとなる	3	
	南区 3 班	子どもから大人まで人間育て スマイル0円 笑顔であいさつ	1	
	南区 3 班	教育 高齢者・児童・生徒の”寺子屋” 半ボランティアで空き家を利用	13	

4. 「子ども・教育」全体統括

全体の意見をまとめると、以下の4つの意見に分けられます。その中で最も得票数が多かったのは、「地域の子育て環境・居場所づくり」で、緑区、中央区、南区の多くの班から意見が出ています。

学校教育の充実

授業のカリキュラムや教員の質や待遇の改善、エアコンの導入など、学校内の課題について緑区と中央区から多く意見が出ています。特に学力の地域差や学区の見直しなど、市内においても地域によって教育環境に差があることへの課題が見えています。一方で南区からは、学校外での努力に重きが置かれていることが伺えます。

地域の子育て環境・居場所づくり

どの区においてもほぼ全ての班から意見が出ており、意見数は最も多くなっています。地域の子どもたちは地域で守り、育てていく必要があると感じている方が多く、どのような活動で子どもたちを育てていくか、どのような場所が活用できるかについて、具体的な意見が多く出ています。

生涯学習や多世代交流による教育

子どもたちだけに限らず、市内の様々な資源を利用して大人や高齢者まで、地域みんなで学習していこう、多世代の交流によって教育を進めようという意見が緑区と南区で多く出ています。特に、緑区の野外観察会や南区の寺子屋など、地域の特色が最も色濃く反映されている意見になっています。

子どもの貧困対策

中央区で意見が多く出ており、教育が満足に受けられない家庭、子どもへの支援対策が多く求められています。支援の内容は教育に限らず、就労支援や給食費支援、生活保護支援など多岐に渡り、討議2の「共生・健康」でも討議があったとおり、負のサイクルを断ち切ることが求められています。

<「子ども・教育」全体意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
学校教育の 充実	緑区 2 班	学力の地域差をなくす 教員の人員、質の向上（研修）+ 地域教育力の 向上	9	33
	緑区 3 班	小・中学校の夏期講習の充実 空調機器の導入、教師の待遇改善	9	
	緑区 1 班	学校のスマホ頼りの解消	0	
	中央区 2 班	中学校における不公平感をなくす 生徒による先生への評価	1	
	中央区 3 班	～学校のインフラ整備～ ・学区の見直し、エアコン完備	0	
	中央区 3 班	～学校の地域参加を進める～・校外への学習機 会をもうける	11	
	中央区 5 班	外国語教育の充実 地域の外国人に活躍しても らう 小学校のカリキュラム化	3	
地域の子育て 環境・居場所 づくり	緑区 1 班	安心して子どもを産み育てられる環境づくり	7	86
	緑区 2 班	地域で子どもを育てる	5	
	緑区 4 班	子どもの居場所づくり・勉強も遊びも安心して いられる所	4	
	緑区 2 班	地域での児童生徒の見守り	0	
	中央区 1 班	児童クラブを駅付近に設置 ボランティアと先端教育の強化	8	
	中央区 3 班	～地域と一緒に子どもを育む～ 共働き家庭の子どもの居場所づくり 空き家の 活用	8	
	中央区 5 班	住民同士による子育て、支えあい・子育て 1 1 0 番の家の活用	8	
	中央区 2 班	小中学校の設備を利用した塾	6	
	南区 1 班	遊び場の確保 ・校庭、体育館の開放 ・公民館を子どもでも利用できるようにする	11	
	南区 2 班	楽しい子どもの居場所拡大・小学校の空き教 室・空き家利用	9	
	南区 4 班	・保育園の拡充・子育て支援の専門家の資格を つくる・保育士の地位向上	6	
	南区 5 班	親の就労環境改善、親の教育支援及び組織化、 障がい児に対する理解	5	
	南区 1 班	子育てハンドブックの作成 出産～義務教育終了までにかかる費用と公共の 支援制度を見える化	5	
	南区 5 班	交通便の良い所に保育園・子どもセンター 遊び場の確保及び関係者の連携強化	2	
	南区 5 班	産院の増強、ネットによる混雑分散	2	

	南区 4 班	障害児を助ける ・児童福祉施設、療育施設の質向上・障害への理解促進	2	
生涯学習や多世代交流による教育	緑区 4 班	緑区ならではの野外観察会など 地域多世代の企画運営	9	64
	緑区 1 班	学校施設を利用した放課後学習	6	
	緑区 1 班	温泉施設を利用した生涯学習の充実	5	
	緑区 3 班	高齢者などを含めて生涯学習の充実強化 公民館の学習テーマの充実と受入人員の増強	3	
	緑区 1 班	障害者の社会参加支援	0	
	中央区 4 班	市が教育の場の提供をし、子育て世代と経験者が交流する 出産、子育ての費用を無料化	12	
	南区 2 班	学習イベントなどの周知メールを充実させる	6	
	南区 1 班	地域コミュニティの活性化 市民の保有するスキルを共有し小中学校の課外活動のサポートに活用する	3	
	南区 2 班	ボランティア講座や見守り隊の講習による世代間交流	3	
	南区 4 班	生涯学習で自己啓発 ・高齢者の方が生涯学習を通じて地域のモデルとなる	3	
	南区 3 班	子どもから大人まで人間育て スマイル 0 円 笑顔であいさつ	1	
	南区 3 班	教育 高齢者・児童・生徒の ” 寺子屋 ” 半ボランティアで空き家を利用	13	
	子どもの貧困対策	中央区 1 班	D V の現状把握・里親制度の活用	
中央区 5 班		無料学習塾の設置	5	
中央区 2 班		出産～義務教育は無料化にする 若者世帯の流入・不妊治療	2	
中央区 1 班		生活保護の支援プログラム ・特殊技能を紹介・仕事に対する生きがいづくり・親に対する教育	1	
中央区 4 班		公教育では給食費を無償化・学びたいことを学べる制度 家庭教育では親に対して、これからの世代を生きる子どもをとりまく環境の講座	8	
中央区 4 班		無料塾の実施 空き家、学校の放課後を利用 学生、退職者などがボランティアで使わなくなった本の提供	0	
南区 3 班		” 子ども食堂 ” を展開	0	

VI. 実施結果 討議5 「活力・交流」

1. 緑区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「活力・交流」緑区 個人意見>

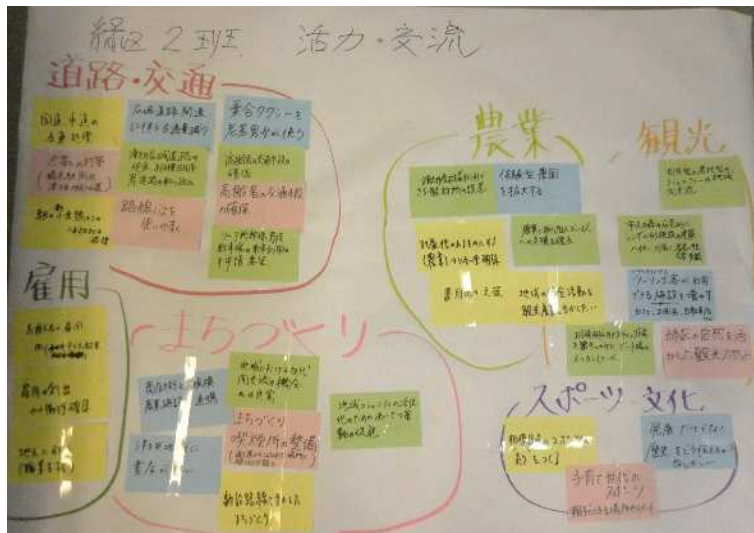
班	分野	内容
緑区1班	観光	レジャーの成功例
		アドベンチャー的遊戯施設
		言語（海外の）スクールを増やしてほしい
		遊園地をつくる
		第2の秋葉原をつくる
		コンサートできる場所を増やす
	道路・交通	相模原駅・大野方面へ遠い、不便
		山間部から学校に通えない
		コミュニティバスの充実
	自然	キャンプ場、公園などでのボランティアプログラム
		津久井地区の観光資源の積極的活用
	雇用	短時間就労の斡旋
		有効求人率アップは非正規の協力 正規社員へ
		HW（厚労省所管）と市の情報交換・連携強化
	まちづくり	公園も良いがもっと人が集まりお金を生み出すまちづくり
		駅（橋本、相模原）による一極集中型にしたらどうだろうか？
		市営プールの料金が高い 見直し
		リニア駅 圏央道を緑区にメリットになるデザインの検討
		伝統を活かしつつ新しいもの
		これからの相模原
	相模原	芸術家を育成する
		～武器～宇宙、自然、水
		若い人を呼ぶ大学、高校、専門学校、カルチャーセンター

		建設
	産業	畑の近くでの農産物の直売所 ボランティア運営
		相模原の魅力を打ち出す（緑・自然を活かした産業）
		農業・自然体験のテーマパーク
		若手企業家への場所の提供
		市民からお金を取るのではなく、施設料も高く、外からどうお金を生み出すか
		府中のような広域のレジャーも
		スポーツ
緑区 2 班	道路・交通	国道、市道の交通処理
		渋滞の対策（橋本駅周辺 津久井地区への道）
		朝の小倉橋の混雑
		広域道路開通に伴う交通量減少
		津久井広域道路の延長、相模湖南岸道路の取組み
		路線バスを使いやすい
		乗合タクシーを老若男女が使う
		高齢者の交通手段の確保
		リニア新幹線、鳥屋駐車場の乗車利用の申請、要望
		雇用
	雇用の創出 働き手確保	
	まちづくり	商店街と大規模商業施設の連携
		津久井地域に書店がない
		地域における世代間交流の機会の充実
		喫煙所の整備
		新設路線を活かしたまちづくり
		地域コミュニティの活性化のためのあいさつ運動の促進
	農業	津久井産材が利用できる製材所の設置
		体験型農園を拡大する
		利益性のあるものにする 農業 担い手確保
		農業に取り組んでいる人への支援を確立
		農用地の支援
		地域の活動を観光産業に生かしたい
	観光	都市型と農地型のコミュニティの地域間交流
		市民の森の石老山にシンボリック施設の建築、ハイカー、外国人若者

		ツーリング(サイクリング)客が利用できる施設を増やす カフェ、お風呂、自転車店など
		相模湖のカナダキャンプ場をきっかけにポート場のメツ カにしていく
		緑区の自然を活かした観光スポット
	スポーツ・文 化	相模原市のスポーツの売りをつくる
		子育て世代のスポーツ 親子でできる場所やイベント
		発展だけでなく歴史をどう伝えるか?
緑区 3 班	道路・交通	小田急多摩線延伸の進捗状況を明示する
		高齢者のバス無料化
		橋本駅周辺の高密度化、第 2 の新横浜駅
		相模線沿線の活性化、複線化
		物流施設の促進 他地区と競争
		つくれていない道路、なぜ、地域の理解と共生
		津久井街道 バス利便性向上 高齢者、駅前駐車場、渋滞
		交通 モノレール化
	観光	買い物支援 移動融資
		市外、県外に拡散、アピールしたくなる観光
		基地のイベント
		農業 品質向上 新しい加工方法
		森林の公園化 見かけの公園(市所有)が少なく、管理の できない森多し
		遊休農地 ・農地として・別の施設
	心と気持ち	積極的なイベントへの参加
		文化 芸術文化財団中心に連携をとる
		外国の方への挨拶
	就労	無業者、フリーター就労支援
		” 出戻り ” (復帰) の推奨
		企業の活性化-働き手雇用
		情報、通信業、金融、保険業は雇用減少
その他	市の情報を受け取りやすく	
緑区 4 班	道路	橋本駅南口へのアクセス道路の整備-リニア新幹線との関 連
		圏央道相模原 IC へのアクセス道路早期整備
	まちづくり	返還された土地の有効活用 企業への誘致など

		緑区の自然で家族で遊べる場所
		現状橋本駅北口の商店街は個人商店なし！ コンビニ・美容院・飲食店になった
	商業・農林業・産業	駅周辺に商業施設を増やす
		IT企業で市区内に所在する企業に手当てを
		情報通信業向けの物件不足を解消
		津久井、相模湖、藤野地区 移動販売の充実 シャッター商店街の活用
		ふるさと納税の活用など 名産を広める
雇用	働く場所を増やし、人口増加	
	働き手の増加 駅周辺の保育所増設	

<付箋・模造紙記入例（緑区2班）>



(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「活力・交流」緑区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
緑区1班	都市機能、自然環境を活かした大型観光施設で集客 アドベンチャー、コンサート、秋葉原的商業施設	-
	緑区の地域の特色を生かした自然体験 農作物の直売所、キャンプ場、野菜づくり	
	津久井地区への交通アクセス改善 コミュニティバス、自転車専用道路	
緑区2班	老若男女にやさしい交通網整備 集合タクシー、路線バスをつかいやすく/渋滞解消	まちづくり、喫煙所の整備 高齢者の雇用促進
	魅力ある農業への支援 収益のある農業 体験型農園(観光)、製材所設置、農地の転用	
	観光スポットを活かした地域の活性化 オリンピック自転車ロードレース、相模湖カナダキャンプ場 有効活用	
緑区3班	行政がやっている事、提供しているサービスを浸透させる!!	・個人でできること 積極的なイベント参加、外国の方へあいさつしよう!! ・こんなことできたらいいな 移動販売、モノレールつくる、物流施設の促進
	バスの利便性の向上 例えば無料化とか・・・	
	農作物のブランド化 近隣市区町村へのPR	
緑区4班	IT企業を含めたオフィスビルを建てて、企業誘致(橋本駅南口・相原高校跡地) 雇用創出、税収アップ、人口増	-
	美容院が多すぎる!! 働き手に必要な惣菜屋を増やす。道の駅で津久井町の特産品を売る(せき麺・大豆)	
	圏央道までのアクセス道路の整備	

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「活力・交流」緑区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	緑区1班	都市機能、自然環境を活かした大型観光施設で集客 アドベンチャー、コンサート、秋葉原的商業施設	9
1位	緑区4班	IT企業を含めたオフィスビルを建てて、企業誘致	9
2位	緑区2班	観光スポットを活かした地域の活性化 オリンピック自転車ロードレース、相模湖カナダキャンプ場 有効活用	7
2位	緑区3班	無料化など、バスの利便性の向上	7
3位	緑区3班	行政がやっている事、提供しているサービスを浸透させる！！	5
	緑区1班	緑区の地域の特色を生かした自然体験 農作物の直売所、キャンプ場、野菜づくり	4
	緑区2班	老若男女にやさしい交通網整備 集合タクシー、路線バスをつかいやすく / 渋滞解消	4
	緑区3班	農作物のブランド化・近隣市区町村へのPR	3
	緑区4班	道の駅で津久井町の特産品を売る	3
	緑区4班	圏央道までのアクセス道路の整備	3
	緑区1班	津久井地区への交通アクセス改善 コミュニティバス、自転車専用道路	2
	緑区2班	収益のある農業や魅力ある農業への支援	1

(4) 緑区まとめ(区特有の特徴など)

緑区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「活力・交流」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「**交通アクセスの改善・強化**」

バスなどの域内交通の利便性向上や圏央道などの域外交通のアクセス強化について意見が出ています。

・「**農業の振興や特産品の販売などの推進**」

農業のブランド化や魅力向上、道の駅などの活用による収益性向上について意見が出ています。

・「**観光振興による集客力の向上**」

自然環境などの資源を活用した観光振興に力を入れ、集客力を向上しようという意見が出ています。

・「**市の政策強化による活力の向上**」

市民の力だけでは実現できない行政サービスの浸透や、企業誘致による活性化などについて意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは緑区1班の「都市機能、自然環境を活かした大型観光施設で集客、アドベンチャー、コンサート、秋葉原的商業施設」と、緑区4班の「IT企業を含めたオフィスビルを建てて、企業誘致」で、活力の向上に対して、それぞれ異なる視点で収益を上げていく方法が検討されています。

キーワード別で見ると、観光スポットや自然体験など、緑区ならではの観光資源を用いた「観光振興による集客力の向上」についての意見の得票数が最も多くなっています。

緑区の意見の特徴として、観光資源を生かした活力の創出に加えて、農業の活性化によるブランド化や特産品のアピールなど、観光振興に農業を掛け合わせた外需の創出について戦略的に検討されています。

<「活力・交流」緑区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
交通アクセスの改善・強化	緑区 3 班	無料化など、バスの利便性の向上	7	16
	緑区 2 班	老若男女にやさしい交通網整備 集合タクシー、路線バスをつかいやすく / 渋滞解消	4	
	緑区 4 班	圏央道までのアクセス道路の整備	3	
	緑区 1 班	津久井地区への交通アクセス改善 コミュニティバス、自転車専用道路	2	
農業の振興や特産品の販売などの推進	緑区 3 班	農作物のブランド化・近隣市区町村へのPR	3	7
	緑区 2 班	収益のある農業や魅力ある農業への支援	1	
	緑区 4 班	道の駅で津久井町の特産品を売る	3	
観光振興による集客力の向上	緑区 1 班	都市機能、自然環境を活かした大型観光施設で集客 アドベンチャー、コンサート、秋葉原的商業施設	9	20
	緑区 2 班	観光スポットを活かした地域の活性化	7	
	緑区 1 班	緑区の地域の特色を生かした自然体験	4	
市の政策強化による活力の向上	緑区 3 班	行政がやっている事、提供しているサービスを浸透させる！！	5	14
	緑区 4 班	IT企業を含めたオフィスビルを建てて、企業誘致	9	

2. 中央区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「活力・交流」中央区 個人意見>

班	分野	内容
中央区1班	雇用	昼間人口の増加策 企業誘致・大型商業施設・他都市との競合に勝てる施策
		人を物扱いするような状況では雇用推進は無理である、企業の改革が必要
		人の生産性向上が課題である 人を大切に！
		子どもの働く体験 現在中学生がやっている
		シニアへの体験も良いのでは
	観光	有名人の名誉市民化 各種イベントへの協力
		魅力ある公園をめざす マンネリ化して二度、三度行かない
		治安維持が課題
		相模原おいしい物博（ラーメン他）
		駅コンシェルジュの設置（語学ボランティア） スペース確保（ 有料もあり）
		名所の認定
		相模原の特産物土産品、商品の開発
		一日観光地図と案内サービス（コミュニティバス）
	スポーツ	文化村の作成
		特定の人だけのスポーツ・文化参加になっている
		公園にはトイレがある
		プロ野球場、サッカー場の建設
		市民参加型を優先すべき（オリンピックでは意味がない）
		スポーツ広場の使用しやすさと駐車場・トイレなどの充実をはかる
	まちづくり	小田急多摩線延伸への具体的な実現策 海老名に負けるかも？
		まず延伸ありで進める！返還地の単独開発は無理！
		橋本駅開発は公明正大に！

		淵野辺駅北口の開発に期待	
		基地 国際問題があり安易な解決は危険	
	産業	他の国に真似されない特色のある産業を推進する	
		農業へ参加する方法を知りたい	
		株式会社化を行い生産性を上げる	
	道路・交通	買い物難民を減少 民間との連携	
		コミュニティバスの安価 180円 100円	
		自動運転技術の推進	
		中央区は自転車が多い 自転車の走りやすい道	
		財源が限られるため効果の大きいものを優先する	
		自転車の止めやすい駐輪場の確保	
	中央区 2 班	観光	外国人向け観光の検討
			外国人に JAXA アピール
			Wi-Fi free 増設
JAXA、国民生活センターに集客アップ			
JAXA、国民生活センター、博物館などを活用したツアーなど			
コミュニティバスは本数がないと利用率は上がらない ハイエースくらいにする			
バス自動運転化			
観光 PR アニメーション業界			
インターチェンジ付近の土地活用 道の駅、モールなど			
高齢者 免許返納者などにタクシーチケット			
アピール力			
観光大使でさらなる PR			
SNS			
交通手段がバスしかない 貸出自転車の設置など			
まちづくり		情報産業 ドローンなどのテストマーケティング 買い物支援	
		情報産業などの誘致 レンタルオフィス	
		情報通信業を伸ばしたいなら交通の便を良く	
		IT 企業はリニアが通る橋本駅に	
		西門の活用	
		補給廠の活用	
	基地返還 オフィスビル		

		地域と基地の交流
		他地域からの人の流れ(働く場所をつくるうえで考える)
		アニメーターを呼ぶ
		この辺で売られている服や雑貨がダサイ
		若者向けの商業施設を充実させる
		遊び場が少ない 複合スポーツ施設や映画館 おしゃれな飲食店など
	商業	商店の活性化 企業家育成
		製造業を逆にアピール JAXA と連携
		潤水都市の名前を活かして水と商業施設のコラボ
		小田急に頑張ってもらい若年層への協業
		商店街の空き家に人気チェーン店の導入
	スポーツ	施設の開放時間の延長 料金 保育施設の完備
		SC サガミハラ J1 優勝目指す！！
	農林業	遊休農地の市民への開放
		広葉樹 植林樹 水質保全
地元農産物 上手な宣伝		
中央区 3 班	雇用	橋本駅沿線への企業誘致 リニアが通るから
		残業を減らした企業への支援 買い物増加
		企業が集まる区画の設備
	雇用(高齢者向け)	買い物が不便な地域に代理で買い物をして届けるサービス業をつくる
		買い物支援(コミュニティバス、訪問販売、移動スーパー増)
		高齢者が働けるまち
		定年の延長 給料減らない
	観光(相模原ブランド)	リニアをもっといろんな人に知ってもらう
		都心の人口は増えているだろうから、相模原の魅力を発信して人を都心から呼び込む
		地域資源を活かす観光
		相模原市の代名詞となるようなブランド産物づくり支援
		奇抜な市アピール
		商店会というのが若者はよく知らないなので、まずは情報を広めた方がいい
	観光(外国人)	外国人旅行者の増加で英語のできる方は参加してコミュ

	向け)	ニケーションをはかる
		英語教育 英語・外人にふれる機会を増やす
		通訳ボランティア 小・中・高生も含める
		外国人も住みやすいように様々な面で英文版もつくる
		外国語表記の案内板
	まちづくり	基地跡地の活用計画十分な見直し
	スポーツ	子育て世代がスポーツできる保育システム
	農林業	耕作放棄地
中央区 4 班	まちづくり	空き店舗の貸し出しに補助金を出す
		シャッター商店を有効活用（他地域から商売したい人に利用してもらう）
		空き家や空団地を活用
		エリアマネジメントの実施
		地下ドーム
	観光	外国人向け施設の設置
		市のテーマ ” 水 ” にかかわる観光のアピール
	スポーツ・文化	スポーツチームの勧誘（相模原球場など）
		先端技術の専門学校をつくり、市でインフラを提供して起業しやすくする
	道路・交通	小田急延伸を早急を実現
		渋滞の解消
		16 号道路の混雑緩和
	基地	米軍返還地を住宅にして若い世代を呼び込む
		基地があることのメリットがない
		相模原北口の取組みを早期にする
		相模原の返還地を特区にして大手 IT 企業を誘致
		相模原駅の北口と南口でエリアを分ける（日本×外国）
	産業	小学生～中学生の頃からモノづくりに教育面でも力を入れてほしい
	雇用	65 歳以上の方が働いているのはいいけど ” つかれた ” ばかり
		県外の大学に通っている方に相模原の企業に就職してもらいたい
商業、農林業	買い物が不便な地域にコミュニティバスを走らせてほしい（または大手スーパーの協力で）	

中央区5班	雇用	8050問題 引きこもりの方の雇用の促進(出るきっかけをつくる)
		遊休農地を若年層に情報提供する 若年層に畑に興味ある人多い!
		行われているふれあい農園を強化する!
		相模原市立専門学校の設置 福祉・農業・商業課の設置
		奨学金制度の創設 企業間で連携し協賛を得る
		農林業を学べる学校の設立
		小田急線延伸後、若年層の移住者に補助をする(家賃、空き家 etc)
		雇用サイドの年齢を撤廃
		商店会後継者の公募
	買い物支援・移動	日中あいている福祉施設の車両を活用した移動支援
		コミュニティバスを増やし安価で利用しやすいまちづくり 高齢者の交通対策
	まちづくり	小田急多摩線延伸の早期対策 都心の人が通いやすい人口増
		市街地への計画、投資 老人タウンの設立
		町中に休憩用のいすを設置する
		橋本駅・相模原駅周辺の強化 市民の声をしっかり聴いたまちづくり
		相模原IC 付近の企業誘致 人口増、税の増収へ
		漫画などの公募(相模原を舞台) ファンの聖地巡礼
		基地返還計画を理想だけでなく実践に基づいた形へ
		リニア新幹線、在来新幹線の連携によるまちの活性化
	スポーツ	子育て世代がスポーツしやすい施設をスーパーなどにつくる
		2020 オリンピック・パラリンピックの意識の向上
		相模原市をアピールできる(子どもから高齢者まで)スポーツを決める
	観光	道の駅をつくってほしい!
		道の駅で大和芋、津久井の在来大豆、地元の野菜
		訪日外国人 観光地強化、名産品をつくる 津久井大豆のみそ
		遊休農地を活用した観光事業

		都バスによる観光を見習い、市バスによる観光で外出の機会を増やす
		外国人対策として通訳機の導入

<付箋・模造紙記入例（中央区5班）>



(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「活力・交流」中央区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
中央区 1班	観光 相模原新名物発掘(全国PR) お土産がない (JAXA、ダム、たまご街道)相模原名所めぐりバス運行、 治安、サービス充実、コンシェルジュ	補給廠返還地の開発は慎重に。 橋本駅の開発(淵野辺駅北口) 忘れないで
	まちづくり コミュニティバスの充実(運賃、アプリ時刻表) 自転車道 路などの充実	
	スポーツ 公園附帯設備の充実(トイレ、駐車場)	
中央区 2班	まちづくり ・交通 - コミュニティバスを増やす、免許返納者にタクシー チケット(企業連携) 貸出し自転車の設置 ・基地返還後の活用 ・若者をターゲットにした商業施設、スポーツ施設や映画 館、おしゃれな飲食店	-
	観光 ・Wi-Fi 増設 ・JAXA、国民生活センター見学など集客、西門の活用 ・観光PRをアニメーション業界へ依頼	
	商業 農林業 ・カフェなどの人気チェーン店を増やす(空き店) ・商店の活用(店主の育成)、インターチェンジ付近の土 地活用(道の駅、モールなど) ・広葉樹の植林、地元農産物(上手な宣伝)	
中央区 3班	雇用 買い物支援 (前期高齢者、若年層の雇用をもっと広げる) ・買物代行業・訪問販売・移動スーパー・コミュニティ バス(ドライバー)	(市内)企業の残業を減らす 条例をつくる! 余暇の有効利用(スポーツ、 買い物) 地元産業の活性化
	観光 相模原ブランドの創生 ・新しく募集する(企業誘致・・・) ・既存のものPR (ダチョウ、ヤマトイモ、タマゴ・・・)	
	観光 外国人向け 外国語教育・交流イベント 小・中高生観光ボランティア 外国語表記の案内	
中央区 4班	まちづくり ・シャッター商店を有効活用(大学、企業、個人に貸す) ・シャッターを開けさせる 美大、青学、アトリエなど	潤水都市? (どこが)
	基地 ・相模原駅の北口(アメリカ) 南口(日本)でエリアを分 ける 特色 企業誘致	

	北口：アメリカ風なまちづくり（ボールパーク構想 メジャーリーグ風・レンガ風（横浜の赤レンガみたいな）） 南口：日本風なまちづくり（商店街）	
	道路、交通 ・小田急延伸を早急を実現 ・渋滞の解消	
中央区 5班	雇用 「専門学校の 신설」 福祉、農業、商業 地元で活躍できる人材の育成	-
	まちづくり 「人が集まる相模原」 ハード面の整備（リニア、小田急延伸、都心への通いやすさ） ソフト面の整備（リサイクル品で休憩用のイスの設置、老人タウン）	
	観光 「観光地の掘り起こし」 道の駅の新設（地元の特産品のPR、販売）既存の施設の有効活用、アピール 宮ヶ瀬ダム、相模湖、津久井湖、プレジャーフォレスト、服部牧場、JAXA 宇宙科学研究所	

<ワークシート記入例（中央区4班）>

発表用ワークシート

班名	中央区 4班	メンバー名	南東 大塚 松浦 牛田 平野
テーマ	活か 交流		
班でまとめた意見（重要なもの3つ）			
町づくり	・シャッター商店も有効活用（大学、企業、個人に 活用） ・シャッターを南にさせる	投票欄	●
基地	・相模原駅の北口、南口をエリアに分ける （PR用）（日本）特色 企業誘集地 北口：アメリカ風な町作り 南口：日本風な町作り		●●●●●●●●
道路交通	・小田急延伸を早急を実現 ・渋滞の解消		
その他のアイデア、書き残しておきたいこと			
潤水都市？（どこか） →ボールパーク構想 →メジャーリーグ風 →レンガ風 （横浜の赤レンガ風） 商店街			

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「活力・交流」中央区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	中央区4班	相模原駅前の基地について、北口、南口でエリアを分ける 北口：アメリカ風なまちづくり 南口：日本風なまちづくり	15
2位	中央区5班	専門学校の新設、福祉、農業、商業など、地元で活躍できる人材の育成	14
3位	中央区1班	相模原新名物発掘（全国PR） お土産がない	11
	中央区3班	外国人観光客向けに外国語教育・交流イベント、小・中高生観光ボランティア、外国語表記の案内	8
	中央区3班	Wi-Fi 増設、JAXA、国民生活センター見学など集客、西門の活用、観光PRをアニメーション業界へ依頼	6
	中央区2班	・商店の活用（店主の育成）、インターチェンジ付近の土地活用、人気チェーン店を増やす ・広葉樹の植林、地元農産物	5
	中央区5班	観光地の掘り起こし、道の駅の新設、既存の施設の有効活用、アピール	5
	中央区3班	買い物支援（前期高齢者、若年層の雇用をもっと広げる） ・買物代行業・訪問販売・移動スーパー・コミュニティバス	4
	中央区2班	・交通 - コミュニティバスを増便、免許返納者にタクシーチケット（企業連携）、貸出し自転車の設置 ・基地返還後の活用・若者をターゲットにした商業施設	3
	中央区1班	コミュニティバスの充実、自転車道路などの充実	1
	中央区3班	相模原ブランドの創生 ・新規の企業誘致と既存の観光資源のPR	1
	中央区4班	・シャッター商店を有効活用しシャッターを開けさせる	1
	中央区5班	リニア、小田急延伸などのハード面の整備とソフト面の整備による人が集まる相模原	1
	中央区1班	公園附帯設備のスポーツ施設の充実	0
	中央区4班	小田急延伸を早急に実現、渋滞の解消	0

(4) 中央区まとめ(区特有の意見など)

中央区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「活力・交流」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「交通アクセスの改善・強化」

コミュニティバスのさらなる利用促進のための方法についてや、小田急多摩線やリニア中央新幹線などの鉄道インフラに関する意見が多く出ています。

・「商店や商店街の振興と利便性の向上」

商店やシャッター商店の有効活用、買い物支援についての意見や、人材の育成についての意見が出ています。

・「観光振興による集客力の向上」

外国人観光客向けの観光政策などの取組みについて多く意見が出ています。

・「相模総合補給廠の活用」

相模総合補給廠の跡地利用について、まちづくりのコンセプトを検討する意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは中央区4班の「相模原駅前の基地について、北口、南口でエリアを分ける。(北口：アメリカ風なまちづくり、南口：日本風なまちづくり)」で、相模総合補給廠の返還後、どのようなまちづくりを展開していくのか、興味関心が高いことが伺えます。一方で、キーワード別に見ると「観光振興による集客力の向上」についての意見の得票数が最も多くなっており、観光地の掘り起しやブランド化といった新たな魅力の発見、観光資源の創出が求められています。また、外国人インバウンドを積極的に取り込むための多言語対応や観光ボランティア、Wi-Fiの導入といった取組みの必要性も討議されています。

中央区の意見の特徴としては、身近にある相模総合補給廠や、これから整備が予定されている小田急多摩線の延伸やリニア中央新幹線開発などについての興味関心が高く、これから大きく変化していくまちづくりに対して高い期待を持たれていることが言えます。

<「活力・交流」中央区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
交通アクセスの改善・強化	中央区 2 班	交通 - コミュニティバスを増便、免許返納者にタクシーチケット（企業連携）貸出し自転車の設置	3	5
	中央区 1 班	コミュニティバスの充実、自転車道路などの充実	1	
	中央区 4 班	小田急延伸を早急に実現、渋滞の解消	0	
	中央区 5 班	リニア、小田急延伸などのハード面の整備とソフト面の整備による人が集まる相模原	1	
商店や商店街の振興と利便性の向上	中央区 5 班	専門学校の新設、福祉、農業、商業など、地元で活躍できる人材の育成	14	24
	中央区 2 班	・商店の活用（店主の育成）、インターチェンジ付近の土地活用、人気チェーン店を増やす ・広葉樹の植林、地元農産物	5	
	中央区 3 班	買い物支援（前期高齢者、若年層の雇用をもっと広げる） ・買物代行業・訪問販売・移動スーパー・コミュニティバス	4	
	中央区 4 班	シャッター商店を有効活用しシャッターを開けさせる	1	
観光振興による集客力の向上	中央区 3 班	外国人観光客向けに外国語教育・交流イベント、小・中高生観光ボランティア、外国語表記の案内	8	31
	中央区 3 班	Wi-Fi 増設、JAXA、国民生活センター見学など集客、西門の活用、観光PRをアニメーション業界へ依頼	6	
	中央区 5 班	観光地の掘り起こし、道の駅の新設、既存の施設の有効活用、アピール	5	
	中央区 1 班	相模原新名物発掘（全国PR）お土産がない	11	
	中央区 3 班	相模原ブランドの創生 ・新規の企業誘致と既存の観光資源のPR	1	
	中央区 1 班	公園附帯設備のスポーツ施設の充実	0	
相模総合補給廠の活用	中央区 4 班	相模原駅前の基地について、北口、南口でエリアを分ける 北口：アメリカ風なまちづくり 南口：日本風なまちづくり	15	15

3. 南区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「活力・交流」南区 個人意見>

班	分野	内容
南区1班	インフラ	道路政策がよくわからない 作りかけが多すぎる
		社会インフラが古くなっている！
		交通手段のない方へのサポートをどうするか？ 助け合い、地域ネットワーク
		電線の地中化促進
	農業	朝どり野菜など産直で場所を定め販売する
		木材を利用したオリジナル産業
		農地の維持・確保
		農業従事者への支援
		空いている土地の有効活用 個別に貸し出し
	雇用	就労支援センターで企業だけでなくやってほしいことの登録
		高齢者の活用 シルバーセンター充実
		共働き世帯の支援（保育所の充実）
	他の産業	ロボット教育などの普及
		若人の空き店舗の活用
		特色のある店・サービスの公募・登録による空き店舗の活用
		特色のある産業を誘致する ロボット？半導体？
		オリンピックキャンプ地を誘致する その競技のできる宿泊ツアーを！
	南区2班	雇用/産業
在宅勤務（テレワーク）の推進 育児・介護・療養中		
主婦のキャリア再開支援（ITスキルの講習など）		
元気な高齢者の再雇用制度		
企業家・個人事業主のサポート（法人を増やす）		
研究都市を目指すまちづくり		
「働き手」の年齢の見直し		

		何を指すのか 職住近接？ベッドタウン？
		産業は製造業をより多くしていく
	スポーツ・文化	筋力保持を進める活動
	観光	民泊施設の提供（オリンピックの時）
		観光対象物が離れている、これをつなぐ何かが必要 た 例えば観光ミニバス運行
		ボランティアも良いが報酬があった方がお互いに良い・ より責任感・やりがいUP
		世話好き・人好きな人 推薦制度
	道路・交通	幹線道路の増設（多摩線）
		相模線複々線化事業
		道が狭い！行き止まり！
		新規道路より道路整備（人口 老化 ）
		小田急多摩線の実現に向けた区画整理
	その他	ベッドタウンを目指す
		ファミリー層が利用しやすい施設・制度（テニスコート が取れない！）
		空き店舗を利用した「道の駅」
		農業特産物のPR強化（やまといも）
		勝坂遺跡観光地化
南区3班	スポーツ	オリンピック・パラリンピックで海外の人を呼ぼう
		ホームタウンチームにもっとホームタウンで試合をして ほしい
		シニア・親子スポーツ大会の開催
	雇用	生産年齢人口の減少
		高齢者雇用の工夫
		就労時間の細分化
		待機での就職場所
		元気な高齢者の就労支援
		地産地消 市内に住み市内で働ける環境づくり
	基地	返還された補給廠で何をすれば良いか
		米軍の騒音対策 人口減の要因解消
		補給廠跡地の活用
		災害時物資の保管
		圏央道で近県の応援

	商業	商店会にもっとパワーを
		商店会の衰退
		全移動型商店会 小学校や空き地に商店会出張
		商業施設誘致
		愛川 IC 近くにアウトレットモールを誘致
	交通	運転免許返還時にタクシー割引カード配布
		高齢者の交通手段
		渋滞なき道路整備 生活用道路・観光用道路計画
		JR バスの割引 免許返納者の足を確保しやすくする
		相模線のダイヤ本数を増やし、通勤通学の利便性図る
		リニアで釣れるか？新産業
		道路整備 積極的な空き地・空き家所有者へのアプローチ、等価交換などの条例強化
		新交通システムの早期実現
		橋本～相模原駅間の再開発計画（住居、事務所、教育メインの複合施設）
		観光
	新たな観光スポットの創出	
	インスタ映えする景色（夜の光のファンタジー）	
	農地	空き農園の有効利用 借し農園にする
		水源を守るため必要な山の手入れ
		新たな木材利用の商品開発
相模原にない作物を植える		
放棄地対策		
南区 4 班	地元商店の発展	道の駅的市場（地産地消）
		市内農産物の駅販売
		物品交換市場の開場
		生産年齢人口を増加
		地元資本によるモール街的商店街
		地元商店街ポイント制
		高齢者の買い物支援
		日常品の自動販売機
	スポーツ	障害者スポーツ、バスケ、ラグビーなどの開催、応援・体感
		地区別対抗スポーツ大会の実施

	高齢化時代の 交通手段	オリンピックチケットについて安価で購入可能に
		コミュニティバスの拡大
		車のシェア利用
		コミュニティバスの運行
		道が混んでいなければもっとバスを利用したい
		自転車専用道路の整備
		高齢者の買い物支援 コンビニを調整
	農業	遊休農地を借り上げ大規模経営に 若い人の参入
		ボランティア農作業 手伝い(ポイント)
		子どものノラ遊び
		農地解放された土地の活用(遊休地)
	その他	オリンピックで来る外国人に何を一番アピールできるのか?
		基地跡地を子ども広場や観光地となるものに
		製造業の誘致 働き場所を増加させる
	南区 5 班	スポーツ
スポーツ会場・サテライトオフィスへの交通の充実		
スポーツイベント盛り上げによる観光		
スポーツを支える(ボランティア)		
ホームタウンチーム共通観戦ポイント		
新しく企業を 呼ぶ		相模原市で時間を使ってもら
		通勤時間を生活の時間にする(子育て・スポーツ・学習など)
		サテライトオフィスの誘致によるサービス業の充実
		基地の跡地にインフラが整ったビルをつくって企業を呼ぶ
		基地をどう使うか、公園ばかりでも?
		相模原”都民”を市民にし市内での時間を増大させる
		北里・国立病院が近いことから医療関連産業
今いる人に活 躍の場		デパートなどスーパー 高齢者が雇用されている実感
		働き手が少なくなることの不安は今実感なし
その他		道路の利用上の困難度
		広場の確保
		もっと外国人を迎える心構えを伝える
		機器の有効活用

		言葉のハードルを下げる
		オリンピックと連携し学校でのスポーツ振興

<付箋・模造紙記入例（南区3班）>



(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「活力・交流」南区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
南区 1班	農地の活用 遊休農地の運用の民活(とりまとめは公共)	オリンピックキャンプ地を誘致、 相模原のブランド化 その競技のできる宿泊ツアー!
	空き店舗の活用 特色ある店、サービスの公募・登録	
	電線の地中化 道路拡幅による自転車道の確保、景観の改善、交通渋滞の解消	
南区 2班	サテライトオフィスの創設 法人増への代替案・在宅勤務・主婦のキャリア再開支援(元気な高齢者)・起業家、個人事業主のサポート	研究都市
	観光PR ・道の駅・観光ミニバス・農産物(やまといも)のPR	
	インフラ整備 鉄道、道路	
南区 3班	交通 交通弱者の救済策 タクシーの割引制度(カード配布) 渋滞なき道路 バス専用道路整備	愛川ICの近くにアウトレット誘致
	商業 全移動型商店会 小学校や空地に商店会出張	
	雇用 高齢者雇用の工夫 就労時間の細分化 - 元気な高齢者の就労支援	
南区 4班	高齢化時代の交通手段 多目的コミュニティバスの運行 買物 BK 病院 郵便局・・・	オリンピックチケット(安価購入可能に)
	地元物産品の支援 道の駅・駅での販売(地産・地消)	
	スポーツ大会実施 地区別対抗 障害者バスケット・ラグビー開催で応援・体感する	
南区 5班	スポーツ・文化 ホームタウンチームを盛り上げる 他のイベントの同時開催(例 フリーマーケット) アクセスの問題、バス直行便があるといい!	公園には小さい子どもたちの遊具しかないので、老人の方も使用できる遊具設置
	基地 企業の誘致、企業へのサービスの充実 (相模原都民の減少)(通勤時間を生活の時間にする) 公園はたくさんある!	
	観光 コトバの壁がある(外国人)ハードルを下げる 看板設置	

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「活力・交流」南区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	南区2班	サテライトオフィスの創設 法人増への代替案 ・在宅勤務・主婦のキャリア再開支援(元気な高齢者)・ 起業家、個人事業主のサポート	14
2位	南区1班	電線の地中化、道路拡幅による自転車道の確保、景観の改善、 交通渋滞の解消	13
2位	南区4班	地元物産品の支援 道の駅・駅での販売 (地産・地消)	13
3位	南区3班	全移動型商店会 小学校や空地に商店会出張	6
	南区1班	特色ある店、サービスの公募・登録など、空き店舗の活用	5
	南区2班	道の駅・観光ミニバス・農産物(やまといも)のPR	4
	南区3班	高齢者雇用の工夫、就労時間の細分化 - 元気な高齢者の就 労支援	3
	南区4班	高齢化時代に対応した多目的コミュニティバスの運行	3
	南区1班	遊休農地の運用の民活	2
	南区5班	企業の誘致、企業へのサービスの充実	2
	南区5班	外国人観光客のコトバの壁のハードルを下げる	2
	南区2班	鉄道や道路などインフラ整備	1
	南区3班	交通弱者の救済、渋滞なき道路のためのバス専用道路	1
	南区4班	地区別対抗 障害者バスケ・ラグビーなどのスポーツ大会 の開催で応援・体感する	1
	南区5班	ホームタウンチームを盛り上げる 他のイベントの同時開催	1

(4) 南区まとめ(区特有の特徴など)

南区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「活力・交流」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「交通アクセスの改善・強化」

高齢化社会や交通が不便な地域に住んでいる方へ対応したバスや自転車道路などのインフラ整備に関する意見が出ています。

・「雇用の創出や企業誘致」

サテライトオフィスの創設や企業誘致、高齢者雇用の必要性などに関する意見が出ています。

・「観光振興による集客力の向上」

地元物産品についての支援や道の駅の活用、外国人観光客への対応について意見が出ています。

・「商店や商店街の振興と利便性の向上」

移動型商店街や空き店舗などを活用した取組みなど、新たな商業の可能性を検討する意見が出ています。

・「スポーツの振興」

障害者スポーツの振興や、ホームタウンチームの盛り上げなどに関する意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは南区2班の「サテライトオフィスの創設 法人増への代替案・在宅勤務・主婦のキャリア再開支援(元気な高齢者)・起業家、個人事業主のサポート」で、現役で活躍している参加者の方々が多いことから、サテライトオフィスのようなサービスや、主婦層や起業家や個人事業主といった多様な働き手の立場に立ったアイデアが評価されています。キーワード別で見ても、企業誘致や高齢者雇用などの多様な働き方などの意見をまとめた「雇用の創出や企業誘致」に関連する意見の得票数が多くなっています。

また、南区の意見の特徴としては、検討されている産業の幅が広く、オフィスや企業誘致に関する意見から、観光、農産品、地域物産品、商業など、多様な活力創出の舞台について意見が出ていることが言えます。また、オリンピックを契機としたスポーツの振興に関する意見が出ている点も特徴的です。

<「活力・交流」南区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
交通アクセスの改善・強化	南区 1 班	電線の地中化、道路拡幅による自転車道の確保、景観の改善、交通渋滞の解消	13	18
	南区 4 班	高齢化時代に対応した多目的コミュニティバスの運行	3	
	南区 2 班	鉄道や道路などインフラ整備	1	
	南区 3 班	交通弱者の救済、渋滞なき道路のためのバス専用道路	1	
雇用の創出や企業誘致	南区 2 班	サテライトオフィスの創設 法人増への代替案・在宅勤務・主婦のキャリア再開支援(元気な高齢者)・起業家、個人事業主のサポート	14	19
	南区 3 班	高齢者雇用の工夫、就労時間の細分化 - 元気な高齢者の就労支援	3	
	南区 5 班	企業の誘致、企業へのサービスの充実	2	
観光振興による集客力の向上	南区 4 班	地元物産品の支援 道の駅・駅での販売 (地産・地消)	13	19
	南区 2 班	道の駅・観光ミニバス・農産物(やまといも)のPR	4	
	南区 5 班	外国人観光客のコトバの壁のハードルを下げる	2	
商店や商店街の振興と利便性の向上	南区 3 班	全移動型商店会 小学校や空地に商店会出張	6	13
	南区 1 班	特色ある店、サービスの公募・登録など、空き店舗の活用	5	
	南区 1 班	遊休農地の運用の民活	2	
スポーツの振興	南区 4 班	地区別対抗 障害者バスケ・ラグビーなどのスポーツ大会の開催で応援・体感する	1	2
	南区 5 班	ホームタウンチームを盛り上げる 他のイベントの同時開催	1	

4. 「活力・交流」全体統括

全体の意見をまとめると、以下の7つの意見に分けられます。その中で最も得票数が多かったのは、「観光振興による集客力の向上」で、緑区、中央区、南区の多くの班から意見が出ています。

交通アクセスの改善・強化

どの区においてもほぼ全ての班から意見が出ており、特に、今後の高齢化社会に求められる交通手段としてコミュニティバスに関する意見が多く出ています。また、リニア中央新幹線や小田急多摩線の延伸など、今後の交通インフラの開発についても興味関心が高いことが伺えます。

農業の振興や特産品の販売などの推進

緑区で多く意見が出ており、農業の収益性を高めていくために、農作物のブランド化や収益のある農業への投資、特産品などのアピールをしていくことが求められています。また、南区からは、遊休農地に民間活力を導入して運用する提案が出ています。

観光振興による集客力の向上

どの区においてもほぼ全ての班から意見が出ており、各区で提案している観光振興の形が異なることが特徴的です。緑区では、区内の豊かな観光資源をさらに活性化させ、人を呼び込むことが提案され、中央区では、新たな観光資源を探るところから始め、インバウンドにも対応できるような戦略が検討されています。また、南区では、道の駅などを利用して地元の物産品をアピールして収益を上げていくことが検討されています。以上のように、それぞれの地域の特色を踏まえた意見が出されています。

商店や商店街の振興と利便性の向上

中央区と南区で多く意見が出ており、地域の商店を盛り上げる意見として、全移動型商店街、シャッター商店や空き店舗の活用、買い物代行業など、新たな商店のあり方について討議されています。また、地域で商売を行う店主を育成することも重要な視点として意見が出ています。

雇用の創出や企業誘致

市内企業を増加させ、活力を創出することを目指す意見が出ています。IT企業の誘致やサテライトオフィスの創設など、社会情勢に見合った産業戦略が検討されています。また、高齢者雇用や就労時間の細分化など、働き方改革に通じる意見も出ています。

相模総合補給廠の活用

相模総合補給廠の跡地利用について、まちづくりのコンセプトを検討する意見が出ています。

スポーツ振興

オリンピックを契機として、障害者スポーツの振興やホームタウンチームの盛り上げなどに関して意見が出ています。その他に、日常的に利用するスポーツ施設の充実についても意見が出ており、スポーツに取り組む機会について関心があることが伺えます。また、代表的な意見としては出ていませんが、南区の「その他のアイデア・書き残しておきたいこと」の中には、オリンピックのキャンプ誘致などに関する意見も出ています。

<「活力・交流」全体意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
交通アクセスの改善・強化	緑区 3 班	無料化など、バスの利便性の向上	7	39
	緑区 2 班	老若男女にやさしい交通網整備 集合タクシー、路線バスをつかひやすく / 渋滞解消	4	
	緑区 4 班	圏央道までのアクセス道路の整備	3	
	緑区 1 班	津久井地区への交通アクセス改善 コミュニティバス、自転車専用道路	2	
	中央区 2 班	コミュニティバスを増便、免許返納者にタクシーチケット（企業連携）、貸出し自転車の設置	3	
	中央区 1 班	コミュニティバスの充実、自転車道路などの充実	1	
	中央区 4 班	小田急延伸を早急に実現、渋滞の解消	0	
	中央区 5 班	リニア、小田急延伸などのハード面の整備とソフト面の整備による人が集まる相模原	1	
	南区 1 班	電線の地中化、道路拡幅による自転車道の確保、景観の改善、交通渋滞の解消	13	
	南区 4 班	高齢化時代に対応した多目的コミュニティバスの運行	3	
	南区 2 班	鉄道や道路などインフラ整備	1	
南区 3 班	交通弱者の救済、渋滞なき道路のためのバス専用道路	1		
農業の振興や特産品の販売などの推進	緑区 3 班	農作物のブランド化・近隣市区町村への P R	3	9
	緑区 2 班	収益のある農業や魅力ある農業への支援	1	
	緑区 4 班	道の駅で津久井町の特産品を売る	3	
	南区 1 班	遊休農地の運用の民活	2	

観光振興による集客力の向上	緑区 1 班	都市機能、自然環境を活かした大型観光施設で集客	9	70
	緑区 2 班	観光スポットを活かした地域の活性化	7	
	緑区 1 班	緑区の地域の特色を生かした自然体験	4	
	中央区 3 班	外国人観光客向けに外国語教育・交流イベント、小・中高生観光ボランティア、外国語表記の案内	8	
	中央区 3 班	Wi-Fi 増設、JAXA、国民生活センター見学など集客、西門の活用、観光PRをアニメーション業界へ依頼	6	
	中央区 5 班	観光地の掘り起こし、道の駅の新設、既存の施設の有効活用、アピール	5	
	中央区 1 班	相模原新名物発掘（全国PR） お土産がない	11	
	中央区 3 班	相模原ブランドの創生 ・新規の企業誘致と既存の観光資源のPR	1	
	南区 4 班	地元物産品の支援 道の駅・駅での販売（地産・地消）	13	
	南区 2 班	道の駅・観光ミニバス・農産物（やまといも）のPR	4	
	南区 5 班	外国人観光客のコトバの壁のハードルを下げる	2	
商店や商店街の振興と利便性の向上	中央区 5 班	専門学校の新設、福祉、農業、商業など、地元で活躍できる人材の育成	14	35
	中央区 2 班	・商店の活用（店主の育成）、インターチェンジ付近の土地活用、人気チェーン店を増やす ・広葉樹の植林、地元農産物	5	
	中央区 3 班	買い物支援（前期高齢者、若年層の雇用をもっと広げる） ・買物代行業・訪問販売・移動スーパー・コミュニティバス	4	
	中央区 4 班	シャッター商店を有効活用しシャッターを開けさせる	1	
	南区 3 班	全移動型商店会 小学校や空き地に商店会出張	6	
	南区 1 班	特色ある店、サービスの公募・登録など、空き店舗の活用	5	
雇用の創出や企業誘致市の政策強化による活力の向上	南区 2 班	サテライトオフィスの創設 法人増への代替案	14	33
	南区 3 班	高齢者雇用の工夫、就労時間の細分化 - 元気な高齢者の就労支援	3	
	南区 5 班	企業の誘致、企業へのサービスの充実	2	
	緑区 3 班	行政がやっている事、提供しているサービスを浸透させる！！	5	
	緑区 4 班	IT企業を含めたオフィスビルを建てて、企業誘致	9	
相模総合補給廠の活用	中央区 4 班	相模原駅前の基地について、北口、南口でエリアを分ける 北口：アメリカ風なまちづくり 南口：日本風なまちづくり	15	15

スポーツの 振興	南区 4 班	地区別対抗 障害者バスケ・ラグビーなどのスポーツ大会の開催で応援・体感する	1	2
	南区 5 班	ホームタウンチームを盛り上げる 他のイベントの同時開催	1	
	中央区 1 班	公園附帯設備のスポーツ施設の充実	0	

VII. 実施結果 討議6 「区民みんなの想いを共有し、地域の将来を考える」

1. 緑区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「地域の将来を考える」緑区 個人意見>

班	分野	内容
緑区1班	住みたい街 魅力ある街	子どもたちが住みたい街とする
		魅力ある街にする（活力 安らぎのバランス）
		住みたい街 自分が...子どもたちが...
		周辺自治体との差別化・魅力
	安心・安全	子ども・高齢者が一緒に過ごせる安全・安心な町・交通網
		相模原といえば...づくり
		安全・安心の住環境づくり
		防犯、犯罪
		山里地区でも安全・安心での暮らし
	つながり きずな	顔の見えるまちづくり
		多世代交流の場づくり 小地域の運動会
		高齢になっても働ける場所の提供
		身近な見守りの役割
		コミュニティ ソーシャルワーカーの増員
	津久井の課題	津久井地域の生活課題の取組み 孤立化、交通、買い物
		自然を活かした体験型テーマパークで集客・職場づくり
		農地を守り、農産物を活かした施設
		交通の便 電車、車、バス
		地産型のカフェなど
	お金	自立した市となる（リニアの始発駅となるくらいに）
市の財政・収入を増加させる！きれいごとだけは× お金が必要！		
市予算の配分見直し（人件費 福祉）		
リニア開業を市のメリットに 構想の検討、周知		
市の人口減少 市議員、市職員の人数・報酬は適正か		

緑区 2 班	なったらいい な	安全な相模原緑区
		ブランド力がある
		つながり
		高齢者にやさしいまちづくり
		住み続けたいと思える
		将来子どもが残ってくれる街
		住むところを選んでもらえる
	市民による発信(進)力	市民の個性(年齢・専門性・職業...)を活かしたまち
		住みやすいまちづくり
		市民が意見を共有できる場をつくる
		地域の良さを知る
		市民が市民へ地域の良さを伝える
		発信(進)力がある
		地域の資源を生かした観光、暮らし
		交通網を充実させる
		交通の良さ
		観光の目玉をつくる
	外部との協業	商業施設を増やし人口を増加
		ベンチャー企業の誘致
市立大学		
外部からお金を落としてもらう		
緑区 3 班	産業	リニア中央新幹線の神奈川県停車駅 橋本を中心に
		大学の誘致
		文化の薫るまち 相模原 芸術文化活動の振興
		人材の育成
		大学・高校・専門学校・カルチャースクール・スタジアム・テーマパークの新設
		相模原の特色を生かす 自然、宇宙、リニア、基地
		自然をいかしたまちづくり(津久井4町を中心として)
	コミュニティ	都市型コミュニティと農村型コミュニティの交流がある まち相模原
		ア行の会話で豊かな地域コミュニティ
		あ:「あいさつ」しよう、い:いつも「明るいね」、う: 「うれしい」、え:笑顔で、お:「おもしろいよ」
		市民みんなコミュニティのまちづくり、地区ごと

	交流	圏央道の相模原 IC で物流、人の交流も盛んになる	
		インフラは出来上がるのではと人の問題	
	高齢者	医療体制の拡充	
		介護体制の拡充	
		高齢者支援センターの充実・強化	
		老人用クラブ施設の設立など	
		高齢者比率が高くなっているため、目標を持って明るく楽しく過ごせる町へ	
	課題・人口問題	津久井 4 町の人口減対策 特に相模湖町、藤野町	
	観光	オリンピックコースのマラソン大会（ロードレース）	
		相模湖（トライアスロン大会）	
	教育	子どもたちのための教育（業務精選、時間の確保、30 人学級、地域と一帯、人材確保）	
		子どもたちがずっと住みたい相模原	
		学校施設、設備の増強	
		教育科目の充実	
		教育（小・中学校）体制（学校施設・教員）	
	将来の理想	みんなが安全・安心して住めるまちづくり	
		企業誘致による人口増と活性化（IT 産業など）緑区人口の減少に歯止めをかけるため	
	緑区 4 班	地域コミュニティ	温かい人とのつながりのある町
			地域コミュニティ活性化
まずは笑顔であいさつを！			
交通利便性		住みやすい	
		バスの利便性向上	
		橋本、リニア、津久井 巡回するコミュニティバスの運行	
		” 神奈川駅 ” にふさわしいまちづくり 交通の便をまず！	
		地盤の強さを活かした、緑区を中心にした災害対策	
働きやすさ		働きやすい	
		工場、住宅、山林に加わるビジネス街の側面 働く場所をもっと！	
		高齢者の再雇用	
		魅力ある仕事	
活力の強化		経済力 UP！住民 UP！税収 UP！	
		橋本駅を中心にした商業施設の完成	

		駅前高層ビル、イベント広場、商業施設、学校区、保育園などをつくる
		商業施設に入る業者 地域物産、若手芸術家・アートによる販売
		観光資源を活かした設備
		外部からいかに人を呼び込むか！？
地域の魅力発信		農産物ブランド
		日本中が注目する観光スポットのある町
		農林業、特産品の面で”相模原といえば！”がほしい

<付箋・模造紙記入例（緑区2班）>



(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「地域の将来を考える」緑区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
緑区1班	子どもたちが住みたい街 (高齢者ボランティアによる子ども支援) 津久井の活性化 例:地産型カフェ、そば 財政自立 (市財政への関心)	相模原といえば、(キーワードづくり) 地域活動への自主的積極的参加
緑区2班	市民による発進(信)力 地域の良さを知る、市民が意見を共有できる場 外部との協業 商業施設、ベンチャー企業、市立大学 なったらいいな 将来子どもが残ってくれる、住みたいと思える街	市全体のつながり 安心安全 ブランド力 交通網の充実
緑区3班	相模原の特色を生かし、活性化した産業と文化の薫る町 ~大学、高校、専門学校、カルチャースクール、工場誘地、自然体験、芸術文化活動の振興 地域コミュニティの盛んな町をめざして!! ~あいさつ運動、都市型と農村型の交流、老人用クラブ施設、地域ごとに老若男女交流 子どもたちのための教育の充実 ~学校施設の整備・充実、教育の増強、現場の時間確保、30人学級、業務の精選、ボランティア	・圏央道の相模原ICでの物流 ・交通の整備 ・オリンピックにむけてロードコースでのマラソン大会や相模湖でのトライアスロン大会など。
緑区4班	相模原と言えば をつくる!! 商業施設、イベント広場、農作物ブランド化、観光スポット 住みやすく、産みやすいまち”相模原” バスの利便性向上、地域コミュニティの活性化、子育て支援、地盤の強さを活かした災害対策 働きやすいまち”相模原” 高齢者の再雇用、寺子屋の運営、働く場所の創造	・ボランティア活動でまちおこし!! ・足で歩いてもっと地域を知る ・笑顔であいさつを!! ・友人間でも特産を広める ・地域イベントへの積極的な参加!!

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「地域の将来を考える」緑区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	緑区4班	相模原と言えば をつくる！！ 商業施設、イベント広場、農作物ブランド化、観光スポット	10
2位	緑区3班	相模原の特色を生かし、活性化した産業と文化の薫る町	8
3位	緑区2班	市民による発進（信）力 地域の良さを知る、市民が意見を共有できる場	7
3位	緑区1班	津久井の活性化	7
	緑区3班	子どもたちのための教育の充実	6
	緑区1班	子どもたちが住み続けたい街 （高齢者ボランティアによる子ども支援）	5
	緑区2班	外部との協業 商業施設、ベンチャー企業、市立大学	4
	緑区4班	住みやすく、産みやすいまち”相模原” 交通・コミュニティ・子育て・災害対策	4
	緑区4班	働きやすいまち”相模原” 高齢者の再雇用、寺子屋の運営、働く場所の創造	3
	緑区1班	市財政への関心を持ち、財政自立をめざす	1
	緑区2班	将来子どもが残ってくれる、住みたいと思える街	1
	緑区3班	地域コミュニティの盛んな町をめざして！！	1

(4) 緑区まとめ(区特有の特徴など)

緑区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「地域の将来を考える」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「発信力のある街」

地域のブランド化や市民自身が地域の良さを知り、発信することなどについて意見が出ています。

・「子育てしやすい街」

教育の充実を図り、その後も子どもたちが相模原市に住み続けたいと思い、地域に残ってくれるような街を目指すことについて意見が出ています。

・「商業・産業の盛んな街」

地域の特色を生かした街づくりや外部との協業などによって積極的に産業を盛り上げていく意見が出ています。

・「地域コミュニティが活発な街」

これまでの討議を総括し、生活のしやすさや暮らしやすさのために地域コミュニティを活性化させ、その中で暮らしていくことが検討されています。

・「財政の自立した街」

市の財政について市民自らが関心を持ち、財政自立を目指していくことが討議されています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは緑区4班の「相模原と言えば　　をつくる！！商業施設、イベント広場、農作物ブランド化、観光スポット」で、これまでの討議を踏まえて相模原らしさとは何なのかを改めて問い、相模原と言えばこれであると対外的にアピールできるものをつくる必要があるという意見に多くの共感が得られています。キーワード別に見ると、「商業・産業の盛んな街」に関連する意見の得票数が多く、商業や産業に相模原らしさの可能性を感じている方が多いことが伺えます。

緑区の特徴として、豊かな資源を多く有するため、既存の強みや特色をさらに強め、発信していくことが様々な分野において討議されています。また、財政の自立について意見が出ており、市政へ任せきりになるのではなく、市民自らがまず関心を持つことで将来の財政自立につなげようという目標が立てられています。

<「地域の将来を考える」緑区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
発信力のある街	緑区 4 班	相模原と言えば をつくる！！ 商業施設、イベント広場、農作物ブランド化、観光スポット	10	17
	緑区 2 班	市民による発進（信）力 地域の良さを知る、市民が意見を共有できる場	7	
子育てしやすい街	緑区 3 班	子どもたちのための教育の充実	6	12
	緑区 1 班	子どもたちが住み続けたい街 高齢者ボランティアによる子ども支援	5	
	緑区 2 班	将来子どもが残ってくれる、住みたいと思える街	1	
商業・産業の盛んな街	緑区 3 班	相模原の特色を生かし、活性化した産業と文化の薫る町	8	22
	緑区 1 班	津久井の活性化	7	
	緑区 2 班	外部との協業 商業施設、ベンチャー企業、市立大学	4	
	緑区 4 班	働きやすいまち”相模原” 高齢者の再雇用、寺子屋の運営、働く場所の創造	3	
地域コミュニティが活発な街	緑区 4 班	住みやすく、産みやすいまち”相模原” 交通・コミュニティ・子育て・災害対策	4	5
	緑区 3 班	地域コミュニティの盛んな町をめざして！！	1	
財政の自立した街	緑区 1 班	市財政への関心を持ち、財政自立をめざす	1	1

2. 中央区

(1) 各班の個人意見(付箋に記載した内容)

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「地域の将来を考える」中央区 個人意見>

班	分野	内容
中央区1班	シニア世代がエンジョイする街	老人クラブのあり方 共生、コミュニティ、子どもと高齢者
		高齢者福祉 全国に知れ渡る相模原
		スポーツで相模原市をアピール
		高齢者の趣味・特技を地域活動に生かす
		観光産業
		基地の使い方
		あじさい大学のカリキュラムの充実
		高齢者への情報提供
		高齢者が外に出たくなる企画
		子育て支援
		教育
		子どもが誇れる相模原
		貧困対策
		現状の老人クラブは殆ど80歳以上、せめて70代の元気な方も主になって「いきいきクラブ」のようになっている、皆に会いたくなる!
		高齢者が楽しい街
		空き家スペース活用 子どもの面倒を見る
		高齢者と若い世代の交流の場提供
		交流しやすい地域で子どもや他の人と気軽に
		高齢者との小学生のコミュニケーション
		歩いて安心 防犯・交通安全
	近くて便利、バス停・病院・ショッピング	
	散歩をして休めるベンチの増設	
	教育	低所得者でも受けることができる塾
	産まれた赤ちゃんにプレゼント さがみんのベビー服、ベビー食	

		プレゼントは市で用意し民生委員・児童委員が渡す
		子どもが誇れる相模原
		子育てしやすい(相模原で産みたい)まちづくり
		出産・医療・教育無償化
		学力向上支援
		外国人教師増 英語以外
		クラブ活動(学校外)教師の負担減
		成績のいい子ばかりが入る学校(高校・大学)ではなく 何か一つでも秀でている子にも光が当たる制度になっている
中央区 2 班	教育	付加価値の高い分野 情報、IT、ロボット
		学力の格差をなくする屋外学習
		貧困 すべての子どもが学びたいことを学べる町にする
	コミュニケーション	コミュニケーションツール 市民の様々な問題解決の力になる自治会
		人口減少に伴い雇用の促進 高齢者、障害者の買い物代行コミュニティバス
	まちづくり	東京都相模原市になったらいいね!(お金があるから)
		住みやすい街 NO.1 を目指す!(災害"0"の町)
		子どもと老人にやさしい町 出産費用、葬儀費用0の町
		市の認定されているマーク付のベンチ
		市民間の交流による活気ある都市
		少子高齢化と逆になる区へ 外からの若者の呼び込み
		ベンチを町のあちこちに設置し、周囲に花を置く
		リーダー的な市へ 新しい政策をどんどん行って成功していく市
		新しいアイデアを柔軟に取り入れる アニメや人気コンテンツ、IT など
		B 級グルメ おいしいもの博 朝市みたいな
		若者が年寄りになっても住み続けたい町に
		インスタ映え おしゃれなフード
		潤水都市×明るい町 おしゃれで活気のある商店が多くある
	その他	広報をうまく 意識改革 ボランティア
		空間 手続きが簡単

中央区 3 班	人口増	人口が増える方法を考える
		人口増加
		活力ある相模原 基地返還後の有効利用、企業
		他市に負けない充実の補助制度
	子育て	子育てのしやすいまち
		斬新な教育制度
		安全・安心な子育て・教育
	交流	各世代間の交流を盛んにする 対面・SNS 活用
		米軍基地との連携
		交流・コミュニケーションによって 雇用、子育て支援、空き家活用などにつながる
		気軽に声掛けのできる町
		外国人との交流を盛んにする
		障害者との交流を盛んにする
		ボランティアの育成
		コンパクトな町
	中心市街地を活性化	
	歩かせることで健康的に	
	交通事故を減らす	
	街ににぎわいをつくる	
	相模原駅を中心に集約化	
	シニアが気持ちよく暮らせるまち	
	×サービスの拡散 サービスのコンパクト化	
	コンパクトな町づくり	
	交通	車を使わない 歩いて暮らせる町(相模原が平地のため)
		交通インフラの再構築 ミニバスや自転車
		安心できるまち 災害・事故が少ない
		明るい空間(街灯など、安全面)・開けている空間(オープンスペース)
環境	市の特徴を活かす	
	湖・川・山・緑 豊富な自然を活用	
	観光に来てみたいまち(自分たちも含めて)	
中央区 4 班	PR する材料	JAXA、国民生活センター、プレジャーフォレスト、ダム
		道路のバリアフリー(自転車、車いす)

		自然と調和した街でありたい
		魅力あるものとしてのコンテンツの充実 観光の目玉の構築
		PR を効果的にやる
		若い世代も楽しめる魅力を PR
	資本	商業地域の活性化、魅力ある都市（他にはないもの）
		商業（衣、食）の魅力あるものを誘致 for 若者、高・大学生の地産地消
		企業・起業誘致
		活気ある相模原 企業誘致による産業（物流拡大） 雇用の税増大 社会保障
		都心とのつながりを近くするため、リニア・小田急の早期延伸
		相模原の特色の創設(潤水以外で) 税収があがるような？
		活気のある相模原へ リニア・小田急線・京王 相模原の交通網を利点に人の誘致
		空き家・空き団地・米軍返還地を住宅とし、働き手に住んでもらう、または企業誘致
		活気ある相模原 基地跡地の有効 海外富裕層向けの病院 海外富裕層の方が観光に
		かぎっ子がいたら親が帰るまで預かれる隣近所
		挨拶のできる町づくり
		防災訓練など町中が参加できる
	人	共生
		人口を増加させる住民や観光客や企業
		人不足対策として、高齢者、外国人、障害者、女性の活用
		相模原への流入を！
		子育てしやすい、働きやすい、高齢者が暮らしやすい人が集まる
		活気ある相模原 子育て世代への優遇 子育て世代が働きやすい環境づくり
		教育の無料化
		義務教育に関わる無償化の支援 給食費、修学旅行
		児童の医療費無料化（出産含む）

		医療が充実し、子どもも高齢者も健康な都市
		地域コミュニティが確立され、安心と安全が実感できる
		障害、高齢者とのコミュニティ ななめの交流(子ども)
		若者、ひきこもり 必要とされることの充足
		自治会の充実化 多くの人・若者の参加、知恵パワーを街に反映
		いろいろな年代の人が交流できる助け合える相模原
		安心して年をとれる町相模原 介護・医療の充足した形
中央区 5 班	環境	お年寄りが済みやすい街 (お金の面、生活の面)
		精神的に豊かな街
		治安が良いそれなりに生活ができて家族の絆が良い
		他の人の気遣いが解る
		健康は自分で管理 医者にまかせない
		生活の自立・援助する内容 作業所 など
		公園管理はいつもきれいにするには巡回まめにしてほしい
		該当や道路整備がしっかりされていて生活しやすい環境
		犯罪が減少して安心して生活できる
		住民みんなが笑顔で明るくて治安が良いまち
	安心・安全 HAPPY な相模原	
	リニアモーターカーや商業施設など魅力あふれる楽しい環境客が増えにぎやかになる	
	子ども	子どもが増え安心して生活できる
		子育て支援が充実した町
		子どもが増えて明るくなる(活性化)
		教育施設での設備が充実している
	子どもと高齢者	学歴で評価せずに実施的に物事を解決できる人材の育成
		区長と話し合える場を作ってほしい(例、公民館に来て)
		風通しが良い(コミュニケーション)地域(自治会)
子どもたちからお年寄りまで交流できている		
市民同士が助け合える環境		
市からの補助やクーポンが配布されている		
困っている人の情報 助けたい人のニーズのバランスが取れている社会		

		<p>社会における自分の役割を意識して生きていけるように意図付けする</p> <p>元気な学生などのボランティアなどによって住民の方を助ける</p> <p>若い人のボランティアも必要である 特に男性</p>
	高齢者	<p>高齢者が増えても、居場所や参加できる講座増！！</p> <p>地域のイベントなどで色々な人と交流できる</p> <p>高齢者にやさしい町づくり</p> <p>コミュニティバス利用</p>

<付箋・模造紙記入例（中央区3班）>



(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「地域の将来を考える」中央区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
中央区1班	<p>シニア世代がエンジョイできる街！！ SAGAMIHARA ハード 安全・安心(防犯・交通安全) 利便性アップ(ベンチ、コミュニティバス充実)カメラ 自転車ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ若返り(市のバックアップ) ・子どもたちとの交流の場づくり(趣味や特技を子どもたちへ) ・あじさい大学カリキュラムの充実! <p>オギャー! ~ジュニア世代がハッピーになれる街 SAGAMIHARA 子育て支援(出産時プレゼント~教育・医療費中学校まで無料)</p>	<p>シニア世代との交流の場づくり (空き家活用・・・一緒に遊ぼう!) 子ども一人ひとりの能力を伸ばせるシステム(高校一芸入試)</p>
中央区2班	<p>まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なイベントの交流(朝市、B級グルメ)、インスタ映えするおしゃれなフード ・市に認定されているマーク(ベンチ)を町のあちこちに置き日常的交流を図る リサイクル品のベンチ市に新しく外の人を呼ぶ!若い人の流出を防ぐ <p>コミュニケーション</p> <p>地域交流(高齢者、若者、外国人) 勉強、おしゃべり、相談、カフェみたいな 空き家を簡単に利用出来る仕組みをつくる(自治会にコミュニケーションツールを導入する アプリ) 新しい近所づきあいの場をつくる</p> <p>教育</p> <p>学びたい人と教える人を結びつける(子育て、英会話、プログラム、パソコン、スマホなど) 市民全体のレベルアップ 自治会に使ってもらう</p>	-
中央区3班	<p>コンパクトな町「相模原駅のブランド化」・・・誰もが知っている!相模原</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相模原駅を中心に活性化 ・シニアが気持ちよく住めるシニア向けタウンの設立 <p>交流ができる町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人との交流 - 米軍基地の方との交流・・・「アメリカタウン」 跡地を海外風なまちづくり 横浜の赤レンガのような ・「SNSを使った新しい交流の仕方」 <p>「子育てタウン相模原」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市に負けない斬新な教育制度や支援制度(相対比較で負けない!!) ・豊かな自然を生かした子育て・・・潤水都市を生かした! 	-

中央区 4班	<p>「人」 ・子育て 教育 無償化 医療 富裕層への魅力ある 医療サービス、美容 各世代間交流（ナナメを含む） ・地域コミュニティの確立</p>	-
	<p>「モノ」 （今ある）・コンテンツ JAXA、ダム ・インフラ整備 道路のバリアフ リー化</p>	
	<p>「モノ」 （未来） ・鉄道 企業、起業の助成 ・商業誘致 若者世代の 魅力UP</p>	
中央区 5班	<p>行政・財政の充実 リニア、商業施設 観光収入・特産物 などによる収入 子育て支援の充実</p>	地域からの意見を取り入れる目 安箱の設置
	<p>子どもと高齢者を守る ボランティア 異年齢交流イベント 市からの補助特典 自治会への参加</p>	
	<p>くらしやすい相模原 街灯 住民みんな笑顔で 防犯カメラの設置 明るく治安が良い町</p>	

<ワークシート記入例（中央区5班）>

発表用ワークシート

班名	中央区 5班	メンバー名	小方、松浦、平野、田中、黒崎
テーマ	相模原の将来		22
班でまとめた意見（重要なもの3つ）			投票欄
<p>リニア、商業施設など による収入</p>	<p>行政 財政の充実</p>	<p>観光収入 特産物</p>	<p>子育て支援 の 充実</p> <p>●●●●●</p>
<p>ボランティア（学生etc） 市からの補助特典</p>	<p>子供と 高齢者を守る</p>	<p>異年齢交流（イベント） 自治会への参加</p>	<p>●●●●●</p>
<p>街灯、防犯カメラ の 設置</p>	<p>くらしやすい相模原</p>		<p>住民みんな笑顔で 明るく 治安が良い町</p> <p>●●●●●</p>
<p>その他のアイデア、書き残しておきたいこと ・地域からの意見を取り入れる目安箱の設置</p>			

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「地域の将来を考える」中央区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	中央区1班	シニア世代がエンジョイできる街！！SAGAMIHARA	12
2位	中央区3班	コンパクトな町「相模原駅のブランド化」 相模原駅を中心に活性化し、シニアが気持ちよく住めるシニア向けタウンの設立	10
2位	中央区5班	行政・財政の充実 リニア・商業施設などによる収入 観光収入・特産物・子育て支援の充実	10
3位	中央区4班	教育の無償化、医療サービスの充実などによる人づくり	8
	中央区5班	子どもと高齢者を守る ボランティア・市からの補助特典 異年齢交流イベント・自治会への参加	7
	中央区2班	空き家を活用した地域交流などで新しい近所づきあいの場をつくる	6
	中央区3班	交流ができる町 ・外国人との交流 - 米軍基地の方との交流 ・「SNSを使った新しい交流の仕方」	6
	中央区2班	学びたい人と教える人を結びつけ、市民全体のレベルアップ	5
	中央区5班	くらしやすい相模原 街灯・防犯カメラの設置、住民みんな笑顔で明るく治安が良い町	4
	中央区2班	定期的なイベントの交流や市のブランド化を図り、市に新しく外の人を呼ぶ！若い人の流出を防ぐ	3
	中央区4班	企業、起業の助成、鉄道、商業誘致によって若者世代の魅力をUPする	2
	中央区1班	・老人クラブ若返りや子どもたちとの交流の場づくり ・あじさい大学カリキュラムの充実！	0
	中央区1班	オギャー！子育て支援によってジュニア世代がハッピーになれる街 SAGAMIHARA	0
	中央区3班	他市に負けない斬新な教育制度や支援制度、豊かな自然を生かした子育てを実現した子育てタウン相模原	0
	中央区4班	JAXA やダムのコンテンツの強化、インフラの整備	0

(4) 中央区まとめ(区特有の特徴など)

中央区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「地域の将来を考える」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「**シニア世代が活躍できる街**」

シニア世代(高齢者世代)が退職後も活躍し、楽しめるまちの姿について意見が出ています。

・「**子育てしやすい街**」

討議4「子ども・子育て」で出た意見をまとめ、教育の無償化や地域ぐるみでの子育ての必要性などについて意見が出ています。

・「**競争力のある街**」

討議5「活力・交流」で出た意見をまとめ、市のブランド化や起業支援、商業誘致、既存資源の活用などを通して交流人口や転入人口を増やしていくことについて意見が出ています。

・「**地域コミュニティが活発な街**」

新しい交流の形に着目し、空き家を利用した交流の場の形成や、外国人との交流機会の創出、SNSを用いた交流の仕方などについて意見が出ています。

・「**安全・安心な街**」

討議1「安全・安心」で出た意見をまとめ、街灯、防犯カメラの設置、住民みんなで安心な街を形成していくことについて意見が出ています。

・「**財政の自立した街**」

リニア中央新幹線や商業施設などの、今後の大規模な開発を見据え、財政を充実させていくことについて意見が出ています。またそこで得た収入を市民サービスに還元していくことが求められています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは中央区1班の「シニア世代がエンジョイできる街!! SAGAMIHARA」で、シニア世代が積極的に盛り上がり活力を得ていくことで地域全体の活力を底上げし、地域での子育てまでつなげていくという点で多く票を集めました。キーワード別で見ても、同様に「シニア世代が活躍する街」に関連する意見の得票数が多くなっており、活力の源としてシニア世代がもう一度頑張っていくことが目標として考えられています。

中央区の意見の特徴としては、全般に教育へつなげるための取組みが多く検討されており、高齢者の活躍、競争力の強化、地域コミュニティの形成、財政の自立など、様々な意見の多くが若者世代や子どもたちへの支援に繋がっていることが言えます。

<「地域の将来を考える」中央区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
シニア世代が活躍できる街	中央区 1 班	シニア世代がエンジョイできる街！！ SAGAMIHARA	12	22
	中央区 3 班	コンパクトな町「相模原駅のブランド化」 相模原駅を中心に活性化し、シニアが気持ちよく住めるシニア向けタウンの設立	10	
	中央区 1 班	・老人クラブ若返りや子どもたちとの交流の場づくり ・あじさい大学カリキュラムの充実！	0	
子育てしやすい街	中央区 4 班	教育の無償化、医療サービスの充実などによる人づくり	8	15
	中央区 5 班	子どもと高齢者を守る ボランティア・市からの補助特典 異年齢交流イベント・自治会への参加	7	
	中央区 1 班	オギャー！子育て支援によってジュニア世代がハッピーになれる街 SAGAMIHARA	0	
競争力のある街	中央区 2 班	定期的なイベントの交流や市のブランド化を図り、 市に新しく外の人を呼ぶ！若い人の流出を防ぐ	3	5
	中央区 4 班	企業、起業の助成、鉄道、商業誘致によって若者世代の魅力を UP する	2	
	中央区 3 班	市に負けない斬新な教育制度や支援制度、豊かな自然を生かした子育てを実現した子育てタウン相模原	0	
	中央区 4 班	JAXA やダムコンテンツの強化、インフラの整備	0	
地域コミュニティが活発な街	中央区 2 班	空き家を活用した地域交流などで新しい近所づきあいの場をつくる	6	17
	中央区 3 班	交流ができる町 ・外国人との交流 - 米軍基地の方との交流 ・「SNSを使った新しい交流の仕方」	6	
	中央区 2 班	学びたい人と教える人を結びつけ、市民全体のレベルアップ	5	
安全・安心な街	中央区 5 班	くらしやすい相模原 街灯・防犯カメラの設置、住民みんな笑顔で明るく治安が良い町	4	4
財政の自立した街	中央区 5 班	行政・財政の充実 リニア・商業施設などによる収入 観光収入・特産物・子育て支援の充実	10	10

3. 南区

(1) 各班の個人意見（付箋に記載した内容）

討議テーマに関する情報提供後、地域の課題と感じたこと、解決に向けて取り組むべきことなどについて、各自付箋に書き出しました。

各班の個人から出た意見一覧は以下のとおりです。

<「地域の将来を考える」南区 個人意見>

班	分野	内容
南区1班	地域の将来	よろずや相談所（人）
		子どもだけではなく大人も「教育」 正しい知識、その吸収
		安全・安心で生活できる相模原に！ ・天才に強い相模原・福祉に強い相模原・子育てにやさしい相模原
		知らないコトが多い ・なんでもうのみにしすぎ（医療教育）・防災
		安全・安心の相模原 世代を超えた運動、全ての人楽しく
		世代を超えて交流のできる街
		市の広告代理店 市内市外へ集約と拡散
		10年後の自分 しっかり歩け走れる後期高齢者
		一人ぼっちになる人がいない
		地域の中で憩える場 3世代交流できる環境
		楽しい事がたくさんある（イベント、公園、商店）
		コミュニティの充実
		健康に生活するために食 ・地産地消・支援に頼らない生活 自分の力で稼ぐ 新たな仕事づくり（支援なくとも）
		「やりたい」と思う人が輝く場所づくり 得意なコトで活躍する高齢者 少しだけ働きたい子育て 母の活躍できる場所
		食文化、生活文化を高める
		新たな観光づくり
		電気が止まったら自転車発電でパソコン充電
		高齢者の活用

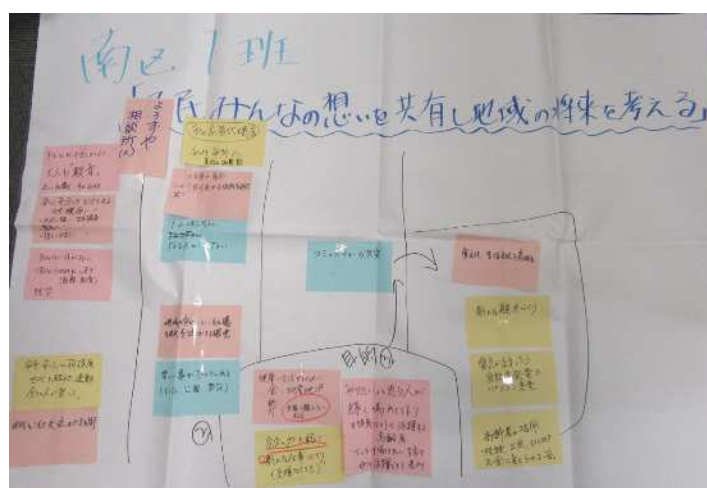
		・経験、工夫、ひらめき、お金にかえられる筈
南区 2 班	教育	JAXA
		北里大学
		日産
		デザイン業
		やまといも
		一步進んだ市づくり
		高度情報化都市
		得意な産業を伸ばす
		研究学園都市
		教育 小・中学校のクラスを細分化 普通に加えて国際、産業、IT
		子ども保育園の質向上・増設
		ユニコムプラザの発展
		ユニコムプラザ IT 企業の誘致
		健康・医療
	高齢 介護をしやすい街、福祉の充実	
	健康に関するセミナーやワークショップ	
	社会保障削減	
	医療 自分の身は自分で守る 予防医学の定着	
	市民の健康に対する意識を高める	
	支援・サービス	子育て支援
		介護福祉のサービス提供
		サービスの運用を上手く
		過剰サービスのない相模原
		スウェーデン（北欧）のような都市
		参加しやすい
		助けてほしい時に助けて
		わかりやすい相模原
		無理なものは市民に任せる
		その他
	地産、地消の実現	
	地域に根ざした暮らし	
	リニア中央新幹線 橋本駅が潤っている	
	学力の挽回	

		道路（人、福祉、車、バス） 電線類地下
南区 3 班	職住近接	人と人とのつながりが強い町
		企業と住宅（生活）の共有 土地の多い利点を活かす
		相模原市の人口増加 （子育て環境の充実）
		ベットタウンとして
	交通	自転車利用の充実
		市内を結びつけるバスや新しい交通手段 （自動運転、タクシー）
		交通の充実
		コミュニティバスの確立
	教育	教育の充実 JAXA,大学 子ども、大人、高齢者より学びやすく、開かれた ものに
		宇宙について専門・特化した大学・学校
		能力、学歴の高い地域
		充実した教育環境
	コミュニティの強化	年代・性別・国籍 大小を問わない広く多いコミュニティ
		コミュニティ同士が密につながりがなくてもいい
		何かあった時に連動できる体制
		個だけでなく集団で強い町
	その他	高齢者が生きがいある地域づくり
		子育て世帯への充実した補助
		70才以降の3日勤務
		医療の充実
女性に安心、安全の街		
オフィス地区（橋本）リニアの開通		
工業 現状の中小企業の定着		
商業地区（大野）小田急線の活用		
一人暮らしの人も入りやすい		
南区 4 班	コンパクト 効率的 自	全国から見学に来るようなユートピアまちづくり ・安全・安心は自ら守る・市にあまり依存しない

	給自足	自己責任
	誇れる街	「相模原」ブランドの確立
		「 で有名な～」国民共通のイメージ
		子どもが独立しても住み続けたいと思う街
		やりたい事ができる環境がある
		物価が安い
		知的水準が高い
	地域コミュニティ	犯罪件数が少ない
		地域コミュニティの充実
		安心して健康的で充実した生活ができる
	地域内の世代間交流を活発に	地域のコミュニケーションが図れる地域
		高齢者、子どもにやさしい社会
		子育てが楽しくなる地域
南区 5 班	心世代を超えて笑顔で交流	高齢者が安心して生活できる地域
		高齢者の雇用が活発になっている
		挨拶・笑顔のある地域
		楽しい場所づくり、イベントなど
		健康で気持ちの元気な人が多いといいな
		児童館・センター・児童相談所・学童でのボランティア増加
		自由な発想ができる子どもたちの育成
		自治会などを通してボランティアへの参加
		世代間交流を活発に
		高齢者が安心して暮らせるコミュニティづくり
	安心 = 良いご近所 近いせまめの交流 顔見知りくらい	
	自らも良いご近所に	
	病院が良い 充実している	
	街都市と緑の調和	都会と田舎のバランス
		健康年齢を高めるための支援
		緑を多く
		農地維持
		農産物重視
		農地環境保護
		地域で希望する方々への農地貸出
インフラ充実		
公園充実		

住みたいと 思われる地 域社会へ	自然環境
	80万人都市を目指して
	目指せ人口増加 なんにしろ住民不在では何も始まらない
	高齢者も子どもも多い
	転入者を増やそう！！ / 学校 / 充実
	住民税を減らす（財源確保） 企業・産業誘致 観光の促進
	出生率を上げよう！ 参加関連を充実させる 子育て、教育関連の負担減
	サテライトオフィスをつくる
	便利な相模原（交通、暮らし） ・家の近くで働ける・働く以外のこともできる・市外へのアクセスがいい
	生活保護家庭の解消
	コンパクトで継続的なサービス 医療・介護・教育など
	就労困難者への支援 子育て世代への保育支援
その他	住みたいと思う街

<付箋・模造紙記入例（南区1班）>



(2) 各班の討議結果(ワークシートに記載した内容)

書いた付箋を紹介しながら模造紙に貼り出して討議し、討議で出た意見を模造紙・発表用ワークシートにまとめながら、班としての考えを集約しました。

各班でまとめた意見の一覧は以下のとおりです。

<「地域の将来を考える」南区 ワークシートの意見>

班	班でまとめた意見	その他のアイデア・書き残しておきたいこと
南区1班	<p>よるず相談窓口 ・子育て、医療、教育、介護 すべての困りごとの相談窓口</p> <p>支援に頼らない ・一人一人が自立した生涯の実現</p> <p>相模原の東国原さん 大好き相模原と言えるまちづくり</p>	<p>無関心をなくす仕組み 住む人がしあわせだと感じる</p>
南区2班	<p>教育 「得意な産業を発展させ豊かな街に」 産業 ”産学連携”ユニコムプラザを有効活用</p> <p>健康 「健康長寿の街に」健康・福祉に関するセミナーやワークショップの開催</p> <p>医療 ”予防医学の定着”</p> <p>分かりやすい街に 相模原と市民が協力する</p>	-
南区3班	<p>住んでみよう勤住相模原 ・女性に安全・安心の街 ・オフィス地区整備</p> <p>宇宙大学創設 ・JAXA との連携(公開講座)</p> <p>人と人とのつながりが強いまちづくり</p>	-
南区4班	<p>「相模原」ブランドの確立 子どもが独立しても住み続けたいと思う街 例)・知的水準が高い ・物価が安い ・医療機関が充実 ・犯罪件数が少ない</p> <p>地域コミュニティ(世代間の交流)をより活発にする仕組みの整備!</p> <p>全国から見学に訪れるような「理想のモデルタウン」の建設 例)・コンパクトで効率的 ・自給自足 ・行政に依存しすぎない街</p>	-
南区5班	<p>働く場の多い相模原 ・サテライトオフィスを提案 ・企業誘致 ・高齢者雇用、短時間労働</p> <p>世代を超えて笑顔で交流 世代間交流を活発に、ボランティア参加 ・笑顔で挨拶 ・学び続ける都市相模原</p> <p>街と緑の調和 ・緑を多く、公園の整備、地産地消 ・アクセスが良好 ・研究都市</p>	<p>80万都市を目指して</p>

(3) 投票結果

模造紙や発表用ワークシートを使って、各班のまとめた意見の発表を行いました。参加者は、互いに各班の発表を聞き、共感したり、良いと感じた意見に投票しました。投票結果は以下のとおりです。

<「地域の将来を考える」南区 投票結果>

順位	班	班でまとめた意見	票数
1位	南区1班	子育て、医療、教育、介護などすべての困りごとのよろず相談窓口	14
2位	南区3班	住んでみよう勤住相模原 ・女性に安全・安心の街・オフィス地区整備	8
2位	南区4班	「相模原」ブランドの確立 子どもが独立しても住み続けたいと思う街	8
3位	南区2班	「得意な産業を発展させ豊かな街に」 産業 ”産学連携” ユニコムプラザを有効活用	7
3位	南区5班	働く場の多い相模原 サテライトオフィス、企業誘致、高齢者雇用、短時間労働	7
	南区5班	世代を超えて笑顔で交流 世代間交流を活発に、ボランティア参加・笑顔で挨拶・学び続ける都市相模原	6
	南区1班	支援に頼らない、一人一人が自立した生涯の実現	5
	南区3班	JAXA との連携、宇宙大学創設	5
	南区2班	「健康長寿の街に」健康・福祉に関するセミナーやワークショップの開催”予防医学の定着”	4
	南区1班	相模原の東国原さん 大好き相模原と言えるまちづくり	2
	南区5班	・緑を多く、公園の整備、地産地消・アクセスが良好・研究都市	2
	南区2班	相模原と市民が協力する分かりやすい街に	1
	南区3班	人と人とのつながりが強いまちづくり	1
	南区4班	全国から見学に訪れるような「理想のモデルタウン」の建設	1
	南区4班	地域コミュニティ(世代間の交流)をより活発にする仕組みの整備!	0

(4) 南区まとめ(区特有の特徴など)

南区の意見を整理した結果は以下のとおりです。

「地域の将来を考える」に関するキーワード

各班から出た意見を整理し、見えてきたキーワードは以下のとおりです。

・「**商業・産業の盛んな街**」

討議5「活力・交流」で出た意見をまとめ、サテライトオフィス設置や企業の誘致だけでなく、オフィス地区の整備や産学連携、JAXAとの連携など、幅広く産業について意見が出ています。

・「**多世代が暮らしやすい街**」

子育てや高齢者支援についてまとめられており、1人1人の自立の必要性やその上で必要な支援の体制について意見が出ています。

・「**競争力のある街**」

市のブランドの確立や、キーマンづくり、地域の資源を生かした取組み、モデルタウンとしての成長の必要性などについて意見が出ています。

・「**地域コミュニティが活発な街**」

人と人のつながり、市と市民のつながり、世代間のつながりなど、地域の中での密なコミュニティの大切さについて意見が出ています。

意見の全体的な傾向・特徴

最も得票数が多かったのは南区1班の「子育て、医療、教育、介護などすべての困りごとのよろず相談窓口」で、市民主体で地域によらず相談窓口を設置し、生活の中の悩みごとや困りごとを地域の力で解決していくことについて、多く共感を得ていました。

また、南区の意見の特徴として、産業への関心が高いことが言え、キーワード別で見ても「商業・産業の盛んな街」に関連する意見の得票数が多くなっています。特に、サテライトオフィスの設置や企業の誘致だけでなく、オフィス地区の整備や産学連携、JAXAとの連携、高齢者雇用、短時間労働など、ハードとソフト両面の整備によって様々な産業施策が検討されていることも他の区にはない特徴となっています。

<「地域の将来を考える」南区 意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
商業・産業が盛んな街	南区 3 班	住んでみよう勤住相模原 ・女性に安心安全の街・オフィス地区整備	8	27
	南区 2 班	「得意な産業を発展させ豊かな街に」 産業 ” 産学連携 ” ユニコムプラザ を有効活用	7	
	南区 5 班	働く場の多い相模原 サテライトオフィス、企業誘致、高齢 者雇用、短時間労働	7	
	南区 3 班	JAXA との連携、宇宙大学創設	5	
多世代が暮らしやすい街	南区 1 班	子育て、医療、教育、介護などすべての の困りごとのよらず相談窓口	14	23
	南区 1 班	支援に頼らない、一人一人が自立した 生涯の実現	5	
	南区 2 班	「健康長寿の街に」 健康・福祉に関 するセミナーやワークショップの開 催 ” 予防医学の定着 ”	4	
競争力のある街	南区 4 班	「相模原」ブランドの確立 子どもが 独立しても住み続けたいと思う街	8	13
	南区 1 班	相模原の東国原さん 大好き相模原と言えるまちづくり	2	
	南区 5 班	・緑を多く、公園の整備、地産地消・ アクセスが良好・研究都市	2	
	南区 4 班	全国から見学に訪れるような「理想の モデルタウン」の建設	1	
地域コミュニティが活発な街	南区 2 班	相模原と市民が協力する分かりやすい 街に	1	8
	南区 3 班	人と人とのつながりが強いまちづくり	1	
	南区 4 班	地域コミュニティ（世代間の交流） をより活発にする仕組みの整備！	0	
	南区 5 班	世代を超えて笑顔で交流 世代間交流を活発に、ボランティア参 加・笑顔で挨拶・学び続ける都市相模 原	6	

4. 「地域の将来を考える」全体統括

全体の意見をまとめると、以下の8つの意見に分けられます。その中で最も得票数が多かったのは、「商業・産業の盛んな街」で、緑区と南区の多くの班から意見が出ています。

発信力・競争力のある街

どの区においてもほぼ全ての班から意見が出ており、意見数も最も多くなっています。地域の将来を考えるにあたって、市民にとっても、外から来る人にとっても魅力的な市として相模原をアピールしていく必要を強く感じており、既存の資源や新たな魅力を創出してブランド化を図り、転入人口や交流人口が増えていく街の将来像が望まれています。

子育てしやすい街

緑区と中央区で多く意見が出ており、討議4「子ども・教育」で出た意見が改めてまとめられています。教育を充実させ、ボランティアやサービスの強化によって子育て支援を率先して実施することで、将来市を担う若者を育てていく必要があるということが討議されています。

シニア世代が活躍できる街

高齢者世代に絞った意見が中央区で多く出ています。少子高齢化社会の中で、今後さらに増加していく高齢者が新たな地域の担い手となって再度活躍をしていくことで地域を盛り上げていくべきだと感じられています。そのためには、シニア向けのまちづくりや、老人クラブなどの交流の場の活性化などが求められています。

多世代が暮らしやすい街

子どもから高齢者まで、対象を絞らずに、市民みんなが協力しながら暮らしやすい街をつくっていくべきだという意見が出ています。一人ひとりが自立する一方で地域の子どもや高齢者を守っていくための基盤を作っていくことが求められています。

商業・産業の盛んな街

地域の特色を生かして産業を活性化していく緑区の意見と、新たな産業政策によって効果的に産業振興を図る南区の意見が多く出ています。働く場としての市の魅力の増加と観光地としての市の魅力の増加の両面から市を捉え、産業が活性化した将来像が望まれています。

地域コミュニティが活発な街

どの区からも多く意見が出ており、様々な取組みの根底にある地域のコミュニティや人と人とのつながりを一層強化していくことが目指されています。特に世代間の交流や外国人、SNSでのつながりなど、既存のコミュニティの単位にとらわれず、新たなコミュニティの姿を模索していくことが検討されています。

財政の自立した街

緑区と中央区で意見が出ており、市の財政について市民自らが関心を持ち、財政の自立を目指していくことが討議されています。また、リニア中央新幹線や商業施設などの、今後の大規模な開発を見据えた財政の充実も期待されています。

安全・安心な街

討議1「安全・安心」で出た意見をまとめ、街灯、防犯カメラの設置、住民みんなで安心な街を形成していくことについて中央区から意見が出ています。

<「区民みんなの想いを共有し、地域の将来を考える」全体意見まとめ>

キーワード	班	班でまとめた意見	票数	合計
発信力・競争力のある街	緑区 4 班	相模原と言えば をつくる！！ 商業施設、イベント広場、農作物ブランド化、観光スポット	10	35
	緑区 2 班	市民による発進（信）力 地域の良さを知る、市民が意見を共有できる場	7	
	中央区 2 班	定期的なイベントの交流や市のブランド化を図り、市に新しく外の人を呼ぶ！若い人の流出を防ぐ	3	
	中央区 4 班	企業、起業の助成、鉄道、商業誘致によって若者世代の魅力を UP する	2	
	中央区 3 班	市に負けない斬新な教育制度や支援制度、豊かな自然を生かした子育てを実現した子育てタウン相模原	0	
	中央区 4 班	JAXA やダムコンテンツの強化、インフラの整備	0	
	南区 4 班	「相模原」ブランドの確立 子どもが独立しても住み続けたいと思う街	8	
	南区 1 班	相模原の東国原さん 大好き相模原と言えるまちづくり	2	
	南区 5 班	・緑を多く、公園の整備、地産地消・アクセスが良好・研究都市	2	
	南区 4 班	全国から見学に訪れるような「理想のモデルタウン」の建設	1	
子育てしやすい街	緑区 3 班	子どもたちのための教育の充実	6	20
	緑区 1 班	子どもたちが住み続けたい街 高齢者ボランティアによる子ども支援	5	

	緑区 2 班	将来子どもが残ってくれる、住みたいと思える街	1	
	中央区 4 班	教育の無償化、医療サービスの充実などによる人づくり	8	
	中央区 1 班	オギャー！子育て支援によってジュニア世代がハッピーになれる街 SAGAMIHARA	0	
シニア世代が活躍できる街	中央区 1 班	シニア世代がエンジョイできる街！！ SAGAMIHARA	12	26
	中央区 3 班	コンパクトな町「相模原駅のブランド化」 相模原駅を中心に活性化し、シニアが気持ちよく住めるシニア向けタウンの設立	10	
	中央区 1 班	・老人クラブ若返りや子どもたちとの交流の場づくり ・あじさい大学カリキュラムの充実！	0	
	南区 2 班	「健康長寿の街に」健康・福祉に関するセミナーやワークショップの開催”予防医学の定着”	4	
多世代が暮らしやすい街	南区 1 班	子育て、医療、教育、介護などすべての困りごとのよろず相談窓口	14	26
	南区 1 班	支援に頼らない、一人一人が自立した生涯の実現	5	
	中央区 5 班	子どもと高齢者を守る ボランティア・市からの補助特典 異年齢交流イベント・自治会への参加	7	
商業・産業の盛んな街	緑区 3 班	相模原の特色を生かし、活性化した産業と文化の薫る町	8	49
	緑区 1 班	津久井の活性化	7	
	緑区 2 班	外部との協業 商業施設、ベンチャー企業、市立大学	4	
	緑区 4 班	働きやすいまち”相模原” 高齢者の再雇用、寺子屋の運営、働く場所の創造	3	
	南区 3 班	住んでみよう勤住相模原 ・女性に安心安全の街・オフィス地区整備	8	
	南区 2 班	「得意な産業を発展させ豊かな街に」 産業”産学連携”ユニコムプラザを有効活用	7	
	南区 5 班	働く場の多い相模原 サテライトオフィス、企業誘致、高齢者雇用、短時間労働	7	
	南区 3 班	JAXA との連携、宇宙大学創設	5	
地域コミュニティが活発な街	緑区 4 班	住みやすく、産みやすいまち”相模原” 交通・コミュニティ・子育て・災害対策	4	30
	緑区 3 班	地域コミュニティの盛んな町をめざして！！	1	

	中央区 2 班	空き家を活用した地域交流などで新しい近所づきあいの場をつくる	6	
	中央区 3 班	交流ができる町 ・外国人との交流 - 米軍基地の方との交流 ・「SNSを使った新しい交流の仕方」	6	
	中央区 2 班	学びたい人と教える人を結びつけ、市民全体のレベルアップ	5	
	南区 2 班	相模原と市民が協力する分かりやすい街に	1	
	南区 3 班	人と人とのつながりが強いまちづくり	1	
	南区 4 班	地域コミュニティ（世代間の交流）をより活発にする仕組みの整備！	0	
	南区 5 班	世代を超えて笑顔で交流 世代間交流を活発に、ボランティア参加・笑顔で挨拶・学び続ける都市相模原	6	
財政の自立した街	緑区 1 班	市財政への関心を持ち、財政自立をめざす	1	11
	中央区 5 班	行政・財政の充実 リニア・商業施設などによる収入 観光収入・特産物・子育て支援の充実	10	
安全・安心な街	中央区 5 班	くらしやすい相模原 街灯・防犯カメラの設置、住民みんな笑顔で明るく治安が良い町	4	4

VIII. 全体発表

討議6「区民みんなの想いを共有し、地域の将来を考える」では、提案した意見が各区で一番得票数を集めた班が全体（3区）で発表を行い、その後質疑応答により他区との意見交換を行いました。

中央区 5班

発表概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・大きなコンセプトは、誰もが暮らしやすい相模原です。 ・これを実現するために、まず、リニア中央新幹線や商業施設などを活用して、行政・財政の充実を図ります。また、観光収入や特産物による収益で子育て支援を充実させます。 ・次に、学生ボランティアや多世代の交流イベントなどを活性化し、子どもと高齢者を地域で守っていきます。 ・さらに、街灯や防犯カメラの設置によって、住民がみんな笑顔で明るく治安が良い町を実現したいと思います。 	
質疑応答	
質問	回答
防犯カメラはどのような場所に設置したいですか？	駅前は明るいですが、暗い道もあるため、どんな道でも安心して歩けるようになってほしいです。
若い人はどのようにボランティア募集を知りたいですか？	学校や大学など、若い人が集まる場所であれば募集を知りやすいと思います。

<発表風景・発表ワークシート・中央区5班>

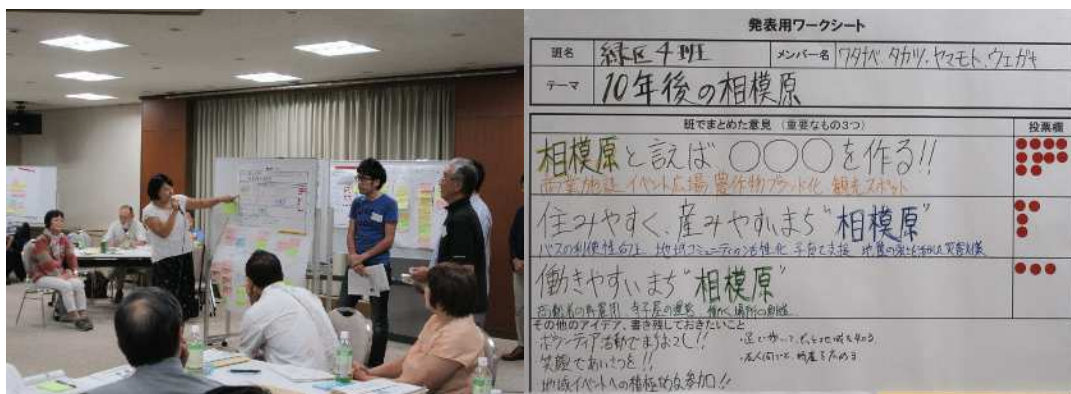
発表用ワークシート

班名	中央区 5班	メンバー名	小方 松浦 茅野 田中 黒崎
テーマ	相模原の将来		
班でまとめた意見（重要なもの3つ）			
リニア商業施設など による収入	観光収入 特産物	子育て支援 充実	投票数 ●●●●●
ボランティア(学生) 市の補助充実	子供と 高齢者を守る	異世代交流(イベント) 自治会の参画	●●●●●
街灯、防犯カメラ の設置	明るい治安が良い町		●●●●●
その他のアイデア、書き残しておきたいこと 地域の意見を取り入れる自治会の設置			

緑区 4 班

発表概要	
<p>・まずは、市のお金を増やすことを目的に3つの取組みを考えました。</p> <p>・一つ目は、リニア中央新幹線の開通などや津久井地区の観光スポットなどを踏まえ、相模原と言えば だ！というものを作りたいと思います。</p> <p>・二つ目は、住みやすく、産みやすいまち“相模原”ということで、誰もが住みやすい環境にしていきたいです。また、相模原は地盤が良いので、防災的にも良いと感じています。</p> <p>。三つ目は、働きやすい”相模原”ということで、寺子屋やオフィス誘致などを積極的にしてほしいと思います。他に、自分たちでできることとして、ボランティア活動や挨拶、自分たちで地域を知ることなどをしていこうと考えています。</p>	
質疑応答	
質問	回答
津久井地区をどのように活性化していけたら良いでしょうか？	コミュニティバスなど、交通アクセスを良くしていくことが大事だと思います。
緑区の魅力を教えてください。	地盤が強くて生活するのに安全だと聞いていますし、市外へ出るにも不便はなく住みやすいです。
緑区の観光資源やイベントなど、もっと披露する機会があるといいと思います。	
相模原といえば、には具体的にどのようなものがいりますか？	市民一人ひとりがそれぞれの思う を考えていけたらいいなと思っています。

<発表風景・発表ワークシート・緑区 4 班>



南区 1 班

発表概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは3つの取組みを考えました。一つ目は、よろず相談窓口の設置です。地域でノウハウを持つ方が窓口となって、市民の悩みや困りごとの一時的な相談相手になってくれると良いと思います。 ・これによって支援に頼らない自立した生活の実現ができるのではないかと考えました。 ・相模原の東国原さんを作り、市をアピールしていけるようなキーマンがいてくれたら、市民の誰もが相模原が大好きですと言える将来が来るのかなと思います。 	
質疑応答	
質問	回答
既にある相談窓口などとの違いはどのようなところにあるのでしょうか？	地域の中で身近なところから気軽な問題解決の糸口になればいいと考えました。
コミュニティがうまく機能していないように感じています。何か意見が出ていたら教えてください。	無関心な状況が問題だと思いました。よろず相談のように、気軽に関わりを持つところから始めたいです。
支援に頼らない生き方ができたら素敵だと思いますが、どのような方法が考えられるでしょうか。	目標として考えていきたいところです。ちょっとした仕事など、少しずつ努力できたらいいと思います。

<発表風景・発表ワークシート・南区1班>



IX. 区民討議会まとめ

1. 参加者の取組み状況

ワークショップに対する参加者の方々の取組み姿勢は大変積極的で、活発な議論が交わされていました。特に特徴的であった点として、今回のような2日間で実施する討議会の場合、2日目の参加者が大幅に減る傾向がある中、1日目と2日目を通して全ての参加予定者にご出席いただいたことが挙げられます。そのため、参加者全員が一丸となり、6つのテーマに対して討議することができたと言えます。

また、模造紙やワークシートのまとめ方についても、絵や図、矢印を用いたり、大事なことを強調したりして表現する「ファシリテーション・グラフィック」と呼ばれる手法にチャレンジする班が多く、何が重要視されているのかなどが明確に表現された成果物に仕上がっています。

2. 意見の全体的な傾向

参加者からの意見の全体的な傾向について、以下のとおり整理しました。

(1) 区ごとの特徴がしっかりと表れていること

緑区では、里山や豊かな自然環境を活用した意見や、都市部と山間部を分けて考える議論が多くされており、山間部の資源としてのアピールなどは特に分野横断的に意見が出ていました。

中央区では、それぞれのテーマで大人も学習するべきだという意見が多く、地域づくりへの関心の高さが見られました。また、身近な居住地域に空き家が多いことが課題視されており、様々な分野において空き家を活用した取組みについて意見が出ていました。

南区では現役世代が活発に意見を出しており、様々なテーマについて産業的な側面で地域づくりを考える意見が多く出ていました。特に、女性の活躍や子育てと仕事の両立などの意見が分野横断的に議論されていました。

(2) 少子高齢化への課題意識が強いこと

どの分野においても、少子高齢化社会を念頭に置いた検討がされており、増加する高齢者がどのように活躍して社会課題の解決に取り組んでいくかという点と、様々な社会課題を子育てや教育に組み合わせてどう解決していくかという点が議論されていました。また、どのテーマにおいても、少子化と高齢化に対して別々に対応するのではなく、子ども向けの取組みと高齢者向けの取組みを相互に関連させる意見が多くみられました。そうした中で、現役世代においても同様に取組みに関わることの大切さ

への認識が強く、多世代間で老若男女に着目した取組みの得票が多くなっていました。

(3) 地域コミュニティを重視していること

様々な地域課題の解決の方法として、地域コミュニティの活性化に関する意見が全ての分野において多くみられました。特に、多世代での交流機会が少ないことから従来のコミュニティよりも広く様々な人が一緒になって課題に取り組んでいくことに対する期待が大きく、また、防災や福祉においてはいかに日常的なコミュニティを形成していくかが論点になっていました。一方で、全体発表の場でも意見交換があったとおり、自治会などが機能していないわけではない中で、なぜコミュニティや地域参加が不足していると感じているのか、何に参加のハードルを感じているのか、どうすれば形成したコミュニティに誰もが積極的に参加するのか、どのように地域活動を広報していくのか、という新たな課題の投げかけもありました。

(4) 自分たちでやるべきことと市への要望の区別

様々な取組みや制度の案が出ましたが、その中でも、地域コミュニティを活用した課題解決や、ノウハウを生かした取組み、意識改革についての取組みなどについては、自分たちの力で積極的に解決しようとする意見が多く、ハード整備や財政的な支援については市への要望が強く出ていました。特に、街灯や防犯カメラの設置、コミュニティバス導入など、インフラに関する意見は市への要望が一定数あり、今後の市の施策において期待されている分野であると言えます。一方で、健康づくりや環境配慮などのテーマは自分たちの意識改革から始めるべきだという認識が強く、市民自らの取組みを市がうまくサポートし、更なる取組みの強化につなげていくことが重要と考えられます。

<区民討議会全体の意見の整理・得票数の多かった意見まとめ>

討議テーマ	意見の整理	得票数の多かった意見
安全・安心	自転車マナー・交通安全の徹底	【緑区】 歩行者、自転車利用者にやさしいまちづくり
	空き家の活用	【中央区】 外灯や防犯システムなどの設備を充実させる！
	防犯・防災設備による機能の強化	【南区】 防犯対策、自転車盗難対策として防犯カメラの設置
	日頃のコミュニティ形成による安全・安心の確保	
	自助・共助による防犯・防災能力の強化	

共生・健康	高齢者の社会参加機会の拡大	【緑区】
	高齢者の地域での見守り・支援	地域コミュニティの場づくり
	介護・福祉従事者の環境改善	【中央区】
	障害者福祉・自立支援	「障害への理解促進」 障害・福祉への魅力を発信 中高生へのボランティア
	健康福祉・医療対策	単位制の導入
	ボランティアや共生の場づくり	【南区】
	貧困対策	健康に関する個人知識の向上
環境	里山・自然環境の保全	【緑区】 老若男女利用できる多目的な公園
	ごみの分別・リサイクル	【中央区】
	環境教育・周知の推進	将来を担う子どもたちへ 森林農地の体験学習 環境ボランティアの実施
	農地や公園の利活用	森林、農業、木工体験
	再生可能エネルギー活用の推進	【南区】 食品ロスの削減・賞味期限、消費期限が近いものを回収してくれる施設
子ども・教育	学校教育の充実	【緑区】 学力の地域差をなくす 教員の人員、質の向上（研修）+ 地域教育力の向上
	地域の子育て環境・居場所づくり	【中央区】 市が教育の場の提供をし、子育て世代と経験者が交流する・出産、子育ての費用を無料化
	生涯学習や多世代交流による教育	【南区】
	子どもの貧困対策	教育 高齢者・児童・生徒の”寺子屋” 半ボランティアで空き家を利用
活力・交流	交通アクセスの改善・強化	【緑区】 都市機能、自然環境を活かした大型観光施設で集客、アドベンチャー、コンサート、秋葉原的商業施設
	農業の振興や特産品の販売などの推進	【中央区】
	観光振興による集客力の向上	相模原駅前の基地について、北口、南口
	商店や商店街の振興と利便性の向上	でエリアを分ける 北口 アメリカ風なまちづくり

	雇用の創出や企業誘致・市の政策強化による活力の向上	南口 日本風なまちづくり 【南区】
	相模総合補給廠の活用	サテライトオフィスの創設 法人増への代替案・在宅勤務・主婦のキャリア再開支援（元気な高齢者）・起業家、個人事業主のサポート
	スポーツの振興	
区民みんなの想いを共有し、地域の将来を考える	発信力・競争力のある街	【緑区】
	子育てしやすい街	相模原と言えば をつくる！！
	シニア世代が活躍できる街	商業施設、イベント広場、農作物ブランド化、観光スポット
	多世代が暮らしやすい街	【中央区】
	商業・産業の盛んな街	シニア世代がエンジョイできる街！！
	地域コミュニティが活発な街	SAGAMIHARA
	財政の自立した街	【南区】
安全・安心な街	子育て、医療、教育、介護などすべての困りごとのよろず相談窓口	

X. 参加者アンケート

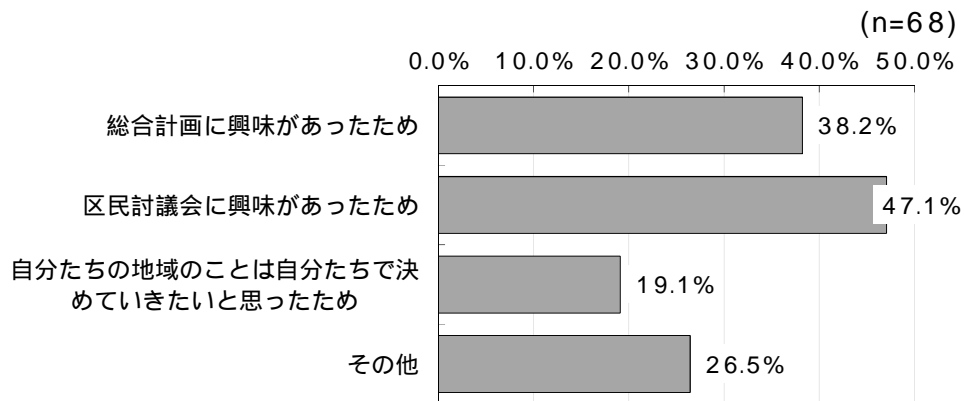
区民討議会終了後、参加者アンケートを実施しました。アンケートの結果は以下の通りです。

1. 区民討議会に関して

(1) 参加理由（複数回答）

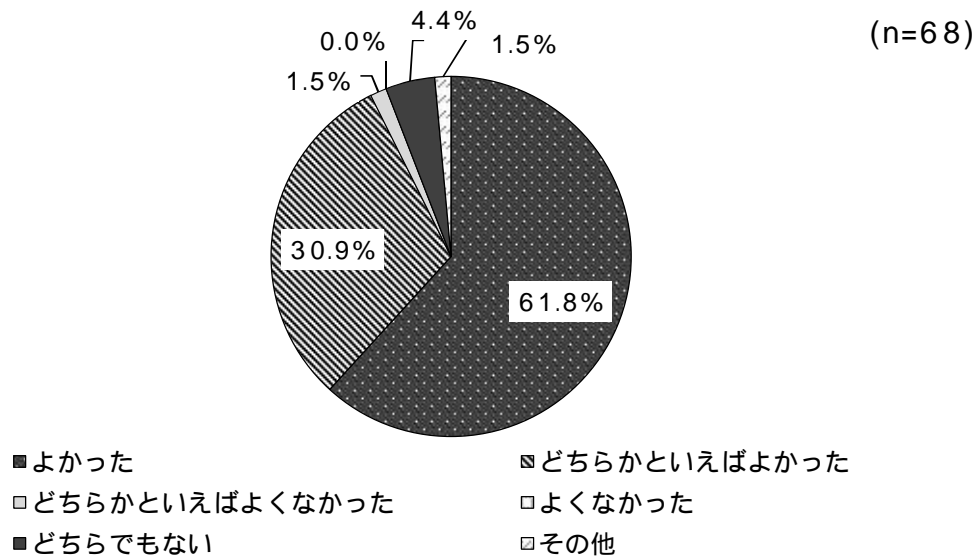
区民討議会への参加理由は、「区民討議会に興味があったため」が47.1%でもっとも多く、次に多かった「総合計画に興味があったため」は38.2%でした。

また、「その他」と回答された26.5%の回答の中では、「よくわからないが参加した」「地域の活動に触れる契機と考えたため」などの意見が挙げられました。



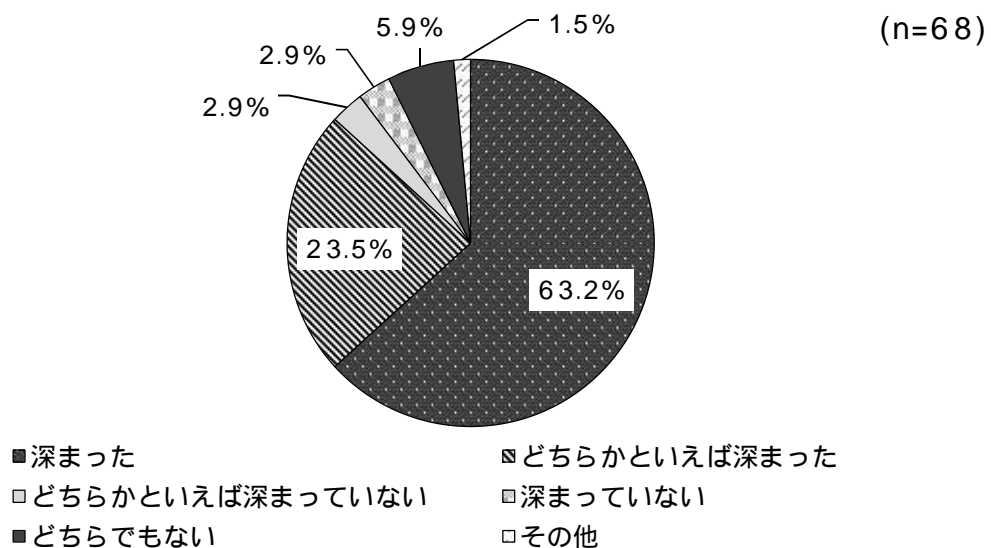
(2) 感想(単一回答)

区民討議会の感想は、「よかった」が61.8%でもっとも多く、次に多かった「どちらかといえばよかった」は30.9%でした。これらを合わせると約9割となり、ほとんどの参加者から概ね良い評価をいただきました。



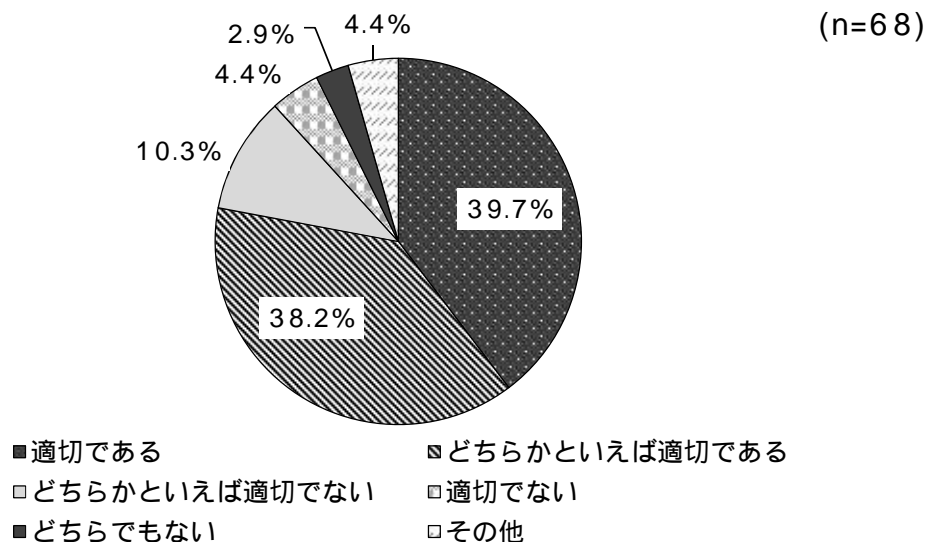
(3) 区の状況や総合計画への関心理解度(単一回答)

区の状況や総合計画への関心理解度は、「深まった」が63.2%でもっとも多く、次に多かった「どちらかといえば深まった」は23.5%でした。これらを合わせると8割以上となり、参加者の区の状況や総合計画への関心や理解の向上につながりました。



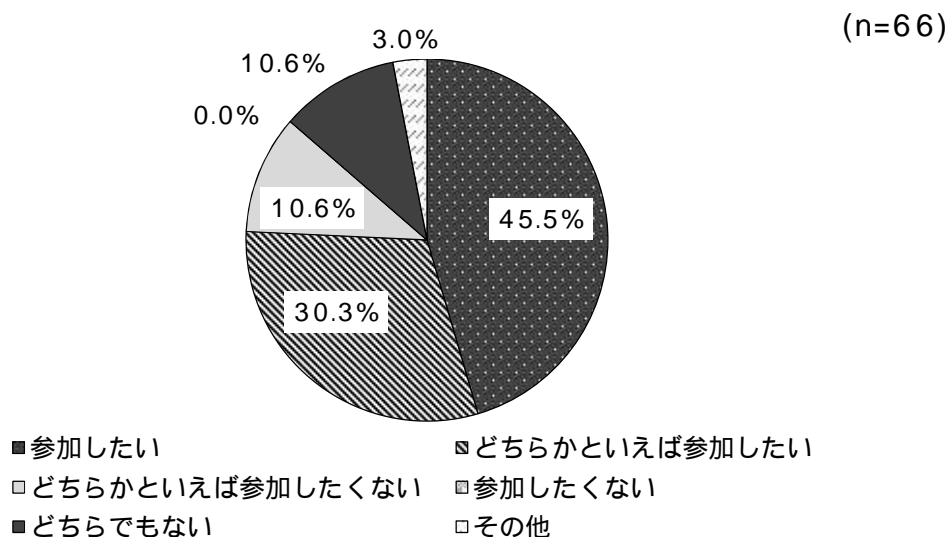
(4) 進め方(単一回答)

区民討議会の進め方に対する評価は、「適切である」が39.7%でもっとも多く、次に多かった「どちらかといえば適切である」は38.2%でした。これらを合わせると約8割となり、進め方については概ね適切であったという評価をいただきました。



(5) 今後の参加意欲(単一回答)

区民討議会への今後の参加意欲は、「参加したい」が45.5%でもっとも多く、次に多かった「どちらかといえば参加したい」は30.3%でした。これらを合わせると7割以上となり、多くの参加者が今後の参加に意欲的でした。

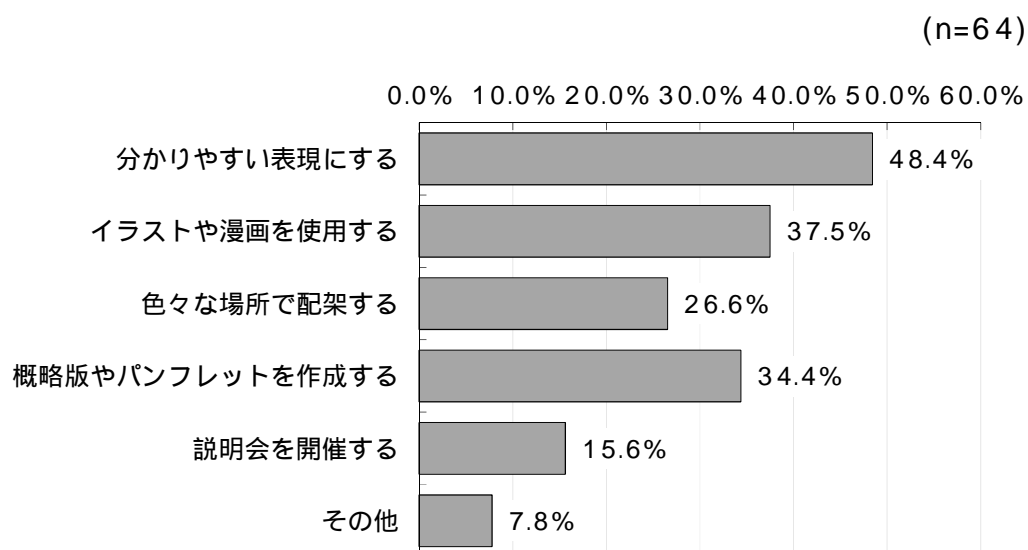


2. 総合計画について

(6) どのような総合計画であれば手に取って読みたいか(複数回答)

どのような総合計画であれば手に取って読みたいかを尋ねたところ、「分かりやすい表現にする」が48.4%でもっとも多く、次に多いのは「イラストや漫画を使用する」で37.5%、その次は「概略版やパンフレットを作成する」で34.4%でした。

また、「その他」の7.8%の中には、「実現可能な内容のもの」などの意見が挙げられました。



(7) 今後総合計画策定において留意すべき点(自由回答)

今後総合計画策定において留意すべき点として、以下の通りさまざまなお意見をいただきました。

<市民参加について>

- ・ 緑区、中央区、南区とそれぞれの区のことを知らないのが現状だと感じました。市全体として市をつくっていく(発展させていく)意識を市民1人1人が持つ必要があると思いました。
- ・ 市民参加型を中心にしてほしい。
- ・ 属性別の意見を幅広く聞いてほしい。(男女、世代、居住歴など)
- ・ これからも意見をとりあげる機会を作ってください。意見をぜひ生かして下さい。見守っています。
- ・ 市民の声を聞き入れたまちづくりをしてほしい。過剰な箱ものはいらない。税金を無駄に投与しないでほしい。
- ・ 市民誰もが参加する場も大切だが、有識者、まちづくり経験者の参画が重要。知識と「ゆめ」を持った方々の集まりで未来も策定したい。
- ・ 今回のように、無作為で選ぶのは良いと思います。

<市民への周知について>

- ・ 現状について説明会やその動画をネットに上げるなど市民の理解を深めてもらうような施策が必要ではないか。
- ・ 全ては出来ない。出来ること、出来ないことをはっきり伝える。
- ・ やっている事をもっとアピールして、目に入るようにしてほしいです。
- ・ 住民に注目される発信の仕方を考えてほしい。
- ・ 目指すべき都市像をわかりやすく示してほしい。
- ・ 特に全体が見えづらい。
- ・ 市のやっていることが色々な世代にまで伝わるような方法、媒体、機会があるとありがたいと思います。

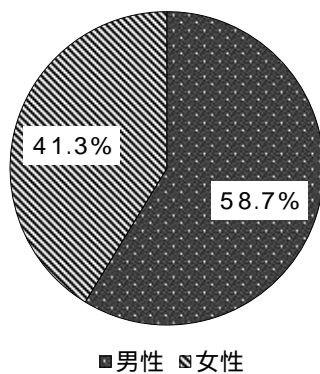
<策定の方向性などについて>

- ・ 正確性より分かりやすい表現につとめていただきたい。
- ・ 区ごとに市民の想いは全然ちがうと感じました。地域、地区に応じた計画を期待します。
- ・ 相模原市はとても広いので、地域格差が生じやすいことをどうするのか、そのまま特徴を残すのか、格差を是正するのか、はっきりしてほしい。
- ・ 高齢者や子育ても大切ですが、そこを支えるのは働き手の世代です。若手の子どもがいない人にも支援や助けられているという実感がほしいです。
- ・ 人口増加、企業(本社)誘致
- ・ 経済性を考える。
- ・ 教育政策、道路・交通政策、高齢者政策
- ・ インフラこそ重要だと思います。
- ・ 緑区の人口が減る原因として、交通の便が悪いと思います。
- ・ 支援を受けない高齢者の自立のための支援(お金でない)
- ・ 斬新かつ大胆なアイデアで政策を考えて下さい。

参考（アンケート回答者の属性）

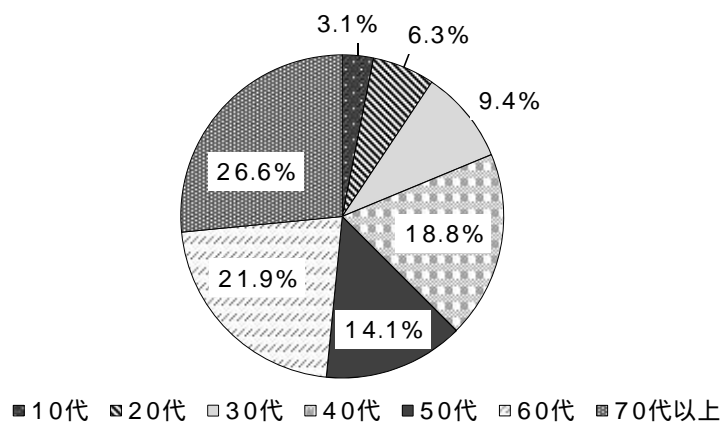
(8) 性別

(n=63)



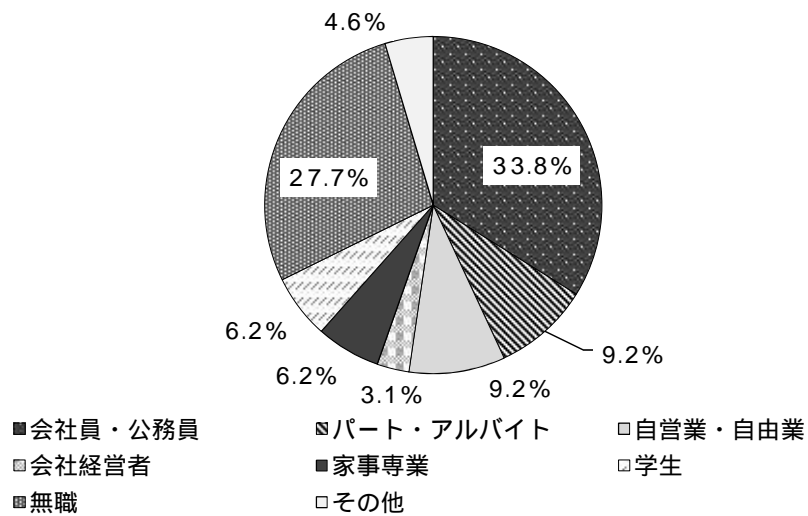
(9) 年代

(n=64)



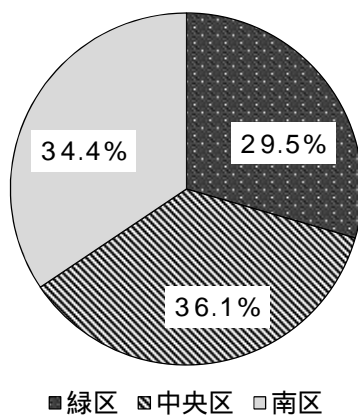
(10) 職業

(n=65)



(1 1) 居住区

(n=61)



XI. 資料編

資料 1 当日資料（各分野説明資料）

テーマ：安全・安心

【防災・消防】

【現状・課題】

- 防災
- 首都直下型地震などの大規模地震発生や台風等の浸水・土砂災害の懸念
 - ↳ 「自助」の取組を充実する必要がある。
 - ↳ 地域コミュニティの希薄化による「共助」の担い手不足が課題となっている。

消防

- 高齢化などによる救急需要の増大

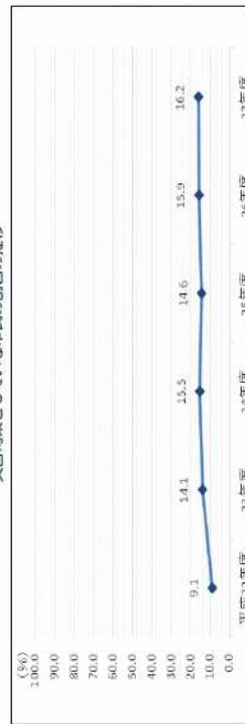
【相模原市が実施している主な事業】

- 防災
- 災害に強い都市基盤の整備
 - ↳ 道路災害防除事業
 - ↳ 河川改修事業
 - ↳ 水地耐震化推進事業
 - 効果的な消防・救急体制の構築
 - ↳ 火災予防推進事業
 - ↳ 救急業務の高度化推進事業
- 消防
- 地域防災対策の充実
 - ↳ 自主防災組織育成支援事業
 - ↳ 防災訓練の実施
 - ↳ 防災マイスター派遣事業・さがみはら防災スクールの開催

過去5年間に指定された激甚災害

平成28年度	台風7号、台風11号、台風9号および台風10号
	熊本地震
平成27年度	台風18号等、平成27年9月関東・東北豪雨を含む梅雨前線豪雨、台風9号、台風11号および台風12号
平成26年度	平成26年8月豪雨を含む豪雨、台風11号および台風12号
	霧低気圧
平成25年度	平成25年7月28日の愚根県と山口県の大雨を含む豪雨、台風4号および台風7号
平成24年度	平成24年7月九州北部豪雨を含む梅雨前線豪雨および台風4号

災害対策をしている市民の割合の推移



資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【安全・安心】

【現状・課題】

- 市内で発生した交通事故件数は平成22年度をピークに年々減少傾向
- 人口千人あたりの自転車の事故発生件数は、大都市平均を上回り、静岡市、浜松市に次いで多い（平成27年度）
- 振り込み詐欺など特殊詐欺の手の巧妙化

市内で発生した交通事故件数
(千人あたりの交通事故発生件数)

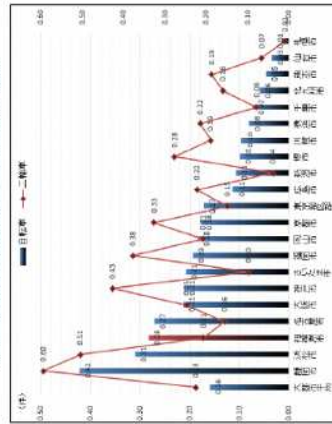
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
自動車(a)	3,670	3,590	3,500	2,787	2,730
自転車(b)	3,495	3,241	2,966	2,787	2,638
(A)千人あたり(c)	(4.9)	(4.5)	(4.1)	(3.9)	(3.7)
減少率(a/b) %	105.0%	110.8%	118.0%	100.0%	103.9%

資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【相模原市が実施している主な事業】

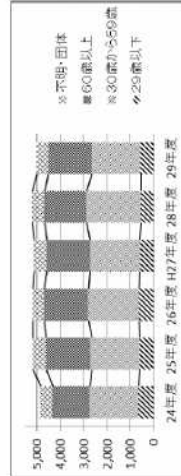
- 交通安全対策の推進
 - ↳ 地域交通安全活動推進事業
 - ↳ 交通安全教室の実施、自転車事故対策事業等
 - ↳ 交通安全施設(防護柵・カーブミラー等)設置工事等
 - 防犯活動の推進
 - ↳ 地域防犯活動推進事業
 - ↳ 地域防犯活動の支援、防犯灯の設置・維持管理等
 - 消費者の保護と自立の支援
 - ↳ 消費者啓発・支援事業
 - ↳ 地域防犯活動の支援、防犯灯の設置・維持管理等
- 消費生活相談の実施、消費者教育の推進等

大都市圏における千人一人あたりの自転車及び二輪車事故発生件数の比較 (H27年度)



資料) 大都市比較統計より作成

年代別の消費生活相談件数の比較



資料) 相模原市消費生活行政の概要より作成

【保健衛生】

【現状・課題】

- 結核患者数は、平成25年度に増加したが、それ以降は減少傾向
- 今後、テング熱などの新興感染症、輸入感染症の増加が懸念
- HIV等性感染症のまん延と予防を図るため、検査体制の整備や正しい知識の普及啓発を図る必要がある。
- 食品の安全と安心を確保するため、監視指導の徹底や抜き取り検査の充実を図る必要がある。
- 人と動物との共生をめざし、ペットの適正飼養に関する意識啓発など、動物愛護事業の様々な取り組みに向けての体制の構築が必要

結核患者数

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	114	110	106	102	98
実績値(b)	97	109	96	79	57
達成率(a/b) %	117.5%	100.9%	110.4%	129.1%	171.9%

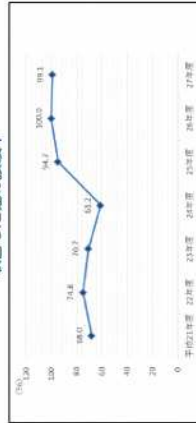
資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

HIV等性感染症に関する検査と講演会の実施回数

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
HIV	510件	539件	509件	473件	497件	491件
テング熱	429件	472件	436件	393件	443件	448件
梅毒	429件	468件	445件	415件	445件	454件
講演会	40回	34回	33回	32回	35回	28回

資料) 相模原市「保健所年報」より作成

収容した猫の譲渡率



資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【相模原市が実施している主な事業】

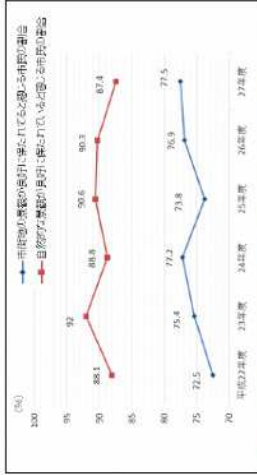
- 予防接種事業
 - 定期予防接種の実施、風しん任意予防接種費用の一部助成等
- 感染症対策事業
 - 予防対策・発生時対策の実施、HIV等性感染症無料・匿名検査(相談)の実施
- 衛生検査事業
 - 試験・検査機能の充実、調査研究機能等の充実

【景観・住環境】

【現状・課題】

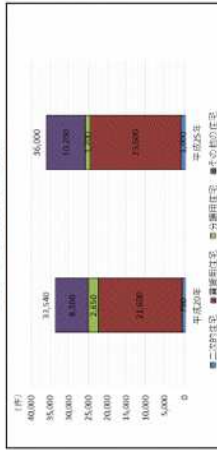
- 暮らしの快適性などの市民生活の質の向上を図るためには、魅力ある景観や良好な住環境を形成することが必要
- 市内の空家は過去5年間で約1割増加、また空家等に係る通報・相談は増加傾向
- 単身高齢者等の住宅の確保に特に配慮が必要な世帯への対応が必要

景観が良好に保たれていると感じる市民の割合



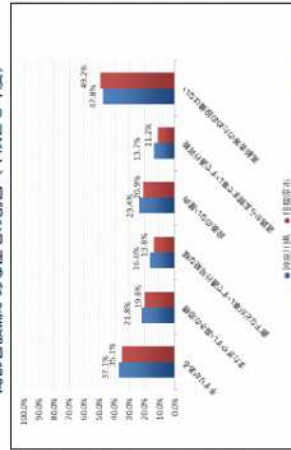
資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

空家の内訳別件数の推移



資料) 総務省平成20年・25年「住宅・土地統計」より作成

高齢者設備がある住宅の割合(平成25年度)



資料) 総務省平成25年「住宅・土地統計」より作成

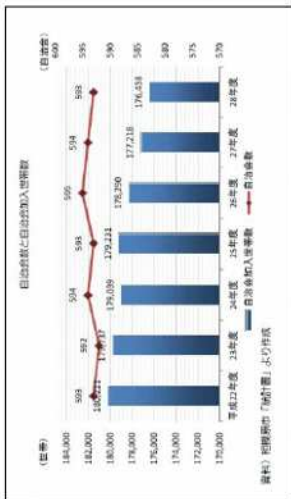
【相模原市が実施している主な事業】

- 都市デザイン推進事業
- 景観形成重点地区・地域景観資源等指定の促進
- 市営住宅の整備
- 既存住宅・建築物耐震化促進事業
- 耐震診断・改修工事等の補助
- 民間住宅施策の推進
- 住まいのエコ・バリアフリー改修費の補助
- 空家等対策推進事業
- 適切に管理されていない空家等に対する対策

テーマ：共生・健康

【地域福祉】

- 【現状・課題】
- ・地域コミュニティの希薄化
 - ・高齢化の進行による地域福祉の担い手不足
 - ・地域住民が主体となって地域課題を解決していく「我が事・丸ごと」の地域づくりが必要



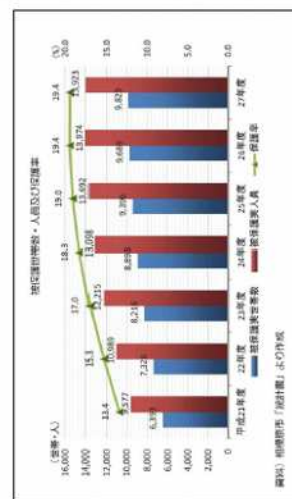
- 【相模原市が実施している主な事業】
- ・地域福祉活動推進事業：コミュニティソーシャルワーカー（地域住民の困りごとを早期に発見し、住民活動による支援等）に結びつくよう調整を行う専門職）の配置など
 - ・民生委員・児童委員活動推進事業

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(人)	35.3	36.8	38.3	39.8	41.3
実績値(人)	30.7	29.8	30.5	30.3	30.6
達成率(%)	87.0%	80.4%	79.6%	76.1%	74.1%

地域で、住民が互いに支えあっていると感ずる市民の割合（単位：％）
資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【貧困】

- 【現状・課題】
- ・生活保護世帯の増加
 - ・生活保護制度利用者や、生活保護に至る前の段階における自立支援が必要



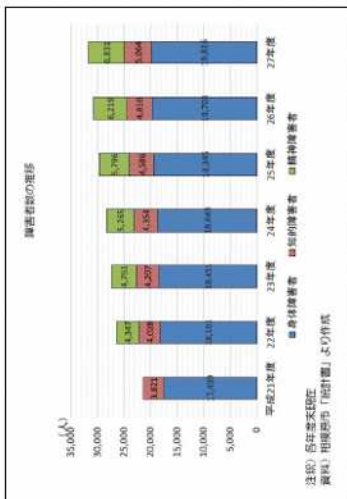
- 【相模原市が実施している主な事業】
- ・生活保護制度利用者・生活困窮者の自立支援事業：就労支援、子ども、若者の学習支援や居場所の提供など

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(人)	8.5	8.8	9.0	12.0	12.0
実績値(人)	12.4	14.1	18.3	19.2	20.1
達成率(%)	145.9%	160.2%	203.3%	160.0%	167.5%

生活保護制度を利用している人のうち、自立支援プログラムに参加した人の割合
資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【障害】

- 【現状・課題】
- ・障害者数の増加
 - ・制度の充実等による障害福祉サービスの利用者の増加
 - ・障害者の重度化・高齢化などによる支援ニーズの多様化
 - ・福祉人材の不足、サービスの質の確保が必要
 - ・障害者の望む地域生活の支援が必要



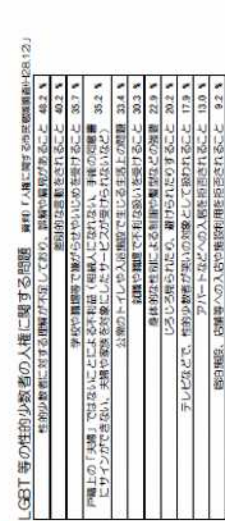
- 【相模原市が実施している主な事業】
- ・障害者相談支援事業：障害福祉相談員を配置し、身近な地域できめ細かな相談に対応
 - ・障害者福祉施設等支援事業：障害者の地域生活を支援する拠点の整備、障害者支援施設の運営支援など

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(人)	91	95	98	102	104
実績値(人)	32	51	69	96	113
達成率(%)	35.2%	53.7%	70.4%	94.1%	108.7%

一般就労をした障害者数の推移（単位：人）
資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【人権・男女共同参画】

- 【現状・課題】
- ・LGBT等の多様な性の在り方に係る課題の顕在化
 - ・市内企業等において、さらなる女性活躍の推進が求められている



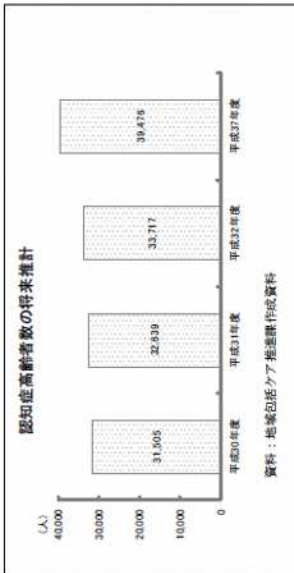
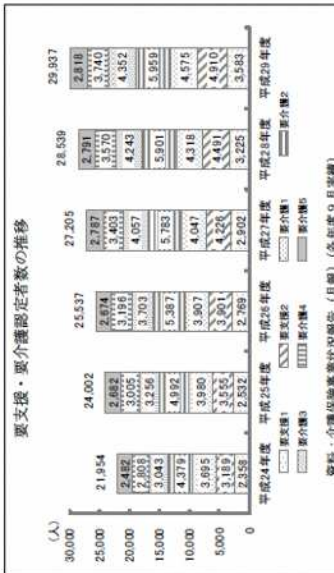
【高齢】

【現状・課題】

- ・高齢化の進行、長寿命化に伴う要介護認定者の増加
- ・高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した生活を営むことができる社会の実現が必要
- ・認知症施策の推進が必要
- ・介護人材の確保・定着・育成、介護サービスの質の向上、施設整備の促進が必要
- ・高齢者の社会参加と生きがいづくりの推進が必要

【相模原市が実施している主な事業】

- ・介護予防・生活支援サービス支援事業
- ・ひとり暮らし高齢者等戸別訪問事業
- ・市民後見人養成・支援事業
- ・一般介護予防事業：いきいき百歳体操の推進など
- ・認知症対策事業：認知症サポーターの養成など
- ・在宅医療・介護連携事業
- ・介護人材確保定着育成事業：就職相談会の実施やキャリアアップ支援など
- ・あじさい大学の開講
- ・地域包括支援センター運営事業



活動の場がある高齢者の割合(単位：%)

	H22年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	45.2	47.1	49.6	49.3	49.3
実績値(b)	46.2	41.4	49.3	49.3	49.3
達成率(b/a) %	102.2%	87.9%	87.9%	99.4%	99.4%

高齢者が地域で見守られ、支えられて暮らしていると感じている人の割合(単位：%)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	37.1	37.5	38.0	38.4	38.8
実績値(b)	38.6	39.0	39.5	38.1	38.6
達成率(b/a) %	104.0%	104.0%	103.9%	99.2%	99.5%

健康と感じている高齢者の割合(単位：%)

	H22年度	H25年度	H28年度
目標値(a)	79.0	79.5	79.9
実績値(b)	78.4	81.5	83.5
達成率(b/a) %	99.2%	102.5%	104.5%

資料：地域包括ケア推進課作成資料

【健康】

【現状・課題】

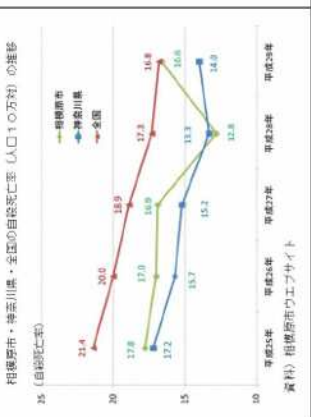
- ・健康の保持増進と生活習慣病の発症や重症化への予防が必要
- ・自殺対策やひきこもりへの支援が必要

【相模原市が実施している主な事業】

- ・健康増進事業：生活習慣病予防事業の実施など
- ・成人健康診査事業：がん検診、歯科検診など
- ・精神保健相談等事業：ひきこもり支援ステーションによる支援、自殺対策、心の健康づくりに関する知識の普及啓発など

自分が健康であると感じている市民の割合(単位：%)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	77.1	77.5	78.6	81.8	82.6
実績値(b)	74.0	74.8	74.5	78.6	78.0
達成率(b/a) %	96.0%	96.5%	95.5%	96.1%	94.2%



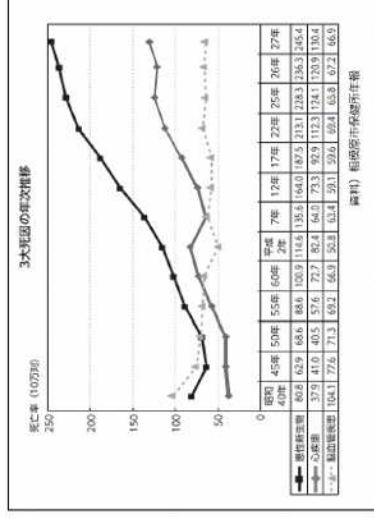
【医療】

【現状・課題】

- ・高齢化の進行に伴う在宅医療の増加
- ・中山間地域の人口減少に伴う地域医療の確保
- ・医療従事者等の不足
- ・救急需要の増大(特に高齢者)

【相模原市が実施している主な事業】

- ・総合診療医の育成：総合診療医を志す学生への修学資金貸付など
- ・急病診療事業：休日・夜間の外科系救急医療体制等の確保など



安心して医療を受けられることができると感じている市民の割合(単位：%)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	43.4	44.1	44.7	51.6	52.1
実績値(b)	48.5	47.1	51.1	52.5	51.0
達成率(b/a) %	111.8%	106.8%	114.3%	101.7%	97.9%

資料：相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

テーマ：環境

【分野】 温暖化

【現状・課題】

- ・温室効果ガスの削減目標未達成
- ・再生可能エネルギーの利用促進
- ・地球温暖化の進行による熱中症患者や自然災害の増加 など

【相模原市が実施している主な事業】

- ・再生可能エネルギー利用設備等導入促進事業
- ・次世代クリーンエネルギー自動車普及促進事業 など

○環境において今後特に力を入れてほしいこと



資料) 相模原市「市民アンケート」より作成

○相模原市全体の温室効果ガス総排出量 (単位: 万 t)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	420	414	407	401	395
実績値(b)	394	422	424	410	431
達成率(b/a) %	106.6%	98.1%	96.0%	97.8%	91.6%

資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【分野】 水源・森林環境

【現状・課題】

- ・神奈川県民の水源地である津久井湖、相模湖などを保有
- ・神奈川県の水源地環境保全のための森林の保全・再生及び湖沼の水質の保全 など

【相模原市が実施している主な事業】

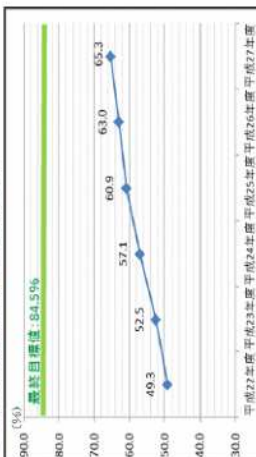
- ・水源環境保全税による森林の整備・生活排水対策の実施
- ・津久井産材の利用促進、林業の振興 など

○区域から津久井湖に流入する窒素の削減量 (単位: kg/日)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	119	149	179	197	215
実績値(b)	73	81	92	101	109.8
達成率(b/a) %	61.3%	54.4%	51.4%	51.3%	51.1%

資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

○管理された森林面積の割合の推移



資料) 相模原市「総合計画管理シート」より作成

【分野】 資源循環

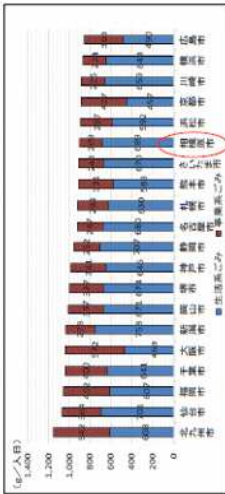
【現状・課題】

- ・ごみ排出量の減量
- ・リサイクルの推進 など
- ・環境負荷の削減

【相模原市が実施している主な事業】

- ・家庭ごみの減量化、資源化推進事業：資源分別回収事業の推進や地域団体等の活動支援
- ・事業系ごみ減量化等促進事業：ごみ排出事業者に対する指導・周知・啓発
- ・循環型社会普及啓発事業：情報提供や啓発活動による市民意識の醸成 など

○1人1日あたりのごみ排出量



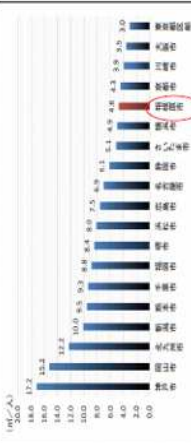
資料) 環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」(平成27年度)

○相模原市リサイクル率 (単位: %)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	25	21.6	22.3	23	23.7
実績値(b)	20.7	21.1	19.8	19.8	20.2
達成率(b/a) %	82.8%	97.7%	88.8%	86.1%	85.2%

資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

○市民一人あたり都市計画公園面積の比較



資料) 大都市統計協議会「大都市比較統計年表」より

【相模原市が実施している主な事業】

- ・都市緑化推進事業：民有地や公共施設の緑化推進
- ・市民との協働による緑地による緑化活動内容の違い
- ・施設の老朽化の進行
- ・公園の利用形態の変容や多様化 など

○緑化活動に取り組む市民の割合

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	10.3	10.9	11.5	12	12.5
実績値(b)	8.3	8.7	7.7	6.7	7.1
達成率(b/a) %	80.6%	79.8%	67.0%	55.8%	56.8%

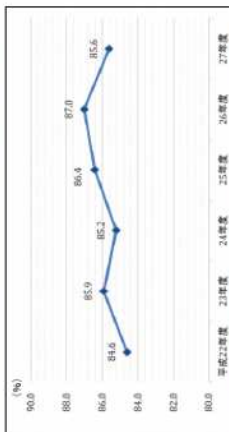
資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【分野】緑地・水辺・生物多様性

【現状・課題】

- ・里山や緑地の保全や活用
- ・水辺環境の保全や再生
- ・生物の生息、生育環境の保全や再生
- ・特定外来生物による生態系への影響
- ・野生鳥獣による生活被害・農作物被害の拡大

○水辺やみどりに頼しめられる場が十分であると感ずる市民の割合



【相模原市が実施している主な事業】 資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

- ・市民との協働による緑地の保全・活用事業
- ・里地里山保全等促進事業：里地里山の保全等を行う団体の活動促進
- ・水辺環境の保全・再生事業：身近にある水辺環境の保全及び再生促進
- ・生物多様性保全事業：さがみはら生物多様性ネットワークの活動支援

○緑地率（緑地が保全されている状態を有する指標）(%)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	67.5	67.5	67.5	67.5	67.5
実績値(b)	67.5	67.4	67.4	67.4	67.4
達成率(b/a) %	100.0%	100.0%	99.9%	99.9%	99.9%

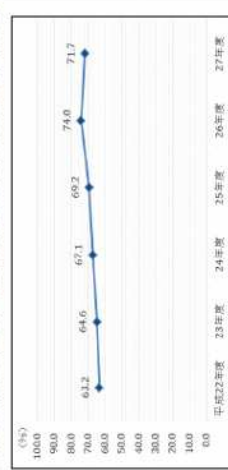
資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【分野】廃棄物

【現状・課題】

- ・廃棄物処理体制の維持と向上
- ・他市等へ処理を委託することなく廃棄物処理が可能
- ・不法投棄対策
- ・災害廃棄物の処理対応 など

○ポイ捨て不法投棄を防止し、まちの美観が保たれていると感ずる市民の割合



資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

- 【相模原市が実施している主な事業】
- ・一般ごみ収集業務の民間委託の推進
- ・北清掃工場基幹的設備等の改良工事による施設の長寿命化
- ・次期一般廃棄物最終処分場整備事業

○市内で発生するごみが、市焼却施設及び最終処分場で処理される割合（家庭ごみ）(%)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	100	100	100	100	100
実績値(b)	100	100	100	100	100
達成率(b/a) %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

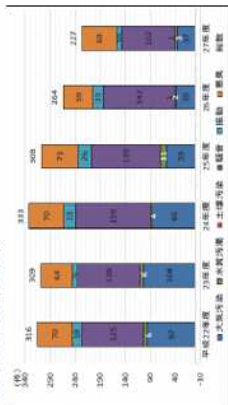
資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【分野】環境保全

【現状・課題】

- ・大気汚染、水質汚濁による生活環境への影響
- ・土砂等の埋立て等事業の増加

○公害苦情受付状況



資料) 相模原市「統計書」より作成

- 【相模原市が実施している主な事業】
- ・公共下水道施設長寿命化事業
- ・環境監視測定事業：大気・水質等の測定及び規制・指導の実施
- ・公共下水道合流区域の分流化事業：大雨時に未処理下水が放流されないための分流化

○調査測定地点環境基準適合状況率 (%)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	86.6	86.9	87.1	87.4	87.7
実績値(b)	87.1	89.1	85.9	85.4	86.2
達成率(b/a) %	100.6%	102.5%	98.6%	97.7%	98.3%

資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【分野】環境教育

【現状・課題】

- ・環境学習の体系的な取組の不足
- ・意識啓発活動の推進
- ・多様な主体の環境行動への支援

○日常生活において、環境に配慮している市民の割合



資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

- 【相模原市が実施している主な事業】
- ・環境を守る担い手の育成事業：さがみはら環境まつりの開催や小学生や小学生への冊子配布
- ・地球温暖化対策啓発活動支援事業：「さがみはら地球温暖化対策協議会」への支援
- ・環境情報センターの運営：環境情報センターによる環境教育の推進

○環境情報センターで実施した環境講座への参加者数 (人)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	1,640	1,640	1,650	1,660	1,660
実績値(b)	1,628	8,150	6,961	3,588	3,588
達成率(b/a) %	497.0%	421.9%	421.9%	216.1%	216.1%

資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

テーマ：子ども・教育

【分野】子育て

【現状・課題】

- ・核家族化や地域のつながりの希薄化等による、妊娠・出産・育児への不安を抱える保護者の増加
- ・共働き世帯の増加等による保育需要の増加 など

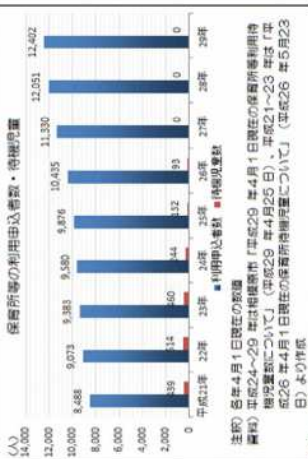
【相模原市が実施している主な事業】

- ・妊婦健康診査事業（妊婦健診経費の一部助成）
- ・小児医療費助成事業（小6まで（H30.10から中3まで）医療費助成） など
- ・保育所・児童クラブ待機児童対策事業

○子どもを生まやすい環境であると感じている市民の割合

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	57.0	57.5	57.9	58.4	58.8
実績値(b)	58.1	56.2	59.3	60.3	61.0
達成率(b/a) %	101.9%	97.7%	102.4%	103.3%	103.7%

資料）相模原市「総合計画進行管理シート」より作成



注釈）各年4月1日現在の数値
 資料）平成24～29年は相模原市「平成29年4月1日現在の保育所等利用待機児童数について」（平成29年4月25日）、平成21～23年は「平成26年4月1日現在の保育所等利用待機児童について」（平成26年5月23日）より作成

○子どもを育てやすい環境であると感じている市民の割合

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	53.1	54.6	56.0	58.5	61.0
実績値(b)	52.6	45.8	51.0	57.1	58.8
達成率(b/a) %	99.1%	83.9%	91.1%	97.6%	96.4%

資料）相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

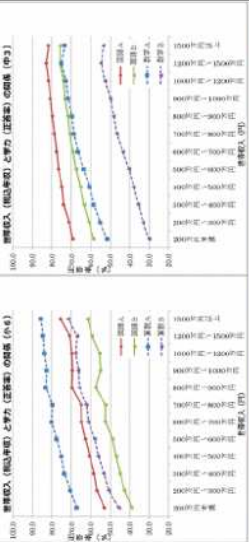
【分野】青少年

【現状・課題】

- ・家庭・地域の養育力の低下や情報化の進展等による、青少年を取り巻く環境の複雑化・多様化
- ・子どもの貧困対策の推進に関する法律の施行(H26.1)
- ・全国学力・学習状況調査結果を踏まえた、学力向上・学力保障・貧困対策の一体的な推進

【相模原市が実施している主な事業】

- ・青少年健全育成等推進事業
- ・子ども・若者育成支援事業（子どもの貧困対策等の推進）



資料）文部科学省「全国学力・学習状況調査（きめ細かい調査）の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究」を基にグラフ資料作成

○地域・子どもふれあい事業の参加者の青少年人口に対する割合

	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	6.4	6.5	6.7
実績値(b)	8.3	8.4	8.4
達成率(b/a) %	129.7%	129.2%	125.4%

資料）相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【分野】教育（1）

【現状・課題】

- ・学習指導要領の全面实施（外国語教育の充実、授業時数の増加等）
- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着が課題
- ・課題のある児童生徒の増加 など

【相模原市が実施している主な事業】

- ・小・中連携教育推進事業
- ・学力保障推進事業
- ・児童・生徒健全育成事業
- ・青少年・教育相談事業 など

○平成29年度全国学力・学習状況調査結果

学年	国語				算数				
	A (国)	B (国)	A (算)	B (算)	A (国)	B (国)	A (算)	B (算)	
平成29年度	53.1	54.6	56.0	58.5	61.0	52.6	45.8	51.0	57.1
目標値	53.1	54.6	56.0	58.5	61.0	52.6	45.8	51.0	57.1
実績値	52.6	45.8	51.0	57.1	58.8	52.6	45.8	51.0	57.1
達成率	99.1%	83.9%	91.1%	97.6%	96.4%	99.1%	83.9%	91.1%	97.6%

資料）相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

資料）国立教育政策研究所「全国学力・学習状況調査」より作成

○不登校児童生徒数の推移

学年	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
児童数	128人	193人	252人	169人	214人
生徒数	678人	716人	725人	662人	721人
合計	806人	909人	977人	831人	938人

資料）相模原市「児童生徒の問題行動等調査」より作成

【分野】教育（2）

【現状・課題】

- ・家庭・地域の教育力が課題
- ・生活習慣の多様化
- ・核家族世帯の増加など地域コミュニケーションの希薄化

【相模原市が実施している主な事業】

- ・家庭教育啓発事業（保護者を対象とした家庭教育に関する学習会など）
- ・学校と地域の協働推進事業（学校支援ボランティアの養成など）
- ・地域教育力活用事業（学校教育における地域人材の活用）

○子どもとのコミュニケーションが図られていると感じる保護者の割合

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	88.7	88.8	89.0	89.2	89.4
実績値(b)	90.2	87.1	91.5	89.6	93.4
達成率(b/a) %	101.7%	98.1%	102.8%	100.4%	104.6%

○親が自分のことを理解してくれていると思う子どもの割合

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	77.6	77.8	78.0	78.2	78.4
実績値(b)	81.5	80.9	82.9	81.4	83.2
達成率(b/a) %	105.0%	104.0%	106.3%	104.1%	106.1%

○地域における子どもの育成活動に参加した市民の割合

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	18.4	18.6	18.8	19.0	19.2
実績値(b)	16.3	14.7	17.9	16.1	16.2
達成率(b/a) %	88.6%	79.0%	95.2%	84.7%	84.4%

○地域行事に参加している子どもの割合

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	79.2	79.4	79.6	79.8	80.0
実績値(b)	72.4	74.2	76.8	76.1	75.2
達成率(b/a) %	91.4%	93.5%	96.5%	95.4%	94.0%

資料）いずれも相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【分野】生涯学習

【現状・課題】

- ・市民の学習意欲の向上・学習ニーズの多様化
- ・国際化、情報化の進展
- ・個人の生き方、価値観、生活・行動様式の多様化 など

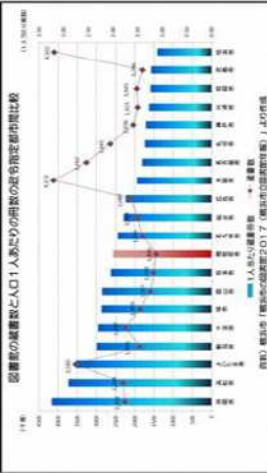
○学習機会を得ていると認める市民の割合

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	30.4	30.6	30.8	31.0	31.2
実績値(b)	29.5	26.9	27.8	27.4	31.5
達成率(b/a) %	97.0%	87.9%	90.3%	88.4%	101.0%

○学習成果を他の人に還元している市民の割合

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	24.6	24.8	25.0	25.2	25.4
実績値(b)	22.0	23.1	23.5	25.3	16.6
達成率(b/a) %	89.4%	93.1%	94.0%	100.4%	65.4%

資料) いずれも相模原市「総合計画進行管理シート」より作成



- 【相模原市が実施している主な事業】
- ・市民講座支援事業（市民主体の講座企画・運営支援など）
 - ・市民大学の運営
 - ・公民館活動（各種学級・講座等の実施、市民主体の講座等の実施など）

【分野】貧困（再掲）

【現状・課題】

- ・生活保護世帯の増加
- ・生活保護制度利用者や、生活保護に至る前の段階における自立支援が必要

【相模原市が実施している主な事業】

- ・生活保護制度利用者・生活困窮者の自立支援事業：就労支援、子ども・若者の学習支援や居場所の提供など

生活保護制度を利用して
いる人のうち、自立支援
プログラムに参加した人
の割合（単位：%）

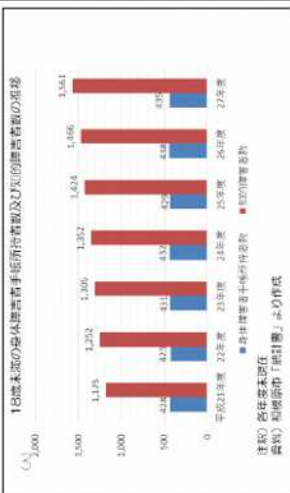
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	8.5	8.8	9.0	12.0	12.0
実績値(b)	12.4	14.1	18.3	19.2	20.1
達成率(b/a) %	145.9%	160.2%	203.3%	160.0%	167.5%

資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【分野】障害児

【現状・課題】

- ・発達障害についての相談の増加
- ・障害児に関する療育ニーズの増加、多様化
- ・医療的ケアを必要とする障害児の増加 など



(注) 〇各年度末現在
資料) 相模原市「統計要」より作成

○障害相談やリハビリテーションを行っている障害児の数（利用者数）

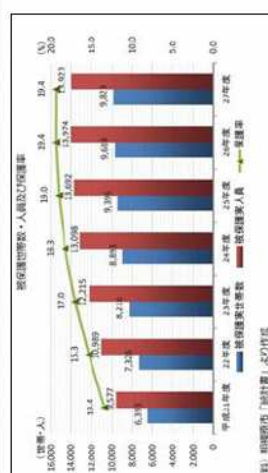
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	4,189	4,348	4,514	4,686	4,864
実績値(b)	5,582	5,641	5,324	5,445	4,636
達成率(b/a) %	133.3%	129.7%	117.9%	116.2%	95.3%

○障害児通所支援の利用者数の推移

	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	8,315	9,642	10,969
実績値(b)	12,260	13,772	12,943
達成率(b/a) %	147.4%	142.8%	118.0%

資料) いずれも相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

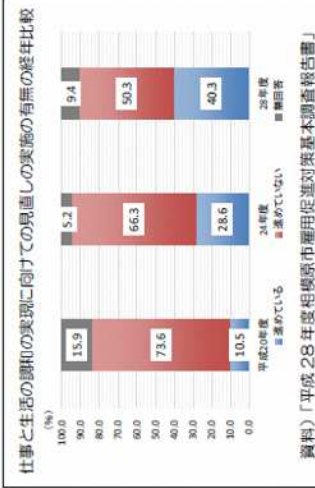
- 【相模原市が実施している主な事業】
- ・障害児療育・支援施設運営事業（陽光園の運営など）
 - ・障害児福祉施設整備促進事業（民設民営の福祉型児童発達支援センターの運営支援など）
 - ・障害児への通所・入所給付
 - ・要医療ケア障害児在宅支援事業



資料) 相模原市「統計要」より作成

テーマ：活カ・交流

【雇用】



資料)「平成28年度相模原市雇用促進対策基本調査報告書」

【現状・課題】

- ・少子高齢化の進行による生産年齢人口（働き手）の減少が見込まれる
- ・有効求人倍率は近年増加傾向
- ・仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に向けて取り組み事業者は増加

【相模原市が実施している主な事業】

- ・仕事と家庭両立支援事業：取組みを進めている企業の表彰、講演会の開催など
- ・無料職業紹介事業、就労支援事業 など
- ・若年無業者・フリーター・就労支援事業：さがみはら若者サポートステーション等において、キャリア開発プログラムや家族セミナー等を実施

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	0.77	0.81	0.83	0.86	0.89
実績値(b)	0.51	0.61	0.72	0.83	0.96
達成率(b/a) %	66.2%	75.3%	86.7%	96.5%	107.9%

有効求人倍率 (単位：%)

資料)相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

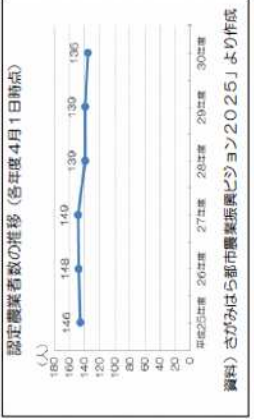
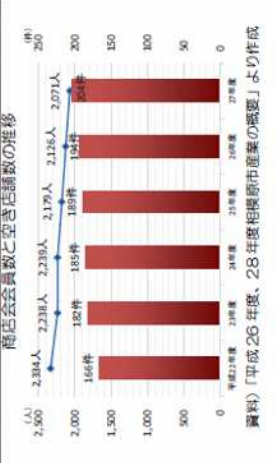
【商業・農林業】

【現状・課題】

- 商業
 - ・商店会の後継者の不足
 - ・買物が不便な地域に対する買物支援
- 農林業
 - ・農業の担い手不足、遊休農地化の進行
 - ・市内農産物の知名度の不足
 - ・木材価格の低迷、森林所有者の管理意識の低下

【相模原市が実施している主な事業】

- 商業
 - ・中心市街地の魅力向上事業
 - ・地域に根ざした商店街の活性化事業 など
- 農林業
 - ・担い手育成支援事業
 - ・耕作放棄地の解消事業
 - ・津久井産材利用促進事業 など



【産業】

【現状・課題】

- ・製造業が多い一方、情報通信、金融業、保険業の集積が少ない
- ・少子高齢化の進行による生産年齢人口（働き手）の減少が見込まれる
- ・リニア中央新幹線の駅設置（橋本駅周辺）や相模総合補給廠の一部返還（相模原駅周辺）等に伴う新たな産業の創出

【相模原市が実施している主な事業】

- ・企業の立地促進事業：製造業等の企業立地の促進と産業用地の創出
- ・もつくり人材の確保・育成事業、産業支援機関と連携した中小企業支援事業 など

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	973	988	1,000	1,016	1,032
実績値(b)	1,254	1,466	1,286	1,269	1,813
達成率(b/a) %	128.9%	148.4%	128.6%	124.9%	175.7%

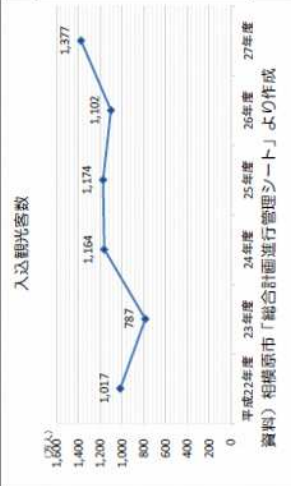
新規の開業事業数 (単位：事業所)

資料)相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【観光】

【現状・課題】

- ・訪日外国人旅行者数の増加
- ・2020年東京オリンピック・パリンピック等の国際的イベントの開催
- ・訪日外国人の受入環境の整備
- ・地域資源を生かした観光施策の検討



【相模原市が実施している主な事業】

- ・観光エリアの形成促進事業：地域ごとの観光資源を活用した観光プログラムを企画・実施するなど、地域の個性と地域資源を生かした観光エリアの形成等に取り組み
- ・観光人材育成事業：観光振興の基盤を担う「おもてなしの心あふれる」人材の育成
- ・観光協会の機能の充実・強化支援、観光情報発信事業 など

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	780	827	1,237	1,300	1,350
実績値(b)	1,192	1,174	1,215	1,351	1,125
達成率(b/a) %	152.8%	142.0%	98.2%	103.9%	83.3%

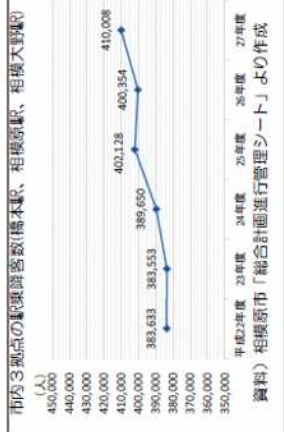
1人あたりの観光消費額 (単位：円)

資料)相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【まちづくり】

【現状・課題】

- 人口が平成31年をピークに減少に転じる見込み
- 人口減少による市街地の低密度化の懸念
- リニア中央新幹線の駅設置(橋本駅周辺)や相模総合補給廠の一部返還(相模原駅周辺)等に伴う活力あるまちの形成
- 圏央道インターチェンジ等の広域交通網と、地域の特性を生かしたまちの形成



【相模原市が実施している主な事業】

- 相模原駅周辺、橋本駅周辺、麻溝台・新磯野地区整備推進事業、当麻地区整備促進事業、相模原インターチェンジ周辺
- 相模原インターチェンジ周辺
- 新拠点まちづくり事業

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	3	6	10	12	13
実績値(b)	0	0	3	12	12
達成率(b/a) %	0%	0%	30.0%	100.0%	92.3%

資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

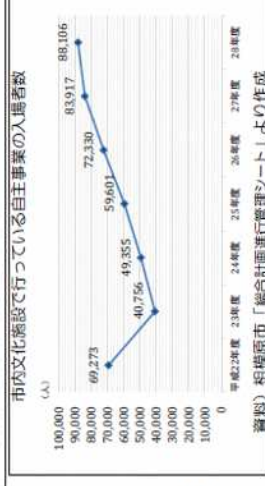
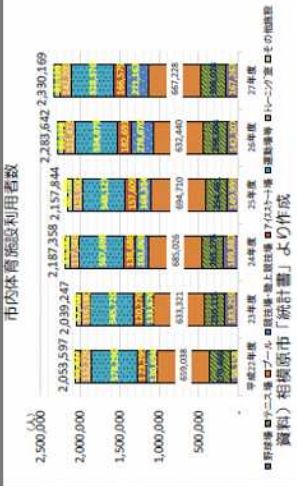
【スポーツ・文化】

【現状・課題】

- スポーツ
 - 働き盛り・子育て世代のスポーツ実施率が低い
 - 2020年東京オリンピック・パラリンピック等の開催
- 文化
 - 国際化の進展に伴う文化財等の活用
 - 文化財の保存等の担い手不足

【相模原市が実施している主な事業】

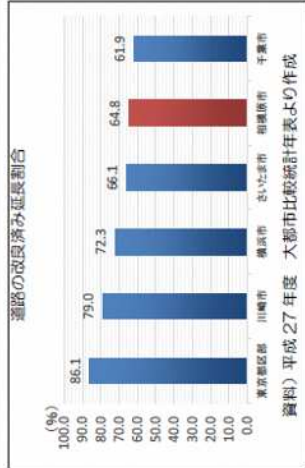
- スポーツ
 - ホームタウンチームとの連携事業
 - 相模総合補給廠の共同使用区域(ホーヴ・リカレ-ヨウガ-)整備事業 など
- 文化
 - 遺跡や文化財の保存・活用事業



【道路・交通】

【現状・課題】

- 広域的な道路や生活道路の整備
- 道路施設、橋りょうの老朽化
- 高齢者の交通手段の確保
- 路線バスの運転手不足
- 小田急多摩線延伸に向けた検討
- リニア中央新幹線駅設置の取組が進行



【相模原市が実施している主な事業】

- 道路整備事業等: 周辺自治体や地域間の交通利便性向上に向けた広域的な道路の整備や、狭あい道路等の整備による生活道路の環境改善、道路施設、橋りょうの長寿命化
- 公共交通網の整備促進事業: バスの利便性向上や乗合タクシー、コミュニティバスの運行など、市民の日常生活を支える交通環境の充実と利用の促進を図る
- 小田急多摩線延伸促進事業、幹線快速バスシステム導入推進事業 など

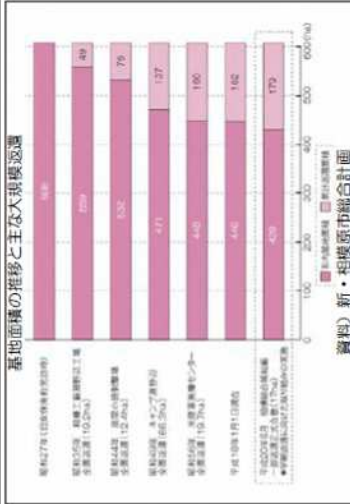
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	59.8	60.3	60.8	61.3	61.3
実績値(b)	59.3	59.6	61.7	61.7	61.7
達成率(b/a) %	99.2%	98.8%	101.5%	100.7%	100.7%

資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

【基地】

【現状・課題】

- 約429ヘクタールに及び3つの基地が所在
- 相模総合補給廠の一部(約17ヘクタール)の返還が実現
- まちづくりや、市民生活への様々な影響



【相模原市が実施している主な事業】

- 基地の返還に向けた国や米軍への要請活動: 市米軍基地返還促進等市民協議会や県、関係自治体と連携した活動の実施

年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
目標値(a)	40.8	40.4	40.0	38.0	36.0
実績値(b)	40.6	40.9	40.2	39.0	42.9
達成率(b/a) %	100.5%	98.8%	99.5%	97.4%	83.9%

資料) 相模原市「総合計画進行管理シート」より作成

資料2 当日資料(パンフレット)

相模原市

新しい総合計画策定のための
区民討議会

区民討議会とは?
★区の望ましい姿や、そのために必要な方策について話し合う場です!
★参加者を複数のグループに分け、様々なテーマについて自由に議論をしてみたいです!
★グループ毎に意見をまとめてもらい、発表をしてみたいです!

第1回 平成30年8月18日(土) 10~17時
第2回 平成30年8月19日(日) 10~17時

会場: 相模原市市民会館 3階 第一大会議室

氏名 _____

1

プログラム

≪第1回 8月18日(土)≫ お住まいの行政区ごとに4~5のグループに分かれて意見交換を行います。また、討議ごとにグループのシャッフルを行います。

時間	概要
10:00~10:05	開会のことば・挨拶
10:05~10:30	全体ガイダンス・アイスブレイク「相模原市クイズ」
10:30~12:10	【討議1】 「安全・安心」に係る分野について 《役割決め》《市からの情報提供》 《個人作業・意見出し》《意見の共有》 《グループワーク①》《グループワーク②》 《区内発表&投票・全体共有》
12:10~13:10	休憩(席替え)・昼食
13:10~14:50	【討議2】 「共生・健康」に係る分野について 《役割決め》《市からの情報提供》 《個人作業・意見出し》《意見の共有》 《グループワーク①》《グループワーク②》 《区内発表&投票・全体共有》
14:50~15:05	休憩(席替え)
15:05~16:45	【討議3】 「環境」に係る分野について 《役割決め》《市からの情報提供》 《個人作業・意見出し》《意見の共有》 《グループワーク①》《グループワーク②》 《区内発表&投票・全体共有》
16:45~17:00	1日目のまとめ・閉会のことば

※時間割は進行に応じて変更になることがあります。予めご了承ください。

2

≪第2回 8月19日(日)≫ お住まいの行政区ごとに4~5のグループに分かれて意見交換を行います。また、討議ごとにグループのシャッフルを行います。

時間	概要
10:00~10:05	開会のことば・挨拶
10:05~10:20	前日の振り返り・ガイダンス
10:20~12:00	【討議4】 「子ども・教育」に係る分野について 《役割決め》《市からの情報提供》 《個人作業・意見出し》《意見の共有》 《グループワーク①》《グループワーク②》 《区内発表&投票・全体共有》
12:00~13:00	休憩(席替え)・昼食
13:00~14:40	【討議5】 「活力・交流」に係る分野について 《役割決め》《市からの情報提供》 《個人作業・意見出し》《意見の共有》 《グループワーク①》《グループワーク②》 《区内発表&投票・全体共有》
14:40~14:55	休憩(席替え)
14:55~16:45	【討議6】 「区民みんなの想いを共有し、地域の将来を考える」について 《役割決め》 《個人作業・意見出し》《意見の共有》 《グループワーク①》《グループワーク②》 《区内発表&投票・全体発表》
16:45~17:00	2日目のまとめ・閉会のことば

※時間割は進行に応じて変更になることがあります。予めご了承ください。

区の将来についての想いを共有しましょう。また、その将来像の実現のために一人ひとりができること、やるべきことを考えワークシートの空白に記入しましょう。

3

ワークショップの進め方

【1】班分け

参加者の皆様は、お住まいの区の中でグループに分かれてもらいます。多くの仲間たちと意見交換するために、討議ごとに、メンバーを交代します。



【2】役割決め

班の中で、じゃんけんし、「進行役」、「書記係」、「時計係」、「発表係」を決めます。

【3】意見出し・共有

市から情報提供をした後、ご自身の意見をふせんに書き出し、班内で横造紙に貼り出しながら共有します。



【4】グループワーク

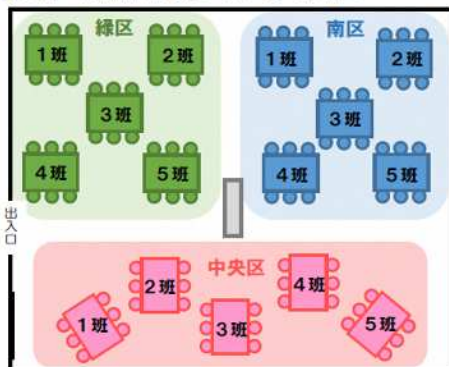
共有した意見を基に、自由に意見交換をします。討議の内容を模造紙・発表用ワークシートにまとめ、班としての結論を出します。

【5】発表

班毎にまとめた意見を発表します。互いに各班の発表を聞き、良いと思った意見に投票します。投票は、1人3票のシールを持ち、投票欄に貼ります。投票のうち、1票は自分の班の意見に投票しても構いませんが、少なくとも2票は他の班の意見に投票します。

4

会場レイアウト（相模原市市民会館 3階 第一大会議室）



フロア案内図（相模原市市民会館 3階）



おまけ 役割分担について

①進行係



進行係は班のリーダー。議論を円滑に進めるために全体を見ながら話を進めていくよ。必要なことは、仲間の話をよく聞いてバスを投げること。「あなたはどう思いますか?」「この意見について話したいことがある人はいませんか?」「次のテーマにいきましょう」などの声掛けが効果的だよ。

②書記係



書記係は議論の影のまとめ役。模造紙にペンで仲間の意見を書き込んでいこう。文字や絵の上手下手は関係ありません。勇気を振り絞ってペンを持とう。議のページにまとめ方のヒントを載せているので参考にしていね。

③時計係



時計係は時間配分に気を付けよう。議論が白熱するとあっという間に時間が過ぎてしまうので、討論しながら時計もチェックしよう。「あと5分でまとめに入ろう!」「そろそろ書き出さないと間に合わないかも!」と声をかけよう。

④発表係



発表係は討論したことを他の班に伝えよう。発表時間は2分と短いので、付箋に多く出た意見をいくつか紹介した後に、発表用シートに書いたことを読み上げよう。議論の流れや具体的な内容について話過ぎると時間切れになってしまうよ!

討論のルール

- ★ 自分ばかり話しません
- ★ 始めから意見を否定しません
- ★ 楽しい雰囲気大切にします
- ★ ゴールに向かってみんなで助け合います
- ★ 立場ではなく自分ごとで考えます

* スタッフは討論の進行についての質問には回答しますが、討論には参加はいたしません。

〇ふせんの書き方

討論では、ひとり一人の意見をふせんにまとめます。(例)
ふせんは何枚お使いになっても構いません。

- ・サインペンで大きな字で
- ・1枚のふせんには1つのことを
- ・文章ではなく短いキーワードで

子育て支援の
ボランティア参加

〇模造紙でのまとめ方と発表用ワークシートの記入例

【ふせんを貼って模造紙】

【発表用ワークシート】

班	○○班	発表時間	00:AA-00
書記	〇〇に〇〇		
議題(班長・書記以外)	〇〇〇〇〇〇のまちをつくる	発表	***
班が△△△△△を提案する		発表	***
市長ひとり人が□□□□□□□□□□に寄り添む		発表	***

<お願い>

全体

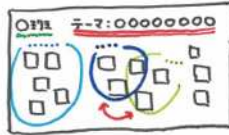
- 休憩時間中に外出する場合は、開始時間までに必ずお戻りください。
- 喫煙は、指定の場所（1Fロビー外）でお願いいたします。
- 貴重品の管理は、各自でお願いいたします。
- 本日の配布資料の複製や二次的配布はご遠慮ください。

討論中

- 討論会の最中は、携帯電話・メールのご利用はご遠慮下さい。
- 討論中のパソコンの使用や個人による録音・カメラ・ビデオ等による撮影は、ご遠慮下さい。また、討論内容や他の参加者に関する個人情報等をインターネット等で公表することは、プライバシーを侵害することがありますので、ご遠慮下さい。
- 主催者が記録用として、討論の様子を撮影します。また、撮影する写真については、本討論会の実施記録として作成する報告書に掲載する場合がございます。予めご了承ください。
- 討論中は原則として関係者以外の入室を制限します。
- 名札は必ずつけて下さい。
- 討論のルールを守り、積極的な討論をお願いします。

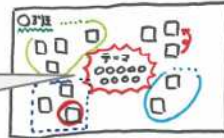
模造紙・発表用シートの使い方

①模造紙の使い方・まとめるコツ



- ◆テーマは大きく書く！
- ◆似ている付箋をグルーピング！
- ◆グループや付箋の関係を矢印で示す！

- ◆真ん中にテーマを書くと、中心から議論が広がるマンダラ型！
- ◆いろんな思ひ方・色で賑やかに！



②模造紙に書き込むコツ

・文字の書き方のコツ・

- 大きく太く、はっきり
- ポジティブな赤とネガティブな青
- 強調時は色を重なる

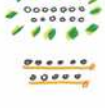
～議論のフレイクも表現～



～矢印もイロイロ～



囲み方もいろいろ



ご不明な点、困った点等は、ご遠慮なくスタッフまでお申し付け下さい！

相模原市マスコットキャラクター『さがみん』

新しい総合計画策定のための区民討議会 参加者アンケート

新しい総合計画策定のための区民討議会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

お忙しいところ恐縮ですが、今後の市政・区政運営の参考とするため、以下の設問にご回答いただけると幸いです。

問1 区民討議会への参加を決めた主な理由はなんですか。(複数選択可)

- | | |
|----------------------------------|-------------------|
| 1. 総合計画に興味があったため | 2. 区民討議会に興味があったため |
| 3. 自分たちの地域のことは自分たちで決めていきたいと思ったため | |
| 4. その他() | |

問2 区民討議会に参加して、どのように感じましたか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. よかった | 2. どちらかといえばよかった |
| 3. どちらかといえばよくなかった | 4. よくなかった |
| 5. どちらでもない | 6. その他() |

問3 区の状況や総合計画の取組みに、関心や理解が深まりましたか。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 深まった | 2. どちらかといえば深まった |
| 3. どちらかといえば深まっていない | 4. 深まっていない |
| 5. どちらでもない | 6. その他() |

問4 区民討議会の進め方について、どのように感じましたか。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 適切である | 2. どちらかといえば適切である |
| 3. どちらかといえば適切でない | 4. 適切でない |
| 5. どちらでもない | 6. その他() |

区民討議会の進め方について、ご意見・ご感想がございましたらお書きください。

裏面に続きます

問5 次回もこのような区民討議会があれば参加したいですか。

1 . 参加したい	2 . どちらかといえば参加したい
3 . どちらかといえば参加したくない	4 . 参加したくない
5 . どちらでもない	6 . その他()

問6 どのような総合計画であれば手に持って読みたいと思いますか。(複数選択可)

1 . 分かりやすい表現にする	2 . イラストや漫画を使用する
3 . 色々な場所で配架する	4 . 概略版やパンフレットを作成する
5 . 説明会を開催する	6 . その他()

問7 今後、総合計画を策定する上で、留意すべき点がございましたらお書きください。

--

問8 ご自身について、差し支えのない範囲でお答えください。

ご性別	1 . 男性	2 . 女性
-----	--------	--------

ご年齢	1 . 10代	2 . 20代	3 . 30代	4 . 40代
	5 . 50代	6 . 60代	7 . 70代以上	

ご職業	1 . 会社員・公務員	2 . パート・アルバイト	3 . 自営業・自由業
	4 . 会社経営者	5 . 家事専業	6 . 学生
	7 . 無職	8 . その他()	

お住まいの区	1 緑区	2 中央区	3 南区
--------	------	-------	------

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

